

第七十四回帝國議會
衆議院

米穀配給統制法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案
米穀配給統制法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十五日(水曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事片岡 恒一君

理事古田喜三太君 理事田中 好君

理事三善 信房君 理事馬岡 次郎君

理事窪井 義道君

三好榮次郎君 山田 六郎君

今成留之助君 信太儀右衛門君

山本 糸吉君 福田關次郎君

勝田 永吉君 小野 寅吉君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

大石 倫治君 小山田義孝君

牧野 良三君 西川 貞一君

伊東 岩男君 石坂 繁君

北 勝太郎君 平野 力三君

三宅 正一君 佐竹 晴記君

小山 亮君 小野 謙一君

同日委員原玉重君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
村松久義君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 青木 一男君

陸軍參與官 中井川 浩君

陸軍主計中將 石川半三郎君

海軍主計少將 山本丑之助君

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省米穀局長 周東 英雄君

商工參與官 澤田 利吉君

商工省商務局長兼
商工省統制局長 新倉 利廣君

臨時物資調整局次長 竹内 可吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス——

吉植君

○吉植委員 今日私ハ本案ヲ提出ニナツテ

居リマスル根本ヲ形作ル農林省ノ豫期スル

ヤウナ米穀ノ獲得ガ出來ルカドウカニ付

御尋ネシタイ、此ノ問題ハ關聯スル所ガ甚

ダ大キイノデゴザイマス、之ヲ質シテ置キ

マセスト、結局本案ノ精神ガ結論ガ付カ

イト思ヒマスカラ、御尋スル譯デアリマス、

農林省ノ本年ノ收穫豫想高ト増產計畫ト兩

方實現シマスニハ、現状ヲ以テシテハ甚ダ

心許ナイト思ヒマスノデ、此ノ事ハ本會議

デモ質問致シマシタ、單ニ是ハ農林省ダケ

ニ止メテ御尋ヲ致シマシテモ、結局解決ハ

付キマセヌ、先ヅ第一ニ企畫院、勞力問題

ニ及ブト軍部ノ方ノ關係モ生ジテ參リマ

ス、又農村資材ノ點ニハ商工省ガ重大ナ關

係ガアリマスノデ、實ハ各關係ノ政府委員

竝ニ大臣ノ御出席ヲ要求シタ譯デアツタノ

デアリマス、思ヒマスルノニ氣候ノ關係其

ノ他ガ普段ト同ジヤウデアリマシテモ、今

日ノ實狀ヲ以テシマシテハ政府ノ計畫通ニ

ハナラヌト存ジマス第一農村資材ガ不足デア

リマス、政府ノ方ノ計畫ハ十分ナツテ居ルカ

モ知レマセヌガ、農村ニ渡ツテ居リマス農

村資材ト云フモノガ涸渴狀態ニナツテ居リ

マス、御承知ノ通りニ勞力モ不足致シテ居

リマス、元來米ヲ作ルニハ勞力ト農村資材

ノ潤澤ナル供給ト云フコトガ前提トセラレ

テ居ルコトハ何人モ知ル所デアリマス、其ノ

農村資材ガナイ、勞力ガナイト云フノデア

リマスカラ、此ノ方ヲ餘程徹底的ニ政府ノ

方デ解決スル決意ト誠意トガオアリニナ

ラナイト、中々是ノ缺陷ト云フモノヲ克服

スルコトハ出來ナイト私ハ思フ、今ノ現状

ハ譬ヘテ見ルト、戰サラシテ居ツテ、寡兵

能ク衆ニ當ラシメテ、而モソレニハ彈藥銃

器ト云フモノガ不足デアル、併シナガラ

戰ツテ勝テト云フヤウナコトヲ農村ニ命ジ

テ居ルト云フヤウナ實情デゴザイマス、而

モ其戰タルヤ此ノ線ガ破レルト日本ノ今日

ノ地位ト云フモノガ甚シク動搖ヲ受ケル虞

ノ十分ニアル戰線デゴザイマス、本年ノ米

作ガ政府ノ豫期スル所ニ遙ニ及バズ、例ヘ

バ一千万圓以上ノ大減產ニ遭ツタト云フヤ

ウナコトニナリマス、一波萬波デアリマ

シテ、是ガ單ニ農村問題ノミナラズ、日本

全國ノ有ユル方面ニ影響ヲ及ボシ、隨テ世

界ニ於ケル所ノ日本ノ地位ト云フモノ

ガ大影響ヲ蒙ルト云フ、何ト申シマスカ、

中心問題デアリマス、然ルニ拘ラズ私共ノ

見ル所ヲ以テスルトドウモ政府全體ノ此ノ

點ニ關スル御考ガ甚ダ手溫イヤウニ思ウテ

居ルノデゴザイマス、何故手溫イカト申シ

マス、政府ノ方デハ色々ナ物資ニ對シマ

シテ統制ヲ致シテ居リマス、例ヘバ農村デ

要ル鐵鋼ニ關シテハ農器具用鐵鋼配給統制

組合又釘針金ニ關シテハ釘針金鐵線配給統

制組合、罐詰類ニ關シテハ空罐統制組合、

農業藥劑ニ關シテハ輸入農藥統制組合、石油ニ關シマシテハ石油聯合會ヲ通ジテヤツテ行ク、漁網、「ロープ」ニ關シテハ漁業組合ニ糸ヲ配給シテ居ル、産業用護謄製品ニ關シテハ、例ヘバ、地下足袋ハ地下足袋工業組合ニ任セルト云ツタエ合ニ、有ユル方面ニ統制ヲ執リマシテ、配給ノ圓滑ヲ期シテ居ラレルノデアリマス、併シ是ガ農村ニ執リマシテハ一ツモ有難イコトニナツテ居リマセヌ、ドウ云フコトデ有難イコトニナツテ居ラスカト申シマス、例ヘバ鐵鋼配給ニ依ツテ吾々ノ方ヘ鐵ガ來ルコトニハナツテ居リマス、然シ統制ニ依ツテ農器具ガ完全ニ配給出來テ居ルカト申シマス、出來テ居リマセヌ、假ニ石油發動機ヲ例ニ取ツテ見マスト、石油發動機ハ半年以上生産ガ止マツテ居ル、又秋ニハ當然必要デアル脱穀機ガ今日賣止メニナツテ居リマス、又必要ナ肥料ガ現狀ニ於テ潤澤ニ農村ニ來テ居リマセヌ、計畫ハ來テ居ルヤウニナツテ居リマスガ、マダ農村ノ春肥ニハ相當不足ニナツテ居リマス、之ニ對シテ自給肥料ヲ獎勵スル、其ノ自給肥料ニスル草ヲ刈ル鎌ガ不足致シテ居リマス、斯ウ云フ風ニ中央ニ於ケル統制命令ト云フモノハ完全シテ居ラシイノデアアルガ、此ノ統制命令ニヨリ農

村ニ現物ガ來ナイ、何故來ナイカ、例ヘバ農器具用鐵鋼配給統制組合ト云フモノガアリマスガ、農器具用配給統制デハナクシテ鐵鋼ノ配給統制ト云フ形ニナツテ居リマス、又鐵鋼ガ十分ニ參リマセヌ、發動機商ノ方ハ、他ノ物ヲ造ツタ方ガ宜イカラ、ソレヲ造ル、詰リ統制シ放シデ、終ヒノ方ニ原料ガ何處ニ行ツテモ宜イコトニナツテ居ル、其ノ上ニ鐵ノ統制ハアツテモ「ボールベアリング」トカ、發動機ニ附物ノ「マグネッソ」ト云フ方ノ統制ハアリマセヌ、斯ウ云フヤウニコチラト、アチラトバラ／＼ニナツテ居ル、御承知ノ通り石油發動機ハ「マグネッソ」ガナイト活動ヲ開始致シマセヌ、又脱穀機ガ賣止メニナツタノハドウカト申シマスト、此ノ原料統制ノ最後ノ締括リガ付イテ居ナイノデ、他ノ方デ高ク賣レルト其ノ方ニ原料ガドン／＼流レテ行クカラ、脱穀機ヲ造ラナイ、鎌ニ於テモサウデアル、今日農林省ノ増產計畫ト云フモノガ、幾ラ鐘太鼓ヲ叩イテヤリマシテモ、此ノ増產竝ニ第一回見越シノ收穫ヲ擧ゲルニ必要ナ斯様な物が今日農村ニ不足ヲ告ゲテ居ル、是等ガ不足デハ米ハ思フ様ニ取レル筈ガアリマセヌ、發動機ガ不足スルトドウ云フ結果ニナルカ申シマス、幸ニ豐作ノ基ト言ハレ

ル照込ミガ十分ニ來ルトシタ處デ挿秧期ニナツタ時ニ石油發動機ガアリマセヌト水ヲ汲上ゲルコトガ出來ナイ況シテ石油ガ缺乏シテハ尙ホ出來ナイ、是ノ石油ノ問題ニ付キマシテモ、石油ハ今日餘ツテ居リマスニモ拘ラズ、農村ニ要リマス石油ハ缺乏シテ居ル、ソレハドウ云フ風ニ缺乏シテ居ルカト申シマス、石油聯合會ノ方ニ配給ガ參ツテ居リマス、サウスルト是ガ農村ニ届ク前ニ圓「ブロック」内ニ於テ、支那滿洲ノ方ニ流レテ行クノデアリマス、例ヘバ戰前ニ於テコチラデ二罐一箱ノモノガ四圓七十錢デアリマシタガ、支那ノ方ニ持ツテ行クトハ圓ニ賣レル、隨テ内地ニ於テモ八圓ニナツテ居ル、價格ノ騰貴ノミナラズ、石油ガ支那滿洲ニ流込シテ居リマス結果、發動機ニ使フ所ノ石油ガ農村ニ來ナイ、其ノ結果ドウナルカト云フト私共ガ唯一ノ頼ミトシテ居リマスル豐年ノ基タル照リ年ガ來タトシマシテモ到ル處ニ早魃ヲ起シマス照込ミノ年ガ幸ニ來マシテモ、之ヲ逃ガシテ増產ガ出來ナイノミナラズ、減產トナル、又不幸ニシテ是ガ雨續キニナル、雨續キニナツテ政府ノ見込シタ所ノ增收計畫ト云フモノガ刻々ニ破レテ行ク、最後ノ頼ミトシテ、セメテ平年作デモ穫ラウトシタ時ニ、雨ガ

降ル、水ヲ湛ヘル、發動機ニ依ツテ之ヲ排水スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマス、政府ノ増產計畫ト云フモノハ根本カラ打破サレルコトニナル、斯様な狀況ニナツテ來ル、又釘ヤ針金ト云フモノガ——是ハ昨年デアリマシタカ靜岡縣ノ卵デアルトカ、青森縣ノ林檎ト云フヤウナモノノ配給ガ、釘、針金ノ不足デ出來ナカッタ、ソコデ今釘、針金、鐵線ノ配給要綱ト云フモノガ出來テ居リマスガ、ソレヲ商人ハ農村ニ賣リマセヌ、都會地ニドン／＼是ガ流レ込シテ來テ居リマス、是モ實際ノ話デアリマス、又罐詰用ノ空罐ニ致シマシテモ、是モ農村ニ缺乏シテ、却テ外ノ方ニドン／＼流レル、ト云フノハ此ノ配給ノ方法ガ、鋳力商人ノ手ニ材料ガ渡リマシテ、鋳力商人ガ空罐ヲ拵ヘテ農村ニ配給スルト云フコトニナツテ居ル、サウシマス外ノ高値ニ取引出來ル所ニ之ヲドン／＼流シ込シマフ、昨年箇ノ罐詰ヲ拵ヘル時ニ、品不足デ空罐ガ來ナイ、箇ハドン／＼伸ビテシマツテ困ツタト云フヤウナ例モアリマス、農業藥劑關係ニシマシテモ、是ハ輸入農藥統制組合カラ輸入製造加工組合ニ流シ込ムノデアリマスガ、是モ終ヒニハ何處ヘ行ツテモ宜イト云フコトニナル、ソコデ採算ノ取レルウント

賣レル所ニハ流レテ行キマスガ、東北ノヤウナ所ニハ流レテ行カテイ、農業藥劑ガドレ程増産計畫ニ必要カト云フコトハ、農林當局モ能ク御承知ノ通りデアリマス、石油ハ先ニ申上ゲタ通りデアリマス、漁撈用ノ「ロープ」ナンカニ至リマシテハ、左様ナコト以外ニ品質ヲ業者ガ粗惡ニシテ行キマス、其ノ結果折角獲リマシタ網一杯ニ膨上ツテ居ル大漁ノ魚ガ、網ノ底ガ破レテ抜ケテシマツタ、折角釣絲デ釣ツタ魚ガ絲ガ切レテ逃ゲテシマツタト云フヤウナコトハ、枚舉ニ追ガナイコトデアリマス、ソレデハ斯様ナコトハドウ云フ所カラ發生シ來ツタカト申シマス、是ハ農林省ノ本年度ノ米穀政策竝ニ増産計畫ニ副フヤウニ、此ノ農産資材ノ流シ込ミガ「リンク」シナイ、茲ニ企畫院竝ニ商工省ニ向ツテ御尋シナケレバナラスコトハ、一體全體軍ニ致シマシテモ、軍ガ行動ヲ起シテ一ツノ戰爭ヲ開始スル、其ノ時ニ之ニ必要ナル資材ト云フモノヲ、其ノ軍ノ統率ノ下ニ屬セシメナイデ、他ノ部隊長ノ統率ニ之ヲ付ケテ置ク、サウシテ戰ヲセヨ、是デ戰ガ十分出來マセウカ、ドウシテモ本年ハ内地デ米ヲ六千七百万石穫ラナケレバナラス、若シ六千七百万石穫ラナイト日本ニ於ケル米ノ對策ガ根本カラ破レル、破

レテ來ルト先程申シマシタヤウニ一波万波ヲ呼ンデ、收拾スベカラザル狀態ニナル虞ガアル、其ノ所謂國策ノ根幹ノ一ツヲ成シテ居ル此ノ増産計畫ニ對シマシテ、此ノ物資ヲ配給スルニ付テハ、農産資材ダケハ農林省ノ管轄ニ屬セシメテ、初メテ是ガ完成スルノデアリマスガ、然ルニ事實ハ之ニ反シ、只今申上ゲマシタヤウニ是ハ商工省ノ方ノ配給トナツテ居リマシテ、商工省カラ只今申上ゲマシタ色々ナ工業組合其ノ他ニ之ヲ配給スル、サウ致シマス、鐵ハ工業組合ノ方デ之ヲ製品ニシテ賣捌ク、賣捌カウトスル場合ニ側ニ高ク賣レル所ガアルト之ニ賣込ム、又同ジ圓「ブロック」ノ中ニ逃込ム所ガ澤山アルトソナラニ行ツテシマフ、只今申上ゲレヤウナモノガ全部サウ云フ形ニナツテシマツテ農村ニハ來ナイ、ソコデ之ハドウシテモ現狀ノヤウナ配給統制ノ仕方ニシナイトイケナイモノカ、之ヲ改善スル餘地ガナイモノカ、ナイトスレバ、如何ナル理由ヲ以テ左様ナコトガナイノカ、其ノ點ヲ一ツ企畫院總裁竝ニ商工當局カラ承リタイト思フノデアリマス

○青木政府委員 御答申上ゲマス、食糧ノ自給ト云フコトガ、戰時下ノ我國ニ於キマシテ最も重要視スベキ國策デアルト云フ點

ニ付テハ全ク同感デアリマス、ソレカラ此ノ農業ノ維持、更ニ増産計畫ノ遂行ニ當リマシテ、必要ナ物資ガ伴ハナクテハイケナイト云フコトモ、是モ論ヲ俟タナイ所デアリマス、今日ノ狀況ニ於キマシテ、又吉植サシノ御述べノ如キ色々ナ必要ナ物資ノ配給ニ於テ、圓滑ヲ缺イテ居ルト云フコトモ、是ハ事實アラウカト思ツテ居ルノデアリマス、何分ニモ戰時ニ於キマスル重要物資ノ需要ガ急激ニ増加致シマシテ、之ニ對スル供給力ト云フモノニ制限ガアル、斯ウ云フ關係デ各方面ニ不自由ヲ掛ケテ居ルコトハ事實デアリマス、ソレカラ同ジ品物ヲ配給致スニシテモ其ノ方法ガ慣レテ居ラナイ、或ハ制度ガ整ツテ居ラナイト云フ關係上、是亦不圓滑ヲ來タシテ居ル原因ヲ作ツテ居ルコトモアラウカト思フノデアリマス、併シナガラ政府ニ於キマシテモ亦此ノ米穀等ノ生産維持増加ニ伴フ物資ノ配給ノ重要性ト云フコトハ十分認メテ居リマス、先ヅ第一段ニ今御話ノアリマシタヤウナ鐵關係ノ農具デアルトカ、或ハ其ノ他各種ノ資材ニ付キマシテ割當ヲ決メル場合ニハ出來ルダケ考慮ヲ加ヘタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ重要物資ノ割當ニ付キマシテハ、企畫院ハ各省ト協議ヲ致シマシテ、私共ノ

責任ニ於テ其ノ大體ノ輪廓ヲ決メルノデアリマスガ、御承知ノ通り戰爭中デアリマスノデ、軍需其ノ他ノ非常ニ大量ナ分ヲ取ラレルノデアリマスケレドモ、併シ民需ト致シマシテ今申上ゲマシタヤウニ農産維持ニ要スル資材ト云フモノハ、是ハ民需ノ中デハ最も大切ナモノトシテ出來ルダケノ重點ヲ置キタイ、其ノ考ヘ方デ重要物資ノ割當ヲ決メル考デアリマス、ソレガ先ヅ根本デアルト思フノデアリマス、其ノ次ニハ今御話ノアリマシタヤウナ配給ノ組織運用ノ問題ニナルト思フノデアリマス、此ノ方ハ大體各省殊ニ商工省ノ物資調整局ヲ中心トシテ、各省ニ御願シテ居ル部分ガ多イノデアリマスガ、是モ今マデノ所ハ或ハ其ノ制度運用ニ於テ不十分ナ點ガアツタカモ知レマセヌガ、今後ニ於テハ其ノ改善ヲ加ヘマシテ、當初割當テタ目的以外ヘ其ノ品物ガ流レテ行クト云フヤウナコトノナイヤウニ、一段ト工夫ヲ凝ラシタイト考ヘテ居リマス、又今御話ノヤウニ外ヘ持ツテ行ツテ製造シタリ、或ハ賣レバ高ク賣レルカラ、ソレデ初メ割當テタヨリ以外ヘ其ノ品物ガ流レテ行クト云フヤウナコトガアツテハ、是ハ統制ノ本旨ニ背キマスノデ、今御話ノヤウナ弊害ノナイヤウニ極力

關係方面ト相談ヲシテ、改善ヲ加ヘテ行キ
タイト今考ヘテ居リマス、又今御話ノ例ヘ
バ圓「ブロック」地域ヘ其ノ値段ノ關係デ
行クト云フヤウナコトガアツテモ困ルノデア
リマス、圓「ブロック」ニ對スル物資ノ供給
ニ付キマシテハ、其ノ見地カラ此ノ政策ヲ
決メテ行キマスガ、唯値段ノ關係上政府ノ
豫期シタ以上ニ、斯ウ云フ品物ガ流レテ行
クト云フヤウナコトガアツテハナラヌト考
ヘテ居リマス、ソレデ政府内部ノ仕事ノ分
擔ノ關係デアリマスガ、今申上ゲマシタヤ
ウニ重要物資ノ割當ト云フ根本ノコトニ付
キマシテハ、企畫院ガ中心トナツテ各省ノ
意見、農林省ノ意見モ十分參酌致シマシテ
決メルノデアリマス、配給ニ付キマシテハ
是ハ事柄ノ性質上、ヤハリ物資調整局等ガ
中心トナツテ決メルノガ適當カト考ヘテ居
リマスガ、此ノ場合ニモ勿論各省ノ意向ヲ
無視シテヤル譯デハナイノデアリマシテ、
十分サウ云フ方面ノ要求モ入レテ理想的ノ
方法ヲ執リタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ
マス、唯一言申上ゲテ置キタイノハ、當初
モ申上ゲマシタ如ク、何ト申シマシテモ現
在ハ品物ノ供給總量ニ比シテ需要ガ多イノ
デアリマスカラ、ソレデ斯ウ云フ方面ニ如
何ニ重點ヲ置クト申シマシテモ、今マデノ

ヤウナ自由ノ時代カラ見ルト、是ハドウシ
テモ窮屈ニナルト思フノデアリマス、品物
全體ガ要ルモノデアリマスカラ、ソレデ其
ノ品物ノ配給等ニ於テ今マデヨリモ工夫ヲ
考ヘルハ勿論、需要者側ニ於キマシテモ或
ル程度ノ不自由ヲ忍ビ戴イテ、極力少イ
モノデ間ニ合セルヤウナ工夫ヲ願ヒタイ、
斯ウ云フコトヲ同時ニ御願シテ置キタイト
思フノデアリマス

○吉植委員 只今企畫院總裁ノ御答辯ヲ承
リマシタガ、實ハ割當ハ企畫院ノ仕事デ各
方面ニ割當テル、斯ウ云フ御言葉デアリマ
シタガ、ソレニ付テ此處デ企畫院總裁ノ御
意見ヲ伺ヒタイ、只今企畫院ノ方ノ割當ニ
依ツテ來テ居リマスルモノデ、折角企畫院デ
割當テマシテモ民間ノ農村ノ方ニ十分ニ行
キマセヌモノニ今モ申上ゲタ鐵鋼ガゴザイ
マス、是ハ企畫院ノ方デ割當ニナラレル、
又農村デ今最モ必要ナ勞働者ヲ作ル木綿物
其ノ他ノ割當、是等ハ企畫院ノ方デ割當テ
テ其割當テハ白紙ノ儘商工省ノ方ヘ參リマ
ス、商工省ノ方デハ工業組合ヘ直グニ行ツ
テシマフ、スルト景氣ノ好イ方ヘ流レテシ
マフト云フヤウナコトデ、農村ニ皆ク渡ラナ
イト云フノガ實情デアリマス、又地下足袋
ノ如キハ先刻申上ゲマシタガ是ハ特免ノモ

ノデアリマス、特免ノモノデ割當ニナリマ
スガ、其ノ割當ハドウナルカト申シマスル
ト、斯ウ云フ地下足袋ニ用ヒマス護謨ハ運
動靴ト共通割當ニナツテ居リマス、運動靴
ノ方ハ都會地ノ方ニ賣レマスカラ高く賣レ
ル、然ルニ農村ノ方ハ高くテハ賣レナイ、
ソコデ此ノ護謨ハ運動靴ノ方ヘドン／＼行
ツテ地下足袋ノ方ヘ來ナイ、斯ウ云フ現狀
ニナツテ居リマス、序デデアリマスカラ申
上ゲマスガ此ノ地下足袋ガ幸ニ出來テ農村
側ニ來タラドウナルカ、是ハ軍需工業ノ方
ガ景氣ガ好イ、農村ヘ賣ルヨリハ軍需工業
地ノ景氣ノ好イ方ヘ賣ツタ方ガ高イノデス
カラ、折角地下足袋ニナリマシタニモ拘ラ
ズ製品ガ都會ヘ流レテシマツテ農村ニハ缺
乏スル、是ハ實例デゴザイマス、斯ウ云フ
コトニナツテ居リマス、又鐵ノ方ニシマス
ト、先ヅ商工省ガ道府縣別ノ需要調査ニ基
イテ査定シ且ツ配給ヲ爲シ、農林省ハ之ヲ
府縣ニ割當テマス、ソレカラ購入證明書ヲ
吳レマス、ソレガ需要者ニ渡ツテ其ノ證明
書ヲ以テ製造配給ガ行ハレル、斯ウ云フヤ
ヤコシイコトニナツテ居リマス、是モ企畫
院ノ方カラ純粹ノ農村ノ農産用具トシテ使
フ所ノ鐵ハ、農林省ノ方ニ御任セスルト云
フコトニナツテ、農林省ガ之ヲ農村ノ實際

ノ狀況ニ照シテ發動機ハ幾ラ、除草機ハ幾
ラ、脱穀機ハ幾ラ、鎌ハ幾ラト云フヤウニ、
割當テマシテ、工業組合ニ持出シテコチラ
ノ要求ニ合フ規格ニ於テ造ツテ貰ツテ、之
ヲ農林省ガ配給スルト云フコトニスレバ不
便モナイノデアリマスガ、サウデナク只今
ノ現狀ハ只今申上ゲタヤウナ譯デアリマス、
然ラバ其ノ結果ハドウ云フ風ニナツテ居ル
カト云フト此ノ要綱ハ行政方針ヲ示シタ要
綱デアツテ、民間ニハ強制力ガ殆ドナイ、
ソコデ原料ハ勿論半製品ノ鐵鋼原料デモ地
金トシテ賣ツテシマツタ方ガ今日得ガカラ
之ヲ賣ツテシマフ、製造義務ノ負擔ガナイ
ノダカラ、先程申上ゲタヤウニ脱穀機ハ賣
止メニナツテ居リマス、是ガ脱穀機用鐵幾
ラト云フ統制ガ出來テ居リマス、脱穀機
ハドウシテモ拵ヘナケレバナラヌガ、ソレ
ガサウナツテ居リマセヌカラ地金トシテ流
レルト云フコトニナツテ居リマスカラ、脱
穀機ハ出來マセヌ、出來マシテモ最高價格
ノ決定ト云フコトニ囚ハレテ、儲ガ薄クナ
ルト規格ヲ破壊シテ惡イモノヲ拵ヘマスカ
ラ直チニ破レテシマフ、隣ニ居ル同僚西川
議員ノ話ニ依ルト赤ン坊ノ櫻井「カバ」ハ
今マデノ品ヨリモ耐久力ガ二倍三倍弱クナ
ツテ居ルト言ハレテ居ルガ是ハ西川君ノ體

驗デアル、又先刻申上ゲタヤウニ、折角大漁ニナツテ悦ンデ漁民達ガ大漁旗ヲ立テテ祝ハフトシタ所ガ、網ガ規格デウント下ツテ居ツタ爲ニ底ガ抜ケテ魚ガ獲レナクナツテシマツタト云フコトニモナルノデアリマス、ドウシテモ此ノ割當又ハ配給統制ト云フコトニ關シテ企畫院總裁モ改善スベキ所ハ改善スルト仰シヤイマシタガ、ソコデ承リタイ、企畫院ニ於キマシテハ只今私ガ申上ゲマスヤウニ、農村カラ工業組合ニ配給ニナリマシタ證明書ニ依ツテ註文致シ、農林省ガ之ヲ監督シマスレバ、規格ヲ下ゲルト云フヤウナコトノ防除モ出來ル、ソコデ企畫院ニ於テ、純粹ニ農村ニ渡ルベキモノハ其ノ分ダケ商工省ノ管理カラ切り放シテ農林省ノ管理ニ任セル、其ノ代リ註文スル時ニハ商工省監督ノ下ニ於ケル工業組合ヲ指定シテ註文サセル、斯ウ云フヤウナ簡單明瞭ナ途デ行キマスルト、私共ノ心配ガ除去出來ルノデゴザイマスガ、之ニ對スル企畫院總裁ノ御考ヲ承リタイ

○青木政府委員 要スルニ御尋ノ通り當初割當テタ方面へ事實品物ガ行クト云フコトガ、眼目デアアルヤウニ伺ヒマス、ソレカラ又値段ガ高イカラ都會へ集ツテ、農村へ行カナイト云フヤウナコトガアツテモ困ル、

サウ云フ點ヲ矯正致シマス爲ニ色々現在ノヤリ方ヲ變ヘル點モアラウカト思ヒマスガ各省ガドウ云フ風ニ分擔シタルノガ宜シイカ、是ハ御趣旨ニ於テハ、私共モ異存ハアリマセヌカラ、尙ホ關係各省ト協議致シマシテ、一番良イ方法ヲ取ルコトヲ至急研究シテ見タイト思ヒマス、唯具體的ニ今御示シノヤウナコトガ一番良イ方法カドウカト云フコトハ、直チニ御即答致シ兼ねマスガ、十分關係方面ト協議シテ考慮致ス積リデアリマス

○吉植委員 只今ノ企畫院總裁ノ御言葉デ私共ハ愁眉ガ開ケ掛ツタ氣ガシマス、但シ此ノ決メガ又各省ノ間ニ於ケル所謂繩張爭ヒニナツテ參リマス、是ハ甚ダ困リマスノデ、商工省カラモ見エテ居ラレマスカラ此ノ點特ニ御願シタイノデアリマス、今日ノ朝日新聞ヲ見マシテモ其ノコトヲ明ニ書イテアリマス、是ハ唯私一人ノ意見デアリマセヌデ、所謂天下ノ定論ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、此ノ記事ニハ、一ツノ事實ヲ書イテ、其ノ次ニ「是ハ明ニ繩張り意識ニ發スル各省割據主義ニ起因シテ居ルガ、戰時下總テノ國家的活動ニ敏速且ツ集約的ナ能率發揮ガ要望サレル際、特ニ舊態依然タル役人根性ト御役所氣風ハ檢討ノ對象トナル、斯テ此ノ一事例ヲ取ツテ見テモ問題ハ結局「云々」ト書イテアリマスガ、是ハモウ天下皆悉ク見ル所デアリマス、併シ又考ヘテ見ルト一面御尤至極ナ點モ無イコトハナイ各省ニ於テ自分ノ繩張りト云フモノヲ固ク守ツテ行ク、御互ガ自己ノ責任ヲ十分ニ盡シマスカラコソ、今日此ノ大事變ニ際會致シマシテモ日本ハビクトモシナイノダ、是ガ皆授ゲヤリデアツテ、自分ノ繩張り侵サレ放題ニ放任シテ置イテ宜シイト云フコトニナツタラ、日本ハ斯様ナ實力發揮ハ出來マセヌ、デアリマスカラ私ハソレヲ咎メルノデハナイ、併シドウモ清水次郎長一家ガドウダトカ、或ハ黑駒勝藏ノ繩張ガドウダトカ、俺ノ繩張り侵シヤガツタラ承知シナイ、斯ウ云フコトニナツタノデハ、是ハ新開ノ示ス通り甚ダ怪シカラスコトト思ヒマス、ツマリ一切ノ自分ノ領分ヲ守ツテヤツテ行クト云フコトモ、國策ノ線ニ沿ウテ行ツテ貫ハナイト困ル、然ラバ國策ノ線ハ何處ニアルカ、只今私ガ申上ゲマシタヤウニドウシテモ今年六千七百石穫ラナイト、日本ノ戰時食糧政策ガ根底カラ搖ガサレルコトニナルト、農林省ガ發表スルノガ日本ノ米穀國策デゴザイマス、此ノ國策ガ確定シタル以上ハ、此ノ六千七百石ヲ飽クマ

デモ穫ル、石ニ嚙リ付イテモ之ヲ穫ラネバナラスト云フ所マデ行カナイト日本ハ危イ、此ノ國策ノ線ニ沿ウテ各、各、各ノ領分ヲ守ルノガ宜シイノダガ、此ノ國策ノ線ニ外レテ鐵ナラ鐵、木綿ナラ木綿ノ配給ニ當ツテ、是ガ農林省ノ方へ原料資材ガ來ル、左様ニナルト是ハ商工省ノ面目ニ係ハル、又商工省ガ管轄致シテ居リマス工業組合、商業組合ノ人達ノ發展ヲ希念シテ居ル上ニ於テ、其ノ發展ガ氣遣ハレル、是ガ可愛イト云フコトデ、單ナル左様ナ女子的ノ感情、愛情ニ囚ハレルト云フヤウナコトガアツテ、眞直グニ行クベキ流レヲ外ヘ「ト岐路ニ流レシメルト云フコトニナツテハ容易ナラヌ事デアリマス、此ノ點一ツ商工當局ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○竹内政府委員 食糧品ノ供給ガ、他ノ物資ノ非常ニ不足勝ナ中ニ於キマシテ、先ヅ心配ノ狀態ニナイト云フコトハ、是ハ非常ナ強味デアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ食糧ノ生産ヲ維持シ、更ニ其ノ増加ヲ圖リマス爲ニ、私共モ十分ナ關心ヲ持ツテ行カナケレバナラスト云フコトニ於キマシテハ、決シテ其ノ認識ニ於テ劣ラナイ積リデ居リマス、現在食糧ノ生産ニ必要ナ各種ノ物資ノ配給ニ

デモ穫ル、石ニ嚙リ付イテモ之ヲ穫ラネバナラスト云フ所マデ行カナイト日本ハ危イ、此ノ國策ノ線ニ沿ウテ各、各、各ノ領分ヲ守ルノガ宜シイノダガ、此ノ國策ノ線ニ外レテ鐵ナラ鐵、木綿ナラ木綿ノ配給ニ當ツテ、是ガ農林省ノ方へ原料資材ガ來ル、左様ニナルト是ハ商工省ノ面目ニ係ハル、又商工省ガ管轄致シテ居リマス工業組合、商業組合ノ人達ノ發展ヲ希念シテ居ル上ニ於テ、其ノ發展ガ氣遣ハレル、是ガ可愛イト云フコトデ、單ナル左様ナ女子的ノ感情、愛情ニ囚ハレルト云フヤウナコトガアツテ、眞直グニ行クベキ流レヲ外ヘ「ト岐路ニ流レシメルト云フコトニナツテハ容易ナラヌ事デアリマス、此ノ點一ツ商工當局ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○竹内政府委員 食糧品ノ供給ガ、他ノ物資ノ非常ニ不足勝ナ中ニ於キマシテ、先ヅ心配ノ狀態ニナイト云フコトハ、是ハ非常ナ強味デアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ食糧ノ生産ヲ維持シ、更ニ其ノ増加ヲ圖リマス爲ニ、私共モ十分ナ關心ヲ持ツテ行カナケレバナラスト云フコトニ於キマシテハ、決シテ其ノ認識ニ於テ劣ラナイ積リデ居リマス、現在食糧ノ生産ニ必要ナ各種ノ物資ノ配給ニ

付キマシテモ、相當此ノ方面ニハ重要視致シテ居ル積リデゴザイマス、只今幾々御述ベニナリマシタコトニ依リマシテ、更ニ一層認識ヲ深メ得タト云フ感ジガ致シテ居リマス、殊ニ製品ニナリマシテカラ先ニ、其ノ品物ガドウ云フ風ニ現實使用サレテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、大體私共モ今日氣ガ附イテ居ル點ガゴザイマス、只今地下足袋ノ例ヲ御述ベニナリマシタガ、サウ云フコトガアルノデハナイカト云フヤウナ風ニ、昨今考ヘテ居ルノデアリマス、唯之ヲドウ云フ風ニスレバ吾々ノ所期スル目的通りニ配給サレルカト云フコトヲ、研究シナケレバナラスト云フコトガ、一番困難デアリ、又大切ナコトト思フノデアリマス、唯此ノ問題ハ企畫院總裁モ答ヘラレマシタ通り、何分ニモ物資ガ不足デアリマス、例ニ御述ベニナリマシタ鐵ニシマシテモ、護謨ニ致シマシテモ、綿類ニ致シマシテモ、燃料ニ致シマシテモ、不足勝デアリマスノデ、之ヲ實際必要ナ方面ニ廻ハシテ行クト云フコトハ、配給ノ統制ヲ一段ト強化スルト云フコトガ、ドウシテモ行ハレナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレト同時ニ私共配給ノ事務ニ携ツテ居リマス者ガ、行届イタ行政ヲヤルト云フコトガ、ドウシ

テモ必要ニナツテ來ルノデアリマス、率直ニ申上ゲマスガ、何分ニモ經驗ノナイコトヲ實ハ始メマシタ爲ニ、當初ニ於キマシテ色々下手ナ點モアツタト思フノデアリマス、併シ是ハ決シテ繩張ノヤウナ氣持デヤツタノデハアリマセヌノデ、無經驗ガ思フヤウニ行カナカツタ點デアルト云フコトヲ、御諒承願ハナケレバナライト思フノデアリマス、商工省ニ於キマシテモ、決シテ商工省ノ所管ガドウダ、農林省ノ所管ガドウダト云フヤウナコトハ、毛頭考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス、能ク是ガ問題ニナリマスカラ私共ノ氣持ヲ申上ゲマスガ、自分ノ與ヘラレテ居リマス職務ニ忠實ナ餘リ、外見上繩張爭ヒデモスルカノ如キ觀ヲ呈スルコトモアラウト思フノデアリマスガ、是ハ極力避ケテ行カナケレバナリマセスト同時ニ、サウ云フ疑ヒヲ受ケルヤウナコトヲ先ヅ防グト云フコトガ、ドウシテモ必要ダト思フノデアリマス、更ニ其ノ上ニ立チマシテ綜合シタ計畫ヲ立ルト云フコトガ、ドウシテモ必要デアリマス、此ノ點ハ今後十分留意致シテ行キタイト思ヒマス、ソレデ只今御述ベニナリマシタ中デ、物ノ値段ガ高イト云フコトダケデソチラヘ流レテ行ク、是ハ最モ私共ハ最初カラ避ケナケレバナラ

ナイト考ヘテ居ル點デアリマシテ、今後ニ於キマシテモ此ノ點ハ十分氣ヲ付ケマシテ、配給ノ統制ヲ一段ト整備スルト云フコトヲ、ヤツテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、食糧問題ノ重要ナコトハ、今後戰爭中ハ勿論、長期建設ノ時代ニナリマシタナラバ、國民體位ノ維持向上ノ上カラ申シマシテ、極メテ大切ナコトダト思フノデアリマシテ、物資ノ配給ヲ按排致シマス際ニ、是等ノ點ニ付テノ關心ヲ怠ルコトハ決シテナイ積リデ居リマスルカラ、其ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイノデアリマス、同時ニ最後ニ此ノ機會ニ、寧ロ御願ヲ申上ゲテ置キマスガ、物資ノ不足ト云フコトハ現實ノコトデアリマスノデ、從來ノヤウニ物ガ足りナイト云フコトニ付キマシテハ是ハ十分御諒承願ハナケレバナリマセヌ、唯百ノモノヲ、其ノ使ヒ様ニ依リマシテハ或ハ是ガ七十ニナリ、五十ニナリマシテモ、百使ツテ居ツタト同ジダケノ效果ヲ擧ゲルモノモ相當アルト思フノデアリマス、即チ其ノ利用ヲ合理化シ、又節約ニ心掛ケルト云フコトガ極メテ大切デアルト思ヒマス、是ハ私共ガサウ云フコトヲ申シマスヨリハ、直接農村ノ指導ノ任ニ關係シテ居ラレマスル皆サン方ノ御力ニ依リマシテ、サウ云フ業者ノ認識ヲ深メテ行クト云フコトガ出來

マシタナラバ、私共非常ニ仕事ガヤリ宜イト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ甚ダ恐縮デアリマスガ、此ノ機會ニ寧ロ御願ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○吉植委員 只今ノ御話ヲ承リマシテ、是モヤハリ希望ヲ繋グコトガ出來ルコトニナリマシタノヲ、農村ノ爲ニ喜ビマス、唯此際申上ゲテ置キタイノハ、農村ハ時局ヲ能ク理解致シテ居リマス、政府當局ニ於テ何ト言ハレマシテモ、米ノ値段ハ今確ニ安イ、自分ナドノ買ヒマスル農産資材ハ高く、周圍全部ノ物價ガ高ク上ツテ居ル中ニ、農産物ノミハ値上リガナク、マルデ山ニ圍マレタ中ノ水溜リト云ツタ言葉ガ價格ノ點カラ見タ農村ノ地位ヲ能ク物語ツテ居リマス、理由ハ假令如何ニアラウトモ、米穀ヲ中心トシタル農産資材ヲ始メ周圍ノ物價ガ皆上ツテシマツタ中ニ獨リ米價ノミハ上ツテ居ラナイ、即チ此ノ異常物價風景ガ能ク物語ル農民ノ尊キ犠牲ニ依ツテ、日本ハ低物價策ノ國策ヲ遂行シテ居ルノデアルト云フコトヲ、農民ハ能ク理解シテ居リマス、ソレデアリマスルカラ此ノ點ニ於テ改善ヲ要望致シ、アノ點ニ於テ改善ヲ要望致シテ居リマシテモ、米價ヲ上ゲロト云フ要望ハ農村カラ一ツモ起ツテ居リマセヌ、全農村ガ

國策ノ線ニ沿ウテ犧牲ニ甘ンジテ國難ニ殉
ズル志デアリマスカラ、物資ノ缺乏ト云フ
コトハ百モ覺悟ノ上デゴザイマス、唯其ノ
缺乏致シマシタ物資ノ流レガ、當然ノ流レヲ
迪ラズシテ割當制ト配給統制ノ不備ト、營利
業者ノ營利心ニ依ツテ阻碍サレル、斯様ナ
コトニナリマスルト、此ノ尊キ農村ノ犧牲
ト云フモノハ根柢カラ濁サレル、此ノ尊キ
犧牲ヲ拂ツテ居ルニ拘ラズ、左様ナ事ガ公
公然ト行ハレテ居ルト云フコトガ、農民ノ

知識ノ中ニ明瞭ニ曝サレ出サレタ曉ハドウ
ナリマスカ、沈黙シツツ犧牲ニ忍ンデ居リ
マスル反對ニ、其ノ反撥ハ私ハ恐ロシイト
思ヒマス、此ノ意味ニ於テ企畫院總裁竝ニ
物資調整局長官ニ、出來ルダケ速ニ此ノ改
善ニ向ツテ實現ヲ期セラレタイ、斯ウ御願
シテ置キマスガ、少クトモ是ハ曠日彌久ヲ
許シマセヌ、企畫院總裁ニ於テハ最近ノ機
會ニ於テ、如何ナル會合ヲ催ストカ、研究會
ヲ催ストカ、如何ナル方法デ何時頃實現ス
ル積リデアルカ、此ノ點ヲ御伺シタイ、ソ
レカラ物資調整局長次長ニハ、只今ノ御話デ
心持ハ分リマシタガ、今私ハ肥料ノ點ハモ
ウ皆サン御承知ノコトト思ヒマスカラ申上
ゲナカツタ、一番大事ナ肥料ノ點ハ拔カシ
マシタガ、昨年既ニ決ツテ居リマスル肥料

ニ關スル專管問題ト云フモノガ、今マダ宙
ニ迷ツテ居リマス、是ハドウモ兩省ニ於ケ
ル所ノ管轄爭ヒ見タヤウナ風ニ私共ニハ見
エル、一番大事デアリマス、此ノ増産計畫
中ノ最大根幹デアリマスル肥料、而モ其ノ
肥料ノ農林省專管ハ當然デアルベキソレガ、
天下ニ知ラサレテ未ダ實現シテ居ナイ、是
ハドウ云フ譯ニナツテ居リマセウカ、或ハ
アナタノ所管外ニ涉ルコトカモ知レマセヌ
ガ、一寸之ヲ承ツテ置キタイ

○青木政府委員 配給機構ノ整備、運用ノ
改善ニ付キマシテハ、今月中ニ昭和十四年
度ノ物資動員計畫ガ大體決マルノデアリマ
シテ、此ノ時ハ各省關係官全部御集リヲ願
ツテ決メマス、其ノ際ニモ今ノヤウナ問題
モ出來ルダケ意見ヲ交換シテ、限リアル品
物ヲ最モ目的ニ副フヤウニ使フ方法ニ付テ
モ、出來ルダケ研究ヲ進メタイ、斯ウ考ヘ
テ居リマス、併シナガラ其ノ方法ガ具體的
ニ其ノ時ニ全部決マルカドウカ問題デアリ
マスノデ、新年度ニナリマシテモサウ云フ
ヤウナ研究ハ引續キ私ノ方デモ各省ト協力
シテ、速ニ改善ノ方策ヲ講ズルヤウニ致シ
タイト考ヘテ居リマス

○櫻內國務大臣 只今吉植サンカラ肥料專
管ノ問題ニ付テノ御話デアリマシタガ、是

ハ既ニ御承知ノ通り決定致シテ居リマス、
唯其ノ手續ノ上ニ於キマシテ、事務當局ノ
間ノ手續ガ完了致スノガ遅レテ居ルト云フ
コトハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、速急ニ是
ハ取纏メタイト考ヘテ居リマス

○平野委員 關聯シテ企畫院總裁ニ御尋致
シマス、只今吉植君ニ御答辯ニナリマシタ
ガ、無論御答辯ガ其ノ儘行ハルレバソレデ
宜シイト云フコトニナル譯デスガ、實際問
題トシテ、昨年來吾々ガ企畫院及ビ商工省
ヘ陳情ヲシタ經驗カラ申シマス、只今ノ
御答辯ダケデハ安心出來ヌノデス、ソレデ
私ノ意見ヲ申シマス、臨時物資調整局ト
云フモノガ商工省ノ所管デアルト云フコト
ガ、間違ツテ居ルト思フノデス、是ハ少ク
トモ内閣直屬ノ機關デナケレバナラス、是
ガ商工省ノ中ニアツテ商工大臣ノ統制下ニ
アルト云フコトガ、各省分割等ノ弊ヲ生ズ
ル、農林大臣ガ商工大臣ニ頼マナケレバ農
林行政ニ於ケル所ノ必要物資ガ得ラレナイ
ト云フヤウナ話ハナイト思フ、少クトモ臨
時物資調整局ト云フモノト、物價調整機關
ト云フモノハ内閣直屬ニシテ、言ヒ換ヘレ
バ企畫院ガ直接之ヲヤル、斯ウ云フコトニ
直チニ御改メヲ願フト云フコトガアリマス
ナラバ、具體的ニ誠意アルコトデアルト思

ハフノデアリマスガ、是ガ出來ルカドウカ一
ツ御答辯願ヒタイ

○青木政府委員 臨時物資調整局ノ機構、
ソレカラ物價ニ關スル機構ノ所屬ノ問題、
是ハ私カラハ此ノ際御答辯致シ兼ねマス、
併シナガラ是ガ商工省ニアリマシテモ、勿
論商工當局ダケデ斯ウ云フ物資ノ配給其ノ
他ノ政策ヲ決メル譯デアリマセヌノデ、唯
先程申上ゲマシタ通り、配給ニ關スル根本
ノ方針ハ企畫院ガ其ノ衝ニ當ツテ居リマス
シ、ソレカラ配給ノ實際ノ運用ニ付キマシ
テハ是亦商工省ダケデ自由ニ致ス譯デハナ
イノデアリマス、隨テ商工省ガヤルト云フ
コトダケデ、必ズシモ豫期ノ目的ヲ達シナ
イト云フ譯ニハナラナイト思ヒマスガ、機
構ソレ自體ノ問題ハ私カラハ此ノ際御答致
シ兼ねマス

○平野委員 ソレガ私ハ困ルト思フノデリ
ス、サウ仰シヤレバ、商工省ダケガ勝手ニ
シテ居ルト云フコトデナイコトハ分ル、併
シ實際問題ハ、企畫院ニ行ツテ農業ニ對ス
ル鐵ト云フモノハ是ダケ必要ダト云フコト
ヲ話スト、企畫院總裁ハ成程御尤ダ、サウ
シマセウト言ツタ所デ、實際鐵ヲ貫ヒニ行
ク所ハ商工省デアル、商工省ノ或ル課長ノ
所へ行ツテ話ヲシナケレバナラス、其處ヘ

行クト又下ノ方ヘ行ツテ、ソレハ斯ウダ、アアダト云フコトニナル、畢竟スルニ商工省ニ頼マナケレバ何ニモナラヌノデスカラ、ソレガイケナイ、若シ企畫院總裁ガ此ノ點ニ付テ總裁自身トシテ御答辯出來ナイナラバ、私ハ委員長ニ御願シテ、敢テ平沼内閣總理大臣ノ御答辯ヲ得タイ、問題ハ只今吉植君カラ述ベラレタ如ク、全ク重大ナ問題デ、今日商工省ノ門前ヘ行ケバ非常ナモノデス、ソレヲ地方ヘ歸ツテ非常ニ不平ヲ言ツテ居ル、皆要領ヲ得ナイ、何故要領ヲ得ナイカト言ヘバ、先程吉植君ガ述ベラレタ通り、此ノ問題ヲ統制シテ眞ニ今日國民ノ中ニ捲起ツテ居ル不平ヲ満足サセルニハ、内閣直屬ノ機關トシテ十分處理サレナケレバ、吾々幾ラ商工省ヘ行ツテ頼シデモ埒ガ明カヌ、此ノ點ニ付テ若シ企畫院總裁ガ御答辯出來ナイト云フナラバ、内閣總理大臣ト、臨時物資調整局ハ内閣ノ直屬ノ機關トシテ今後ヤルト云フコトヲ、一ツ御相談願ヘナイカドウカ、此ノ點ニ付テ改メテ御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

○青木政府委員 尙ホ一ツ御意見ヲ伺ツテ置キマシテ、十分研究致シマス

○平野委員 ソレニ對シテ是非總理大臣ト御研究ノ上、出來ヌナラ出來ヌ、出來ルナ

ラ出來ルト御答辯ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ一點、只今吉植君ノ説明デ能ク分ツテ居ルト思ヒマスガ、企畫院デハ斯ウ云フコトノ研究ガマダ足ラヌと思ヒマス、工業生産ニ付テハ豫算總會ニ於テ十分御説明ガアツテ、企畫院ノ御話ヲ吾々ハ諒トシテ居リマスガ、ドウモ企畫院ハマダ農村問題ニ對スル研究ガ足ラナイと思フ、例ヘバ米ヲ作ルニ付テドレダケノ農器具ガ要ルカ、私ハ茲ニ自分ノ研究ヲ申上ゲマス、米ヲ作ツテソレガ都會ノ人ノロニ入ルマデニハ、二十七種類ノ農器具ヲ通ジテ來テ居ル、失禮デスケレドモ簡單ニ讀ミマス、鋏、犂、株切器、碎土器、肥料粉碎機、肥料粉末機、肥料配合機、水田中耕除草器、噴霧機、撒粉機、「ボンブ」、脱穀機——是ハ人力用ト動力用、穀摺機——是モ人力用ト動力用、唐箕、扇風機、萬石、縱線選穀器、火力乾燥裝置、俵締器、精米機、藁打機、製繩機、繩仕上機、製荏機、菰編機、是ダケノモノガナケレバ米ニナラス、無論是ハ其ノ土地、其ノ地方ニ依リマシテ、是以上ノ物ヲ使ツテ居ルモノモデアリマス、又是ダケノ物ヲ使ハヌデ、多少簡略ニシテ居ルモノモアリマスガ、大體是ダケノ經過ヲ經ナケレバ米ニ成ラヌ、斯ウ云フモノニ付テノ研究ガ

實際ニ出來テ居ナイ、吾々企畫院ニ行ツテ見テモ、農器具ナドハ三年位大丈夫ダト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ラレル、サウ御考ニナルノモ御尤カモ知レマセヌガ、今日有ユル生産ニ付テ十分ニ研究ヲ遂ゲラレル上ニ於テハ、是等ニ付テ特ニ御研究ヲ願ヒタイと思ヒマス、モウ一點、護謨ノ話ガ出マシタガ、山梨縣ニ於テハ護謨靴ヲ穿イテ田植ニ入り、百姓ヲヤツテ居ル、山梨縣ニハ御承知ノ通り、日本住血吸蟲病ト云フ地方病ガアツテ、田圃ヘ入レバ必ズ罹ル病氣デアル、之ヲ防ガウト思ツテモ中々今日ノ學理デハ防ゲナイ、山梨縣ニ於テ多大ノ費用ヲ使ツテヤツテ居ルガドウシテモ防ゲナイ、ソコデ護謨靴ヲ穿イテ入ル、此ノ住血吸蟲病ト云フノハ、皮膚カラ入ツテ、腸ノ壁ニ寄生シテ五年經ツト腹ガ大キクナツテ倒レル、甚ダシイノハ、或ル村ノ學校ノ子供ヲ調べテ見ルト、商人ト大地主ノ息子以外、詰リ耕作農民ノ子供ハ八五%之ニ罹ツテ居ツタ例ガアル、現在縣ヲ擧ゲテ非常ニ注意シテ居リマスケレドモ、實際ニ於テ護謨靴ガナイトスレバ此ノ病氣ニ罹ラザルヲ得ナイ、若シ此ノ病氣ニ罹ラスヤウニスレバ米ガ作レナイト云フ實情デアリマス、是ハホンノ一例デアリマスガ、農民ガ米ヲ作ル上ニ於ケル色々

ナ苦心ニ付テ御研究ニナルナラバ、恐ラク幾多ノ事例ガアルト思ヒマス、是等ニ付テモ企畫院ニ於テ特別ノ研究機關ヲ作ラレルコトガ必要ダト思フ、唯米ヲ作レノト言ツテモ作レルモノデハナイ、苟モ増産シヨウト云フ限リニ於テハ、増産出來ルダケノ十分ナル對策ヲ樹テラレタイト云フコトヲ、企畫院總裁ニ御願スルト同時ニ、サウ云フコトヲ十分ヤルト云フ御答辯ヲ得テ置キタイノデアリマス

○青木政府委員 企畫院ニ於キマシテモ、農産物ノ生産計畫其ノ他農村問題ノ重要性ヲ深く認識シテ、今後ニ於キマシテハ今ヨリモ一層其ノ方面ノ研究ニ力ヲ注グ、斯ウ云フ方針デ只今進メテ居リマス、御趣旨ノ通りニ考ヘテ居リマス

○西川委員 一寸關聯シマシテ、尙ホ此ノ簡單ナ質問ガ終レバ、私ノ保留質問モ同時ニ終ルコトニナリマスカラ、二問程御許ヲ願ヒマス

○添田委員長 極ク簡單ニ御願シマス

○西川委員 先ヅ企畫院總裁カラ農家用資材ノ確保ニ付テ、御心配ヲ戴イテ居ルコトヲ拜聽シタノデアリマスガ、實際ハ企畫院ニ於テ割當テラレテ居ルモノガ、完全ニ供給サレテ居ナイ、ソレガドウ云フ風ニナツ

テ居ルカト云フコトニ非常ナ不安ガアリ、又其ノ不安ガアル爲ニ價格ノ上ニ於テモ色々ナ問題ヲ生シデ居ルト思フ、企畫院ニ於テハ昨年度ノ物資動員計畫ノ全體ノ數字ニ付テハ、他ノ機會ニ於テ御發表ニナツタガ、凡ソ農林漁業ノ生産資材ニシテ、各品目別ノ需要量ガ一體ドレ位アルカ、平年度ニ於ケル需要量ハドレ位デアツテ、其ノ中生産力ニ支障ヲ來サザル範圍ニ於テドノ位節約出來ルト見テ居ラレルカ、隨テ絶對必要量ハドレダケデ、ソレニ付テハ何割ヲ供給サレテ居ルカト云フコトヲ、數字的ニ明ニ示スコトガ、是等ノ不安ヲ一掃シ、又先刻物資調整局ノ方ノ御要求ニモアツタヤウニ、凡ソ此ノ位ノ必要量ニ對シテ此ノ位ノ供給ガアルト云フコトガ數字的ニ分ルト、ドノ程度ノ節約ヲスレバ宜イカト云フ目安ガ付クノデアリマス、現在デハ努力ヲシテ居ルト云フヤウニ抽象的ニハ色々御話ニナリマシガ、果シテドノ品目ニ對シテ何割ノ供給ガ確保サレテ居ルカト云フコトハ、明瞭ニナツテ居リマセヌカラ、節約スル目安ガ付カナイ、是ハ只今直チニ其ノ數字ヲ御發表戴クコトハ或ハ困難カモ知レマセヌガ、適當ナ機會ニ其ノ數字ヲ御發表ニナツテ戴キタイト思ヒマス、之ニ付テノ御所見ヲ承リマ

ス

○青木政府委員 御尤ナ御質問デアリマシガ、物資動員計畫ノ内容ニ互ル詳細ナ計數ハ、發表致サナイコトニ申合セガ出來テ居リマスノデ、御註文ノ如キ詳細ナ内譯ハ一寸申上ゲ兼ネルト思ヒマス

○西川委員 農業用資材ノ如キハ、數量ニ於テハ全體ノ數カラ云フト極メテ僅カデアリマスカラ、是ハ大體御發表ニナツタ方ガ、農村ノ不安ヲ除クコトニナル、ソレニ付テハ大體ノ節約ヲスル目安ガ付イテ居ルト思ヒマスカラ、是ハ御考直シテ願ヒタイ、ソレカラモウ一間、私ノ質問ニ對シテ答辯ガ保留サレテ居ルコトハ、先刻平野君ガ質問サレマシタ臨時物資調整局ト臨時農村對策トノ官制上ノ問題デアリマス、隨テソレニ對スル總理大臣ノ御答辯ガアレバ、ソレデ宜イノデアリマスガ、此ノ際更ニ臨時物資調整局當局ニ御伺シテ置キタイノデアリマス、

人ノ課長ノ手ニ於テ非常ニ複雑多岐ニ互ル廣汎ナ問題ヲ、處理サレナケレバナラヌ現狀ニ於キマシテ、其ノ一々ニ就テ詳細ニ其ノ事情ヲ御諒承ニナツテ、適當ナル措置ヲ執ツテ戴クコトハ、人間業デハ出來ナイノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ一例ヲ取ツテ御聽致シマスガ、農具ノ中デ鋤、鍬、鎌、此ノ位單純ナモノハナイ、是ハ絶對ニ節約ノ出來ナイモノデアアル、其ノ鋤、鍬、鎌ノ中デ一番單純ナ鎌、是ガドノ位必要カト云フコトガ數字ノ上ニ出テ居リマシガ、其ノ鎌ニ付キマシテ臨時物資調整局ノ方ハ、内外地ヲ通ジテ日本ノ農家ニ何箇ノ鎌ガ行クカ、サウシテ其ノ鎌ハ如何ナル方面カラ如何ナル機構ニ於テ供給サレテ居ルカ、又其ノ所要ノ原料材ハ幾ラ要ルカ、斯ウ云フコトハ極メテ單純ナ問題デアリマシガ、其ノ一事ガ能ク御腹入ガ出來テ居リマスカドウカ、此ノ點ニ付テ私ハ御示テ願ヒタイト思フ、サウシテ下サルト吾々ハ安心スルノデアリマスガ、此ノ鎌ニ付キマシテドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ

ス、又農村方面ニ付キマシテハ農林省ガ一番能ク知ツテ居ラレマス、隨テ農林省ト十分ナ連絡ヲ取リマシナラバ、寧ロ私共ガサウ云フ細カイコトマデ知識ヲ振廻サナイ方ガ、却テ圓滑ニ行クノデハナイカ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、同時ニ地方デモ色々事情ガ違ヒマスカラ、サウ云フ地方ノ事情ニ即シタ問題ハ、出來ルダケ地方廳デ配分シテ貰フ方ガ宜シイノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ氣持デヤツテ居ル次第デゴザイマス、地方カラヨクサウ云フヤウナ陳情ニ見エマシガ、其ノ時ニアナタ方ハ縣廳ニ能ク御相談ニナツタカト云フコトヲ、實ハ申上ゲルノデアリマス、縣廳ガ其ノ地方ノ事情ヲ篤ト承知サレタ其ノ上デ、出來ルコトナラバ縣廳ノ人モ一緒ニ出デナサイ、サウシテ吾々ノ認識ノ足ラナイ所ヲ直シテ、戴キタイ、サウ云フ風ニナルコトノ方ガ、寧ロ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○西川委員 只今ノ御答辯デアリマスガ、サウ云フ風ニ御考下スツテ居ルコトガ、私ハ間違フ因ダト思フノデアリマス、サウ云フ小サイコトハ部下ノ他ノ方ガ知ツテ居ルカラ構ハナイ、斯ウ云フ御考デアリマス、ソコガ私ハ色々間違ヒガ起ル因デハナイ

テ居ルカト云フコトニ非常ナ不安ガアリ、又其ノ不安ガアル爲ニ價格ノ上ニ於テモ色々ナ問題ヲ生シデ居ルト思フ、企畫院ニ於テハ昨年度ノ物資動員計畫ノ全體ノ數字ニ付テハ、他ノ機會ニ於テ御發表ニナツタガ、凡ソ農林漁業ノ生産資材ニシテ、各品目別ノ需要量ガ一體ドレ位アルカ、平年度ニ於ケル需要量ハドレ位デアツテ、其ノ中生産力ニ支障ヲ來サザル範圍ニ於テドノ位節約出來ルト見テ居ラレルカ、隨テ絶對必要量ハドレダケデ、ソレニ付テハ何割ヲ供給サレテ居ルカト云フコトヲ、數字的ニ明ニ示スコトガ、是等ノ不安ヲ一掃シ、又先刻物資調整局ノ方ノ御要求ニモアツタヤウニ、凡ソ此ノ位ノ必要量ニ對シテ此ノ位ノ供給ガアルト云フコトガ數字的ニ分ルト、ドノ程度ノ節約ヲスレバ宜イカト云フ目安ガ付クノデアリマス、現在デハ努力ヲシテ居ルト云フヤウニ抽象的ニハ色々御話ニナリマシガ、果シテドノ品目ニ對シテ何割ノ供給ガ確保サレテ居ルカト云フコトハ、明瞭ニナツテ居リマセヌカラ、節約スル目安ガ付カナイ、是ハ只今直チニ其ノ數字ヲ御發表戴クコトハ或ハ困難カモ知レマセヌガ、適當ナ機會ニ其ノ數字ヲ御發表ニナツテ戴キタイト思ヒマス、之ニ付テノ御所見ヲ承リマ

○青木政府委員 御尤ナ御質問デアリマシガ、物資動員計畫ノ内容ニ互ル詳細ナ計數ハ、發表致サナイコトニ申合セガ出來テ居リマスノデ、御註文ノ如キ詳細ナ内譯ハ一寸申上ゲ兼ネルト思ヒマス

○西川委員 農業用資材ノ如キハ、數量ニ於テハ全體ノ數カラ云フト極メテ僅カデアリマスカラ、是ハ大體御發表ニナツタ方ガ、農村ノ不安ヲ除クコトニナル、ソレニ付テハ大體ノ節約ヲスル目安ガ付イテ居ルト思ヒマスカラ、是ハ御考直シテ願ヒタイ、ソレカラモウ一間、私ノ質問ニ對シテ答辯ガ保留サレテ居ルコトハ、先刻平野君ガ質問サレマシタ臨時物資調整局ト臨時農村對策トノ官制上ノ問題デアリマス、隨テソレニ對スル總理大臣ノ御答辯ガアレバ、ソレデ宜イノデアリマスガ、此ノ際更ニ臨時物資調整局當局ニ御伺シテ置キタイノデアリマス、

人ノ課長ノ手ニ於テ非常ニ複雑多岐ニ互ル廣汎ナ問題ヲ、處理サレナケレバナラヌ現狀ニ於キマシテ、其ノ一々ニ就テ詳細ニ其ノ事情ヲ御諒承ニナツテ、適當ナル措置ヲ執ツテ戴クコトハ、人間業デハ出來ナイノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ一例ヲ取ツテ御聽致シマスガ、農具ノ中デ鋤、鍬、鎌、此ノ位單純ナモノハナイ、是ハ絶對ニ節約ノ出來ナイモノデアアル、其ノ鋤、鍬、鎌ノ中デ一番單純ナ鎌、是ガドノ位必要カト云フコトガ數字ノ上ニ出テ居リマシガ、其ノ鎌ニ付キマシテ臨時物資調整局ノ方ハ、内外地ヲ通ジテ日本ノ農家ニ何箇ノ鎌ガ行クカ、サウシテ其ノ鎌ハ如何ナル方面カラ如何ナル機構ニ於テ供給サレテ居ルカ、又其ノ所要ノ原料材ハ幾ラ要ルカ、斯ウ云フコトハ極メテ單純ナ問題デアリマシガ、其ノ一事ガ能ク御腹入ガ出來テ居リマスカドウカ、此ノ點ニ付テ私ハ御示テ願ヒタイト思フ、サウシテ下サルト吾々ハ安心スルノデアリマスガ、此ノ鎌ニ付キマシテドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ

○竹内政府委員 只今御尋ノ點ニ付テハ、私ノ御答ハ落第グラウト思ヒマス、私自身ハ能ク承知致シテ居リマセヌガ、併シ私ノ部下ハ相當研究ヲ致シテ居ルモノト思ヒマ

カ、又地方廳ノ割當ハ、是ハ完全ニ絶對ニ行カナイノデアリマス、ソレカラ又地方ノ事情ニ依ツテ違フト言ハレルガ、鋤、鉄、鎌ノヤウナ原始的ナ單純ナ農具ハ、地方ノ事情ニ付テ變リハアリマセヌ、何町步ニ付テ何挺要ル、農家一戸ニ付テ何挺要ルカト云フコトハ、全國皆同ジデアル、此ノ鎌ハ昔ノ刀劍鍛冶ガ此ノ鎌鍛冶ニ變ツテ來タノデアリマシテ、全國ニ主要産地ガ五六箇所アルノデアリマス、此ノ五六箇所ノ主要産地ニ於テ約半數ノ鎌ヲ供給スル、ソレカラ各地ニ散在シテ居ル野鍛冶ナルモノガ、其ノ半數ヲ供給シテ居ル、ソレデ各府縣ニ割當テラレマスノハ、各地方ニ散在シテ居ル者ニ對シテ三割力四割ノモノヲ供給シテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ主タル産地ニハ地方ノ割當ガ皆ク行ツテ居ナイ、鐵ノ量カラ言ヘバ僅ニ二千匁位ノモノデアアル、此ノ二千匁ノ量サヘ割當テテ貰ヘバ、鎌ハ完全ニ供給ガ出來マスノニ、現在ハ其ノ三分ノ一シカイツテ居リマセヌ爲ニ、鎌ノ足ラナイコトハ是ハ致命的ナ打撃ニナツテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ私ハヤハリ色々御心配ヲ戴キマスケレドモ、サウ云フコトニマデ次長ニ一反歩ニ何ボ鎌ガ行ツテ居ツテ、何ボ供給サレテ居ルカト

云フコトヲ知ツテ戴クコトハ、人間業デハ到底不可能デアリマシテ、答辯ガ落第デアリマシテモ、ソレヲ責メルノデハナイノデアリマス、併シヤハリ餅ハ餅屋デ、サウ云フ行届イタ所マデ仕事ヲヤラセル、サウ云フ風ニ行政機構ノ上ニモ、官制ノ上ニモ御考下サラナケレバ、此ノ問題ハ完全ニ解決出來ナイト思ヒマスカラ、ドウカ其ノ點ハ能ク御考慮ヒタイ、商工省ガ所管のニ非常ニ行届イタ努力ヲシテ下サツテ居ルコトハ、吾々ハ承知シテ居ルノデアリマス、併シナガラ物ノ機構ト云フモノハ、客觀的ニソレガ完全ニ行カナイト云フ結果ヲ及ボシテ來ルノデアリマシテ、此ノ農具ノ一例ニ付テモ左様ナ結果ニナツテ居ルノデアリマスカラ、十分ニ御考慮置キテ御願致シテ置キマス、之ヲ以テ私ノ質問ハ、總理大臣ノ答辯ガアリマスレバ、其ノ保留質問ト共ニ終ルコトニ致シマス

○北委員 一寸關聯シテ簡單ニ——物資配給ノ實際の方法ニ付テ、物資調整局長ハ大變其ノ事ヲ難カシク考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、農村ニ物ヲ配給スルコトニ付テハ、ドウシテモ之ヲ通ラナケレバナラス合理的ナ正道ガアル、其ノ正道ガアルノヲ故ラニ之ヲ避ケテ行カレヨウトスル、即チ定石ヲ外シテ行カレヨウトスル處ニ、丁度下手碁ノ考ヘルト同ジヤウニ、大變難カシイモノガ出來テ來テ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ定石ヲ外サズニ不自然ナコトヲシナイ様ニシテ行クナラバ、何モ難カシイコトハナイ、ソコデ定石通りニドウシテモ通ラナケレバナラス道ヲ歩ムノダト云フコトヲ考ヘラレバ、問題ハ解決ガ付クノデアリマス、當局ハサウ云フ御考ハナイカ、不自然ナコトヲシテ通ルベキ道ヲ通ルマイトスルカラ、何時マデ經ツテモ良イ智慧ハ出テ來ナイ、戰爭ガ濟ムマデ出テ來ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスガ、當局ノ之ニ對スル御考ヲ承リタイ

○竹内政府委員 御尋ノ定石ハドウ云フ定石デアルカ、一寸私ニハ分リマセヌガ、併シ私共ハ唯新シイ石ノ布キ方ヲ強イテ考ヘテ居ル譯デハアリマセヌ、出來ルダケ摩擦ヲ少クスル、而モ一方ニ於キマシテ此ノ「ストック」物資ヲ出來ルダケ有效ニ、能率好ク配給スル方法ハドウ云フコトデアルカト云フコトニ、只管專念シテ居ルノデアリマシテ、強イテ定石ヲ外サウト云フヤウナ意味デ、難カシク考ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌ

○北委員 結局言ハザルヲ得ナクナツタノデアリマスガ、農村ノ物資配給ハ、産業組合ニオヤラシニナリサヘスレバ何デモナイノデス、之ヲ摩擦々々、相剋々々ト是レバカリヲ恐レテ居ルカラ、結局斯ウ云フコトニナル、アナタ方ノ御考ハ是レ一ツデス、ソレ一ツサヘ改メラルバ何デモナイ、ソレヲ大事ナ生産ニ支障ガ出來ル、根本ノ生産ガ減ツテ來ルト云フヤウナコトニシテ置イテ、一體是ハドウナルノデスカ、根本問題デアル生産ガ殖エテコソ本當ノ摩擦ハナクナル、本當ノ意味ニ於ケル重大ナル摩擦ハナクナル、小サイ枝葉末節ノ摩擦ヲ恐レテ、サウシテ根本ノ生産ガ減ツタラドウナルカ、此ノ點ニ付テ餘リニ目先ノ枝葉末節ノ摩擦ニばかり捉ハレテ居ル、是ガイケナイ、是サヘ直スナラバ譯ハナイ、物が足ラナクトモ少シモ不平ガ起ラズニ、極メテ少イモノデモ公平ニ分配ガ出來ルカラ、農民ハソレヲ皆ク分ケテ使ツテ行クコトガ出來ル、之ヲ一ツ直シタラ宜イ、此ノ考ヲ直サズニ戰時ノ經濟機構ヲドウシテ皆クヤツテ行クコトガ出來マスカ、所謂革新々々ト言ツテ居ルケレドモ、此ノ線ニ沿ハズシテ眞ノ革新ハ出來ルモノデハナイ、此ノ最小限度ノ革新サヘ出來ヌヤウナコトデハ、戰爭ノ遂行ハ出來ヌノデハナイカ、私ガ之ヲ力

説スルノハ極メテ簡單ニ行ク方法ナノデス、農業者ニ對シテ組合カラ實際必要ナ數ノ註文ヲ取ツテ、其ノ註文ヲ纏メタ上デ全國ニ割當テル品物ハ是ダケシカナイ、ソコデ是レダケノ品物ヲヤルカラ之ヲ公平ニ使ヘ、斯ウナレバ譯ハナイデハアリマセヌカ、ソレヲドウシテモ中間ノ工業者ニ、商業者ニ食ハサナケレバナラス、其ノ食ハスコトラ先ニシナケレバナラスカラ農民ニウマク物が渡ラナイ又農業者ニ配給スルモノハ頗ル高イモノニナルノデアリマス、最近ニ於テハ騰貴率ガ五割七分トカ言ハレテ居リマシガ、七割何分ト云フモノガアル、農業者ニ渡ル所ノ品物ハ物價騰貴其ノ他ニ依ツテ斯ウ云フ狀況ガ現ハレテ居ル、之ヲ直スベキ途ハアルデハアリマセヌカ、ソレヲ御考ニナラヌデ、小サイ摩擦ヲ恐レタ爲ニ大局的ナ肝腎ノ生産ガ減ツタラ國民全體ハドウスルコトモ出來ナイコトニナル、是ハ明ナ事實デアリマス、大局ノ前ニハ小サイモノハ捨テナケレバナラス、是ハ仕様がナイ、此ノ點ニ付テ其ノ考ヘ方ヲ直シテ貫ヒサヘスレバ農業團體ハ引受ケテ立派ニヤツテ行ク、少シモ不平ハ言ハヌ、如何ニ少イ物資デモ國家ノ爲ニヤツテ行クト云フ決心ヲ持ツテ居ル、サウ云フ決心ヲ持ツテ居ルノデアリ

マス、ソレヲヤラズニ、殊更ニ唯難シイ横道バカリヲ通ラウトスルガ、ドウシテモ最後ハ必ずソコヲ通ラネバナラスノダ、國民ヲ苦シメテ苦シメテ、最後ニハ遂ニソコニ落チテ行クトスルナラバ、此處ダ物ヲ見分ケル所ノ明ガナケレバナラス、先見ノ明ヲ持ツテ貫ハナケレバナラス、此ノ先見ノ明ナシニ、最後ニハソコニ落チルニ拘ラズ、難シイコトバカリヤラレテ置イテ、サウシテ大事ナ生産ガ減ルト云フコトニナツテハ、大變ダト思ヒマス、ドウカ此ノ點ニ付テハ眼ヲ開イテ貫フコトヲ切ニ希望スル者デアリマス

○添田委員長 吉植君、陸軍大臣、又政府委員ノ方ハ、午後都合ヲ成ベク付ケルト云フヤウナ話デス

○吉植委員 ソレデハソレニ關スル質問ハ午後ニ延バシテ、マダモウ少シアリマスカラ——只今録ノ話ガ出マシタガ、大體農村ニ於テハ、一戸當リ平均耕作反別一町歩トシテ、四挺要リマス、山村アタリデ山ノ下草ヲ拂フヤウナ所ハ八挺要ル所モアリ、十挺要ル所モアルガ、大體平均シテソレダケ要ルノデアリマス、所ガ此ノ間此ノ録ノ方ノ組合ガ商工省ニ、物資調整局デゴザイマセウ、ソコニ行ツテ御願ヒシマシタ所ガ、録

ナドト云フモノハ三年カ四年ニ一ツ作レバ宜イノダ、ソレデナケレバ先ヘ繼足シテ補修シテ使ツタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ話ガアツタ、是モ事實話デス、所ガ録ト云フモノハ補修ガ出來ナイノデアリマス、一挺使ツタラソレ切リニナル、サウ云フヤウナモノデアリマシテ、如何ニ此ノ配給方法ガ無理デアルカト云フコトヲ、一番ヨリ物語ツテ居リマス、農林省ノ方ガ原料ノ配給ヲ受ケテヤリマス農林省ニ行ク、農林省ノ中ニハ、オ百姓ガ録ガ何挺アツタラ宜イカ、録ト云フモノハ修繕シテ使ヘルモノカドウカト云フコトヲ、知ラナイ者ハ一人モ居ナイ筈ナノデアリマス、一切ノモノヲ見透スト云フ場合カラ言ツテ、左様ナ知識ヲ持ツタ者ノ方ニ配給ヲ任セルト云フコトガ當然デアツテ、私共ノ言ガ正シイカ今ノ政府ノヤリ方ガ正シイカ此ノ事ガ一切ヲ物語ツテ居リマス、ドウカ只今申シマシタヤウニ、農村ガ欲シイ物ハ農村ニ與ヘテ貫ヒタイ、私ハ北君ノヤウニ産業組合ニ與ヘロトハ言ヒマセヌ、農村ノ欲シイ物ハ農村ニ與ヘテ貫ヒタイ、農村ノ方ノ所管、之ヲ取締ツテ行クノガ農林省デアリマス、農林省ヲ代表シテ農村ニ與ヘテ貫ヒタイ、是ガ出來ナイカ、是ガ出來ナイト云フコトニナリ

マス、農民ハ米價ノ抑壓ニ對シテハ黙ツテ居リマスガ、農村ニ直接ニ農具ヲ與ヘロ肥料ヲ與ヘロト云フ此ノ聲ヲ更ニ中途ニ於テ遮ル者ガアリマシタナラバ農村ハ起チマスゾ、斯様ナ見易イ道理ノコトヲ行ハズシテ——是ハ何人ト雖モ私ノ聲ヲ、オ前ノ言フノハ間違ツテ居ルト言フ者ハナイト思フ、假令農民ニアラズトモ、日本國民ニナイト思フ、之ヲ斷行セズシテ、萬一今年凶作ガ來タラドウシマスカ、凶作ガ來テ日本ノ國策遂行ガ出來ナイト云フコトニナツタラ、其ノ責任ハ誰ガ負フカ、一官僚、一總裁ガ之ヲ負ウタ所デ日本ノ全運命ト云フモノハドウナルカ、是ハ重大問題デアル、私ハ大變大キナ聲ヲ出シマシタガ、是ハ農民ノ聲デアル、失禮ハ平ニ御許ヲ願ヒタイ、農民ハ皆斯様ニ考ヘテ居ル、考ヘテ居リマシガ、ジツト黙ツテ居リマス、序ニ申上ゲテ置キマス、昭和五年ニ日本ハ當時ニ於テハ未曾有ノ大豐作、六千六百万石ノ大増收ヲ見マシタ、サウスルト米ノ値段ハ一俵十三圓五十錢カラ八圓五十錢ニ一箇月ノ中ニ轉落致シマシタ、ソコデ御承知ノ通りニ、豐作飢饉ト云フ年ガ來タ、翌昭和六年ハ前年ヨリモ一千万石以上ノ凶作デアリマシタ、凶作デアリマシタカラ、農民ハ茲デ米價ノ

立直リヲ期待致シマシタ、所ガ一俵八圓五十錢ニ轉落シマシタ米ガ今度ハ到頭五圓五十錢マデ顛落シテ行ツタ、サウシテ農村地獄ガ是處カラ出發シタ、サウ致シマス、其ノ當時ノ政府當局ハ何ト申シマシタカ、要スルニ、對策ナシ、農民ノ自覺ニ俟ツアルノミト言ツタ、是ハ當時ノ新聞ニ出テ居リマス、歷代ノ政府ガ増産増殖ヲ獎勵シ來ツタ瑞穂ノ國日本、ソコデ皆ガ増産増殖ヲシテ、開闢以來ノ六千六百萬石取ルト、豐作飢饉ノ貧乏ニナツタ、翌年ハ努力シマシタガ天候幸セズシテ米ガ取レナイ、サウスルト是ガ五圓五十錢ノ安値ニナツテ貧乏シタ、當時此ノ責任ヲ何人モ取ラナイ、ソコデ私ハ政府ノ言フ通り農民ガ自覺シタラ農村ニ革命ガ來ルノミダ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシタ、此ノ考ハ私ハ無理デヤナイト思フ、私ハ當時ノ考ヲ託シタ歌ガアリマスカラ、之ヲ聽イテ戴キタイ「田作リヲ今日ヲ目覺メテ起タン時革命直チニ來タルハ思フ」自覺シナイカラ宜シイ、米ガトレテモ貧乏、米ガ取レナイデモ貧乏凶年ガ貧乏豐年デモ貧乏ト云フコトニナツタラ、何處ニ行クベキヤ、クオ・パデス」ト云フ小説ガアリマシタガ、農民ヨ何處ニ行クト言フ農民ニ自覺セヨト言フ自覺シテ行ツタラ、革命ニ行クダケデアリマ

ス、「田作リヲ今日ヲ目覺メテ起タン時革命直チニ來ルハ思フ」自覺シナイカラマダ宜イノデアアル、ソコデ私ハモウ一ツ「憤リハゲシク湧キテ田作リワレ心アヤウク傾カントス」憤リガ激シク湧イテ來テ百姓ノ私ハ心危ウク傾カントスル、此ノ傾カントスルノハ、極端ニ言ヘバ破壊思想ニモナリマセウ、サウシテ私共ノ此ノ心ハ後ニドウ現ハレマシタカ、國家ニ取リマシテ不祥事件ガ二回勃發シマシタ、此ノ二回勃發シマシタ不祥事件ト云フモノガ、此ノ當時ノ農村ニ對スル對策ヲ誤ツタト云フコトニ一本ノ大キナ原因ノ線ヲ引イテ居リマスルコトハ、御承知ノ通りデアアル、農民ト云フモノハ其ノ時ニハ黙ツテ居ル、是ガ來ルベキ時ニ來リマスルト容易ナラヌモノガアル、農民ハ「暗闇ノ牛」デアリマス、ソコデ私切ニ思ヒマスノハ、其ノ當時ノ私共ノ憤リハ、是ハ單ニ農民ノミノ憤リデアツタ、所ガ今日ハサウデハナイ、單ナル日本農民ノ憤リダケデナク、其ノ結果スル處ハ日本進展ノ道ヲ阻ムコトニナルカ如何カノ問題ナノデアアル、國家興亡ニ關スル問題デアアル、小サナ問題デアアリマセヌ、鎌一挺ノ問題ガ國家興亡ニ繫ツテ居ル、此ノ點ヲ能クドウカーツ、企畫院總裁ニ於キマシテモ、商工當局ニ於キマシテモ、

神ニ祈リツ、萬一自分ナンカノヤル配給統制方法ガ間違ツタ時ハ、日本ノ進展ノ道ヲ阻ム者ハ自分達デアルト云フ堅イ覺悟ノ下ニ策ヲ立テラレタイ、此ノ覺悟ノ下ニ一日モ早ク此ノ農民ノ言フ缺陷ヲ是正スルヤウナ途ニ出デ戴キタイ、之ヲ切ニ御願致シマス、大キナ聲ヲ出シマシタコトハ幾重ニモ御詫ビ申上ゲマス、是ハ農民——私自身モ農民デゴザイマス、農民ノ聲ノ代表デゴザイマスカラ、此ノ點ヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス（拍手）是デ企畫院、商工當局ニ對スル質問ハ止メマス

○河野委員 關聯シテ御許シテ願ヒタイ、幸ヒ企畫院、商工省ノ關係ノ方ガ御出席デアリマスカラ御尋ヲ致シマスガ、燐礦石ノ輸入ニ付テ、農林大臣ノ段々ノ御援助ニ依リマシテ、幸ニ相當量ノ輸入ヲサレルコトニ方針ガ決定シタサウデアリマスガ、其ノ燐礦石ノ輸入ガ、外地ト内地トノ分配ラドウスルカ、又内地ニ於ケル肥料其他工業品原料トノ分配方法ラドウスルカト云フコトガ、今以テ決定セズニ、爲ニ此ノ燐礦石ヲ過燐酸ニ製造スル方面乃至ハ、過燐酸ニ製造シタモノヲ、ドウ云フ風ニ地方ヘ配給スルカタモ、方面ニ於テ、非常ニ迷惑シテ居ルト云フコトヲ伺ツテ居リマスケレドモ、サウ

云フ事實ガアルノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、吾々ノ考ヘマス所デハ、斯ノ如クニ原料トシテノ燐礦石ノ輸入量ガ決定致シマシタ以上ハ、當然是ガ内地外地ノ間ニ問題ノアラウ筈ハナシ、又内地デ之ヲ工業原料ニドウスルカスルカト云フコトニ問題ノアラウ筈ハナカラウト思ツテ居ルノデアリマスガ如何ニナツテ居リマスカ經過ヲ御説明願ヒタイ

○青木政府委員 燐礦石ノ輸入ニ付キマシテ、特殊ノ便法ヲ講ジマシタノハ、早く肥料ノ用途ニ使フコトガ出來ルヤウニト云フ眼目カラ來タノデアリマスカラ、其ノ際ノ色々ノ操作ノコトハ私存ジテ居リマセヌガ、若シサウ云フ問題ガアルトスレバ、是ハ早急ニ決メテ、實際ソレガ肥料ニ使ヘルヤウニ運バナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、若シサウ云フコトガアリマスレバ、至急問題ヲ決定シテ行クヤウニ致シマス

○河野委員 商工省ノ關係ノ方モ御見エノヤウデスガ、一ツ御説明ヲ願ヒマス

○新倉政府委員 燐礦石ノ問題ニ付キマシテハ、只今企畫院總裁モ御話ガアリマシタヤウニ、決定シマシタモノノ、實際ノ使用方法ニ付キマシテハ、マダ全部決定シタト云フ所マデ行カヌヤウニ私モ承知シテ居リ

マスガ、至急ニヤラナクテハナラヌト云フ意味デ、取急イデ居ルト云フヤウニ思ツテ居リマス

○河野委員 農林大臣ノ御聴取ヲ願ヒマス、折角農林大臣ガ努力サレマシテ、閣議デ決定セラレマシテ、モウ相當ノ時日ヲ經過シテ居ルノデス、所ガソレガ折角便法的ニ御決定ヲ願ヒマシテモ、ソレヲ外地ト内地トノ間ニドウ分ケルカト云フコトデ愚圖々々シテ見タリ、又内地デ使用スル燐礦石ヲ、更ニ又燐寸ノ原料デアルトカ、其ノ他必要ナ工業方面ニドウ使フカト云フ數量ガ決ラナイ、隨テ又其ノ殘ツタ燐礦石ヲ本當ニ過燐酸ニ製造スルノニハ、ドウ云フ風ニ其ノ原料ガ割當テラレテ、隨テ其ノ出來タ過燐酸ドウ云フ風ニ賣ルヤウニ方法ガ講ゼラレルカト云フコトガ、今以テ何等ノ目鼻ガ付カナイト云フコトハ、其ノ怠慢實ニ驚クニ堪ヘルモノガアル、議會デ吾々ガ斯ノ如クニ叫ベバコソ多少ハ促進セラレル、サウ云フコトデアッタナラバ、今後議會ノナイ時ハドウ云フ風ナ怠慢振ヲ見ルカ分ラヌト思フ、今日農村デ一番問題ニナツテ居リマスノハ、肥料ノ配給ニ對スル不安デアリマス、今マデ農林大臣ガ御努力ニナル前ハ過燐酸ガナイ、而モ私ヲシテ言ハシムレバ、企畫院ノ怠慢

デアル、當然必要ナ燐礦石ヲ三月ノ分マデ入レテ四五月ノ肥料最盛期ニ燐礦石ヲ入レナイデ、ブラ／＼シテ居ルコトハ、農村ニ無理解ナ企畫院當局ガアルカラ、斯ウナツタト思ヒマス、四五月ニ要ル過燐酸ハ當然一二三月ノ燐礦石決定ノ際ニ決定スベキモノデアアル、今日持ツテ來タカラ明日農村ニ過燐酸ガ行ク譯デハナイ、併シソレモ折角ノ御努力ニ依ツテ決リマシタ以上ハ、速ニ之ヲ運ンデ貫ヒタイ、農林大臣ノ御努力デ新聞ニアノ數字ガ出タケデモ、農村ハ肥料ニ對スル或ル程度ノ不安ガ解消致シマシテ、非常ニ安心シタノデアリマス、所ガ其ノ後其ノ割當ガ決ラナイデブラ／＼シテ居ル、地方ノ肥料商、地方ノ産業組合ノ要求ガ中央ニ參リマシテモ、過燐酸製造業者ニ幾ラノ燐礦石ガ貫ヘルカ分ラヌカラ、先約ハ出來ナイト云フコトノ爲ニ、再ビ地方ニハ燐礦石過燐酸ニ對スル焦燥ノ氣分ガ今日アルノデアリマス、毎日々々地方カラ東京ニ過燐酸ヲ送レ、過燐酸ヲ送レト云フ聲ハ相當ノ強イモノガアリマス、然ルニ今御答辯ノヤウニ、今以テ決定ガシテ居ラヌト云フノデハ、其ノ怠慢タルヤ實ニ驚クベキモノガアル、是ハ農林大臣ニモウ一步御努力願ヒマシテ、嚴ニ下僚ヲ取締リ鞭撻シテ

下サイマシテ、速ニ——是等ハ一日アレバ決マル、今マデ内地ヘ幾ラヤツタ、外地ヘ幾ラヤツタ、肥料ニ幾ラ使ツタ、又同時ニ其ノ製造ハドウ云フ風ニ割當テルカト云フコトニ、多クノ日ヲ要スル必要ハナイ、ソシナニ難カシイ問題デヤナイ、便法デ決メタモノハ便法ニ依ツテ總テ物ヲ決定サレバ一兩日乃至ハ幾ラ掛ツテモ一週間モアレバ全部出來ル管ナンデス、ソレガ何等ノ決定ヲ見ズシテ今マデブラ／＼サシテ居ル、今日此處デ御尋シテモ尙且ツ決定シテ居ラス、折角オヤリニナツテモサウ云フヤウナ怠慢ナコトデハ、農民ニ對シテ如何ナル理解ガアルカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ヌノデアリマス、一人ノ櫻内農林大臣ガ居ルカラ稍、吾々ハ之ニ期待スルコトガ出來ル、アトノ屬僚ニ至ツテハ何等特ムニ足ルモノガナイ、デアアルカラ私ハ此ノ米穀會社法案ノ如キモ、色々ト詳細ナ點ニ互ツテア、デモナイ、斯ウデモナイト云フコトヲ駄目ヲ押シテ置カナケレバ、ドウ云フコトデアアルカ分ラナイカラ言フノデアリマス、櫻内サンノ顔ヲ見ルト何ダカ御氣ノ毒ニナツテ、早く法案ヲ通サナケレバナラヌヤウナ氣モ起リマスケレドモ、又後口ノ方ヲ見ルト色々言ヒ

タクナル、嚴ニ御監督アランコトヲ御願スル次第デアリマス

○櫻内國務大臣 御注意ノ點深ク傾聴致シマス、唯此ノ際一言申上ゲテ置キタイノハ、此ノ無機質肥料ノ物動ノ決定ヲ見マシタ際ニ、直チニソレヲ註文サシタノデアリマス、是ハ一刻ヲ爭フコトデアリマスカラ、一刻ヲ爭ウテ註文サシテ、順次内地ヘ入ル手配ハ嚴重ニ命令致シマシタ、其ノ參ツタ後ノ配給ニ對シマシテ、マダ決定致サナイ點ガアルト云フコトノ御話デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、至急ニソレ／＼處理致サセマス

○添田委員長 吉植君、今陸海軍ノ政府委員ノ方ガ見エマシタ、モウ彼此レオ晝デスケレドモ、成ベク此ノ際ニアナタノ質問ヲ續ケラレタイト思ヒマス

○吉植委員 丁度今マデ農産資材ノ點ニ關スル私ノ御聴キシタイト思ヒマシタコトハ、同僚諸君カラノ關聯質問ニ依ツテ、スツカリ承ルコトガ出來マシタ、ソコデ今度ハ米ヲ作りマスノニ、ドウシテモ資材ト勞力ト二ツガ必要デアリマスノデ、勞力ノ點ヲ御同致シタイ、此ノ勞力ハ是モヤハリ農村ノ實情ニ付テ申上ゲナケレバ分リマセヌカラ、少シ時間ヲ拜借シテ

申上ダマス、私ノ方ハ關東ノ大洪水ノ爲ニ昨
年ハ米ガ穫レマセヌ、ソコデ農民達ハドウ
スルカト申シマス、是ハ軍需工業其ノ他
ノ殷賑産業ニ皆走リマシタ、是ハ已ム止
マレズ命ヲ繋グ必要上サウナリマシタ、所
ガ其ノ中ニモウ春ニナツテ農村ニ歸ラナケ
レバナラヌ時ガ來マシテモ、都會ニ於テ一
日二圓、三圓ト云フ高給ヲ取ツテ居リマス
カラ、農村ニ歸ルコトガイヤニナル、其ノ
中、縣ノ對策ノ救濟事業ガ起ル、各耕地整
理組合其ノ他ノ工事ガ起ル、男手ガアリマ
セヌカラ女ガ之ニ從事シテ居ルト云フヤウ
ナ狀況デゴザイマス、尤モ是ハ極端ナ例デ
ハゴザイマスガ、併シ都會附近其ノ他軍需
工業、殷賑産業ノアリマス附近ニ於キマシ
テハ、此ノ現象ハ天下到ル處認メラレマス、
其ノ他大戰ノ後凶作ガ來マス、日清戦争、
日露戦争、翌年ハ凶作デゴザイマシタ、是
ハ軍當局ノ方モ能ク御承知ノコトデアリマ
ス、其ノ例ニ依ルト昨年日本ニハ凶作ガ來
ナケレバナラナカツタ順序デゴザイマスル
ガ、幸ヒ日本ハ神國デアリマシテ、所謂神
風ガ吹イテ凶作ニナラナカツタ、世界大戰
ノ實例ニ依リマシテモ、三年目ニハ凶作ガ
來テ居ル、又先頃本會議デ私が申述ベマシ
タ通りニ、過去二十箇年間ノ統計ヲ取ツテ

見マスルト、四箇年ニ一度五千五百万石ト
云フ凶作ノ年ガ來テ居ル、其ノ點カラ言ウ
ト、本年ハ神風ノ國デアルカラト云ツテサ
ウ安心ハ出來ナイ年デアリマス、デアリマ
スカラ私共ハドシナコトヲシテモ政府ノ所
期シテ居リマスル米ノ產額ヲ擧ゲナケレバ
ナラナイト思ヒマスルガ、農村ノ勞働力ガ
斯様ナコトニナツテル上ニ、軍馬ノ徵發ニ
依ツテ又減退サレテ居リマス、先程來軍ノ
當局ガ才居デニナリマセヌ時ニ問答致シマ
シタガ、農村ニハ農產資材ガ今不足致シテ
居リマシテ、將來トモ此ノ不足ヲ克服スル
見透シガ中々付キマセヌノデ、企畫院總裁
其ノ他ニモ御願シテ居ツタヤウナ次第デア
リマス、年廻リガ凶作ヲシ年廻リニナツ
テ來テ居リマスル其ノ上ニ、農產資材、勞
力等ガ不足シテ居リマス、ケレドモ自然
現象ニ因ル凶作ト云フ年ハ日本全部ニ凶作
ガ襲ツテ來ルモノデナク、北海道、東北等
ニ冷害ガアル、九州ニ颱風ニ依ル洪水ガア
ル、關東ニ於テ何ガアルト云フヤウナ工
合ニ來ルノガ常例デアリマスルガ、勞働力
ト農產資材ノ缺乏ニ依ル凶作ト云フモノハ
日本全國押ナベテ來ルノデアリマス、是
ハ容易ナラナイ問題デアリマシテ、一割減ニ
ナリマシテモウ六百万石ハ減ツテシマフ、

一割五分減リマシテモ一千万石ハ飛ンデ
シマフ、是ハ日本全國津々浦々マデノ遍キ
凶作デゴザイマスルカラ、容易ナラナイト
思ヒマス、農林大臣、農林當局モ能ク此ノ
事ヲ頭ニ入レテ戴キタイ、ソコデ此ノ勞力
ノ缺乏ガドウ云フ結果ヲ來スカト申シマス
ト、一番恐ルベキコトハ田植デアリマス、
私ノ乏シイ經驗ニ依リマス、能ク照ツタ
日ニ植エマシタ稲ト、西風ノ吹ク寒イ日ニ
植エマシタ稲トデハ、同ジ條件ノ下デ一割
ノ收穫ガ違フト云フコトヲ農村民ハ能ク言
ウテ居リマス、所ガ田植時分ニナリマスル
ト、人手ガナイト云フノデ月夜ニモ田ヲ植
エルヤウナコトモアルノデアリマスガ、本
年ハ月夜ドコロデハナイ、夜ノ十二時ニナ
ツテモ田ヲ植エルヤウナコトニナリハセヌ
カ、斯ウ云フヤウニナツテ來ルト、是ハド
ウシテモ何カ茲ニ缺乏シテ居ル勞力ヲ補給
スルノ途ヲ講ジナケレバ安心ハ出來ナイト
思ヒマス、尤モ日本ニ於キマスル今日ノ勞
働力ハ決シテ不足致シテハ居リマセヌ、
五百六十萬戸ノ農家戸數ガ三人ヅツ勞力ヲ
持ツテ居リマスルカラ、其ノ中二百五十萬
人ガ支那、滿洲或ハ兵營ノ中ニ居ルト假定
シマシテ、後ノ二百五十萬人ガ軍需工業、
殷賑産業ノ方ニ向ツタト致シマシテモ、マ

ダ一戸二人以上ノ手間ガ殘ツテ居リマス、此
ノ田植ト云フモノハドノ位ノ勞力ガ要ルカ
ト申スニ、ドンナ利口デナイ者ガ植エマシ
テモ、一反歩ハ三人アレバ十分デアリマス、
所ガ大體農家ニ於キマスル水田ハ内地ニ於
テ平均六反弱デアリマス、ダカラ十八人ア
レバ宜シイノデアリマス、デアリマスルカ
ラ決シテ不足致シテハ居リマセヌガ、只今
申シマシタヤウナ影響ガ天下到ル所ニアリ
マス、勞働力ガ偏在致シテ居リマスル結果、
此ノ季節的ノ田植ニハ足ラナイ勝チニナツ
テ居ル、此ノ點ニ付テ特ニ農林大臣ニ、モ
ウ時間ガアリマセヌカラ時間節約ノ意味ニ於
テ後デユツクリ三十分ばかり時間ヲ拜借シテ
個人トシテ申上ゲテ置キタイト思ヒマスカ
ラ、其ノ點ハ省略致シマス、茲デ問題ニナ
リマスルノハ、大戰當時獨逸、佛蘭西、亞
米利加アタリデ行ハレマシタ方法ニ依ル勞
力補給デゴザイマス、獨逸ニ於キマシテハ中
央勞働紹介所ト云フモノガ出來テ、各地既
設勞働紹介所間ノ連絡ヲ取りマシテ、又下
級行政官廳ニ電報デ其ノ農業勞力ノ需給狀
態ノ調査ヲ命ジテ居リマス、又收穫勞働援
助ト云フコトヲヤリマシテ、内務省デハ管
下各官廳ニ收穫勞働者ノ補給盡力ヲ命ジマ
シタ、ソレカラ是ハ軍需當局ニ特ニ御聽ヲ

願ヒタイノデスガ、軍事當局ハ農業労働ニ必要ナ勞力、馬車等ヲ農民ニ貸シタ、斯ウナツテ居リマス、又學生農業労働ト云フコトモヤツテ居リマス、其ノ上ニ戰時經濟局ヲ設置シマシテ、一ツ／＼ノ縣ニ之ヲ置イテ、郡ニ分局ヲ置キ、其ノ縣ノ局長ハ農業ニ精通シタル將校ヲ以テヤラセル、決シテ農林省ノ御役人ヲ任ジテ居ルノデハナイ、農業ニ精通シタル將校ヲ以テ之ニ充テ、局員十名、分局長ハ郡長ヲ以テ之ニ任ジマシテ、次長ハ實地農業家ヲ以テ之ニ任ジタ、例ヘバ吉植庄亮ナラ庄亮ヲ郡ノ次長ニ致シタ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ實ニ私ハ至レル盡セリノ考ヘ方デアラウト思ヒマス、單ニオ役人ノミヲ以テヤツテハ到底駄目ダ、ソレハヤハリ獨逸ノ切羽詰ツタ時ニ考ヘ出シタ眞劍ナ、實戰ニ最モ便宜デ效果ノアル案デ、是ハ相當參考ニナルモノト存ジテ居リマス、其ノ事業ハドウ云フコトヲシタカト申シマス、農業經營者又ハ労働者ノ配給斡旋ニ際シマシテハ、軍事手段ヲ以テ就業セシメテ居ル、モウ立派ナ徹底的ナ統制デス、其ノ他勞役、馬匹、機械作業用品、配給、耕地ノ無休利用ニ關スル注意、作物ノ收穫ニ關スル斡旋——向フニハ田植ハアリマセヌガ、此ノ收穫ニ關スル斡

旋ハ、即チ私ハ只今申ス季節的勞力デ、日本ニ於テハ田植ト收穫ト二ツニナリマシガ、斯ウ云フコトヲ致シテ居リマス、佛蘭西デハ婦人ノ農業援助、是ハ日本デハ婦人ハ援助デハナクシテ、中心ニナツテヤツテ居リマスカラ、是ハ必要ガアリマセヌ、第二ニ兵士ノ農業援助、其ノ中ニ第一カラ第七ニ互リマシテ兵士ノ農業休暇、兵士ノ農業労働隊組織、穀物牧草ノ收穫期ノ兵士ノ農業勞力援助、是ハ獨逸ト同ジデゴザイマス、兵役ニ服シテ居リマス農具修繕工、蹄鐵工ダトカラ農村ヘ歸スコト、軍隊駐屯地附近ノ兵士ノ耕作、ソレカラ第六ニ戰線附近ノ兵隊ノコトガアリマス、是ハ日本ニハアリマセヌ、第七ニハ老齡兵士ノ歸郷許可、斯ウ云フコトヲ中心ニシテヤツテ居リマス、ヤハリ學生労働ト云フモノヲモ採入レテ居リマス、亞米利加ニ於テモ兵隊サンヲ繰出シタコトハアリマセヌガ、ヤハリ學生其ノ他ヲシテ實行セシメテ居リマス、私ハ單ニ戰線ニ於ケル戰闘ノミガ戰争デハアリマセヌ、今日マデハ幸ニシテ日本ハ所期以上ノ收穫ヲ擧ゲマシテ、食糧政策ニ一點ノ綻ビヲ生ゼズニ來マシタガ、併シ只今申シマシタヤウニ、本年ハ全國的ニ瀰漫スル勞力不足ト資材不足トノ凶作ニ導カレル運命ニアリ

マス、其ノ上ニ凶作ノ年廻リニナツテ居リマス、容易ナラナイ本年ト思ヒマス、是ハ一旦サウナツテカラデハ間ニ合ヒマセヌノデ、ドウシテモ今日ニ於テ善處セネバナラヌト考ヘマス、特ニ私ガ田植ニ付テ申上ゲタイノハ、先程話ガ途中デ外レマシタガ、田植ハ手が足りナイノダカラ猫ノ手モ借りルト云フヤウニ無理ヲシテ行ツタノデハ到底收穫ハ増シマセヌ、ドウシテモ然ルベキ「プラン」ノ後ニシナケレバ、三人デ行ク所ヲ二人ニ節約スレバ是ハ必ズ收穫ニ減少ヲ來シマス、老練ノ者ガ二人デヤルノト未熟ノ者ガ三人デヤルノデハ、ソレハ老練ノ者二人ノ方が收穫ガアリマスガ、同ジ力ヲ持ツテ居ルノニ三人デ行ク所ヲ二人デ行ク、サウスルト收穫減ヲ來シマス、ソレヲ三人ノ所ヲ四人デヤリマス丁寧ニ植エマスカラ、唯植エル其ノ點ダケ收穫ノ増シガ著シイ、例ヘバ深植ニシマシテ二寸深ク挿ス、是ハ所ニ依リマスガ、深植ニシナケレバナラナイ所ハ特殊ナ所デ、後ハ一般ニ淺植ニサレテ收穫ハ増加シマス、其ノ證據ニ片方ハ淺植、片方ハ深植ニシテ植エテ置キマス、秋ニナツテ收穫ガ一割ヤ二割ハ直グ違フ、又寒イ日ヲ構ハズニ無理ニ植エルト云フコトニナリマス收穫減

ヲ來シマス、此ノ田植サヘ完全ニシテ植エテ置ケバ、稻作ノ大體ノ勝利ハ天候サヘ順調ナラバ來マス、況シテヤ東北地帯ニナリマス、一週間或ハ五日手が足りナイカラ植エ遅レル、サウナリマス冷害ニ襲ハレルコトガアリ、稻熱病ノ襲來ト云フヤウナコトガアリマス、又關東ニ於テモ植遅レハ惡結果ヲ來スカラ、ヤハリチヤント適期ニ植エタ方が宜イ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、私ハ此ノ季節ノ勞働力ト云フコトヲ心配シマスノハ茲ニ根據ガアリマス、此ノ點ニ付テ農林當局ハ只今私ノ申上ゲマシタ事ニ付テ如何御考カ、又軍部當局トセラレマシテハ、吾々ハ戰闘ノミ從事シテ居レバ宜シイノダ、農村ノ事ハ農林省ニ任セテ置ケバ宜シイノダ、斯ウ云フノデゴザイマセウカ、ソレトモ何カサウ云フコトデアツタナラバ是ハ援助セネバナラナイ、斯ウ云フコトデゴザイマセウカ、御答辯ヲ御願致シマス

○櫻内國務大臣 吉植サンノ洵ニ綿密ナル御注意ノ點ハ十分拜承致シマシテ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ御趣旨ニ從ツテ極力指導致シタイト考ヘテ居リマス

○石川政府委員 只今ノ點ハ軍部ト致シマシテモ、米穀ノ生産確保ト云フコトニ付キマ

シテハ、非常ニ重大視シテ居ル次第デアリマス、殊ニ私ハ軍用糧食ニ付キマシテノ補給ノ衝ニ當ツテ居リマスノデ、日本ガ幸ニ是マデ食糧資源ニ悩マナイデ安心シテ作戰ニ從事シ得ル所ノ事態ニアリマスルコトヲ、非常ニ喜ンデ居ルノデアリマス、併シナガラ常ニ斯ノ如キ豐饒ガ持續スルモノトモ考ヘラレマセズ、只今ノ御説明ヲ承リマス、本年ハ心配スベキ年ニ當ツテ居ルト云フ御話デアリマシテ、其ノ心配スルヤウナ事態ガ起ツテ來ルト云フコトハ、洵ニ憂フベキコトト存ジマス、勿論農林當局ニ於キマシテハ十全ノ御注意ニナリマシテ御努力ニナルコトト存ジマスガ、軍ニ於キマシテモ決シテ之ヲ等閑視シテ居ル譯デアリマセヌノデ、作戰サヘ良ケレバ宜イト云フ考ハ持つテ居リマセヌ、出來ルダケ協力致シマシテ生産確保ニ努メタイト思ヒマス

○山本政府委員 海軍ト致シマシテモ只今陸軍ノ政府委員ノ申サレマシタ通り、此ノ食糧問題ニ付テハ食料品ノ大ナル消費者ノ一人トシマシテ非常ニ關心ヲ持つテ居リマス、今述ベラレマシタ御趣意ニ依リマシテ出來ルダケ協力スルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○平野委員 關聯シテ一寸……陸軍當局ニ

極メテ簡單ニ御伺致シタイト思ヒマス、近時飛行場及ビ砲兵工廠等ノ設立ニ當リマシテ相當農耕地ガ潰レテ居リマス、此ノ用地ノ買収サレテ居リマスル状態ヲ見マス、大體地方ノ小作官或ハ縣廳等ヲ通ジテ相當御苦心ヲ拂ツテ居ラルル點ハ能ク了承スルノデアリマスガ、大體ニ於テ其ノ價格ノ決定等ニ當ツテ、軍トシテハ是ダケヨリ豫算ガナイノデアルト云フ態度デイツテ居ラルルヤウデアアル、固ヨリソレハ其ノ計畫ガサウデアアルノデアツテ、萬々已ムヲ得ナイ事情ニナル場合ガ多イト思ヒマスケレドモ、地方ノ耕地ト云フモノニハ色々ナ地方ノ慣習ガアリマシテ、特ニ河原ヲ開墾スル爲ニ十年間モ苦心シテ漸ク米ノ穫レルヤウニナツテ來タト云フ時ニ於テハ、是ハ地主ノ所有權ト云フモノヨリハ、小作人ガ今マデ拂ツテ來タ所ノ小作權ト云フヤウナモノニ付テハ、相當ノ代價ガヤハリ拂ハレナケレバナラスノデス、隨テ其ノ土地ヲ買収サレル所ノ態度ノ上ニ於テ相當ニ能ク御考ヘニナラナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、サウ云フ場合ニ於ケル所ノ方法ニ付テ相當ニ御苦心ヲ拂ツテ居ラレマスルカドウカ、此ノ點ヲ承リタイ、モウ一點ハ、耕地ガ潰レマシタ時ニ地主ノ方ハ比較的高イ金ヲ以

テ買ハレタ場合ニ於テハ、ソレニ依ツテ満足ガ出來マスルガ、小作人ノ方ニ於テハ換地ガナケレバドウニモナラスノデス、無論其處ニ工廠ガ出來タカラ其處デ使ツテヤルト云フヤウナ場合モアリマシテ、一部ノ人間ハ失業ニハナリマセスケレドモ、實際問題トシテ耕地ガナクナツテドウニモナラス、サウ云フ場合ニハ軍當局ノ力ニ依ツテ、地方ノ他ノ地主或ハ縣廳等ニ御交渉ニナリマスルナラバ、換地ヲ以テ相當ソレ等ノ小作人ニ對シテ救済ヲサレル方法等モ殘ツテ居ルノデアリマスルガ、是等ニ對スル所ノ方法ト云フモノモ、甚ダ不十分ノヤウニ感ズルノデアリマスルガ、是等ノ用地買収ニ當リマシテ今日實際ハドウ云フヤウニナツテ居リマスルカ、又ドウ云フヤウナ御方針デアルカト云フ點ニ付テ、一ツ御説明ヲ願ヘレバ非常ニ結構デアルト思ヒマス

○石川政府委員 御答申上ゲマス、陸軍ガ土地ヲ買収致シマスニ付キマシテハ、無論豫算ト云フコトニ制セラレルモノデアリマスカラ、豫算以上ニ出ルコトハ出來ヌノデアリマス、併シナガラ其ノ豫算ノ見積ト云フコトニナツテ參リマスルガ、是ハ正常價格ト云フモノヲ調ベマシテ、サウシテ成ベク無理ノ行カナイ所ニ落付ケタイト存ジテ

居ルノデアリマス、殊ニ私ガ考ヘマスノニ、賣リタイト云フ所ノモノヲ買フノト、別ニ賣リタクモナイヲ出テ行ツテ之ヲ分ケテ貰ヒタイト云フノハ、受身ニ於キマシテ其ノ響キ方ガ違フト思ヒマス、隨ヒマシテ餘リ安イ價格ヲ付ケテ、サウシテ賣手ニ廻ル所ノ者ヲ困ラスト云フコトハ、是ハ慎マナケレバナラスコトト存ジテ居ルノデアリマス、私ノ方デ實行致シマシタ事ニ付キマシテハ、會計検査院ナリ議會ナリニ於テ財政監督ヲ受ケルノデアリマス、隨ヒマシテ其ノ點ニ付キマシテハ非常ニ注意ヲ致サナケレバナリマセヌノデ、検査院方面ニ對シマシテモ、附近ノ賣買價格ダトカ或ハ稅務署ノ價格ダトカ云フモノヲ調ベテ、サウシテソレニ對シテ餘リ矛盾ノナイヤウニ努メナケレバナリマセヌガ、一方ニ於キマシテハ先程申シマシタヤウニ、賣物ニ提供サレタ物ヲ買フ普通ノ賣買ト違ヒマシテ、チツトモ賣リタクナイモノヲ、コツチノ方ヘ分ケテ貰フト云フコトニ對シマシテハ、多少高ク買フト云フコトハ是ハ至當ナコトデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、又百姓ニハ土地ト云フモノガ洵ニ大切デアツテ、金ト云フモノヲ握ラシタナレバ非常ニ弱イモノデアアル、言ヒ方ガ不味イカモ知レマセ

ヌガ、金ヲ握ラスト云フト直グ使ツテシマツテ、元ノ李阿彌ニナツテシマフト云フコトニナリ易イモノダト云フコトモ聞イテ居リマスノデ、是非ソレヲコツチニ買上ゲマスレバ、ソレニ對スル所ノ代リノ土地ト云フコトモ、相當考慮セナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、現ニ先般下志津ノ方ノ演習場ヲ擴張致シマシタ時ニ、宇那谷ト云フ所ノ部落ヲ移轉シテ貫ハナケレバナラスト云フ問題ガ起リマシタノデ、縣當局トモ交渉致シマシテ、代地ヲ獲得スルコトニ付テ相當盡力シタトノ報告ヲ聞イテ居リマスガ、成ベク賣渡人ノ被ツタ打撃ハ、各種ノ方法ニ依リマシテ最少カラシムルト云フコトニ致シタイト云フ考デ居リマス

○平野委員 大體御説明ニ依ツテ御誠意ノアル所ハ諒承致シマシタガ、率直ニ申シマスルト、固ヨリ地方ノ農民ハ陸軍ノ工廠ナリ飛行場ナリノ出來ルコトニ付テ、心カラ喜ンデ協力スル思想ガアリマスコトハ言フマデモアリマセヌ、併シ其ノ結果カラ見マスルト、ヤハリ甚ダ經濟ノ結論ノ上ニ於テ、遺憾ノ意ヲ表セザルヲ得ナイコトモナキニシモアラズデアリマス、是ハ率直ニ申上ゲマスルト、無理モナイコトデアリマスルガ、農村問題等ニ付テ十分ナル研究ヲ遂

ダラレタ方ガ土地ノ買収ニ當ラレルノデハナイノデアツテ、早クヤラウ、急ガウ、何デモ是ダケノ期限ニ是ダケヤラナケレバナラスト云フコトガ、中心トナツテ考ヘテ居ラレル結果、ドウシテモ無理ガアルコトハ已ムヲ得ナイノデス、併シ實際問題トシテハ、此ノ無理ノナカラシコトガ理想デアリマスノデ、ドウカ今後用地買収ニ當ラレル方ハ、相當農村問題等ニ付テ御研究ニナリマシテ、又其ノ方ガ直グ代ツテ何處カヘ行カレテ、前ノ人ニ話シタケレドモ、分ラナカツタト云フヤウナ場合ガ随分アルノデスガ、漸ク御知りニナツタヤウナ方ガ直グ轉任サレルト云フヤウナコトデハナク、一ツサウ云フ方面ニ關スル「エキスパート」、軍ノ用地買収ニ關スル一ツノ専門的知識ヲ持ツテ居ラレル方ガオ居デニナルト云フコトモ、是ハ當然必要デハナカラウカト云フコトヲ、屢、痛感ヲシタノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ特ニ軍當局ニ於カレマシテハ、今後十分ナル研究ヲサレンコトヲ希望シ、旁、米ノ増産ト云フコトニ付テモ先程御話ノヤウニ御心配ノコトデアルト云フナラバ、當然ノコトデアルト考ヘマスノデ御願ヲシテ置キマス、ソレカラモウ一點、米ノ増産ニ付テハ固ヨリ農林省ニ御委セデアラウト思ヒマ

スガ、私ガ思フニ、糧秣本廠等ニ於テハ相當米ノ品質デアルトカ、或ハ米ノ増産ニ對スル具體的ナ技術デアルトカ云フヤウナ諸點ヲ、御研究ニナツテ然ルベキデハナイカ、農林省ハ其ノ道デアリマスケレドモ、動

モスレバ農林省ニ於テモ手ノ届カナイ點ガアルノデ、殊ニ軍用米ト云フモノヲ非常ニ大量ニ消費サレル所ノ陸軍トシテハ、米ノ増産ニ對スル陸軍自體トシテノ御研究ガアツテ然ルベキデハナイカ、斯ウ考ヘマス、ソコデ具體的ナ私ノ研究デアリマスガ、是ハ農林當局ニ對スル私ノ質問ノ番ガ廻リマセヌノデ、質問ヲシテ居リマセヌガ、先ニ軍當局ニ對スル機會ヲ許サレタカラ申スノデアリマス、日本ニハ水稻以外ニ陸稻ト云フモノガアル、此ノ陸稻ト云フモノハ相當ノ傾斜面マデ出來テ、水ガナクテモ稔ル、尤モ米ノ源泉ヲ廻リマス、日本ノ米ハ初メハ陸稻デハナカツタカ、岡デ出來タモノデハナカツタカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、此ノ陸稻ハ榮養價值ニ於テ水稻ニ劣ルモノデハナイ、而モ陸稻ノ將來ニ於ケル増産計畫ヲ立テマスナラバ五百万石、或ハ耕地ノ傾斜面ヲ開墾スルナラバ、千万石位ハ出來ル可能性ガアルト云フ算盤モ出ルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ點

ニ付テ多少ノ御研究ヲナサツタコトガ軍トシテアリマスアカリマセヌカ、ナイト致シマスレバ相當ナ御研究ガアツテ然ルベキダト思ヒマス

○石川政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、米ニ付キマシテハ其ノ方ニ携ツテ居ル所ノ者ハ、相當深刻ナル研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、大正ノ終リカト思ヒマシタガ、人口食糧問題ガ起リマシタニ付キマシテ、詰リ人ガ殖エルシ米ノ産額ガ少イト云フノデ、非常ニ政府當局其ノ他國民一般ニ於キマシテ心配致シタ時ガゴザイマスガ、其ノ時ニ陸軍デハ糧友會ト云フモノヲ設立致シマシテ、時ノ經理局長ガ委員ヲナサレテ居リマシタ、ソレニ對シマシテ相當ノ資料ヲ提供シ、爾來今日ニ至ルマデ糧友會ハ食糧問題ニ付キマシテ研究致シマシテ、一部國民ヲ啓發スル役ニモ立ツテ居ルノデアリマス、此ノ糧友會ト云フノハ主トシテ陸軍ノ者ガ其ノ衝ニ當リマシテ、其ノ他政府殊ニ農林當局、或ハ又民間ノ其ノ方面ニ知識經驗趣味ヲ持タレテ居ル者ヲ網羅シテ、糧友會ト云フモノヲヤツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ携ツテ居リマス所ノ陸軍ノ者ハ——尤モ海軍モ之ニ入ツテ居リマスガ、非常ニ研究ヲ致シテ居ルノデアリ

マス、昨年カラ財團法人ニナリマシタガ、ヤハリ陸軍ト密接ナ聯携ヲ執リ、尙ホ陸軍カラモ中ニ入ツテ居リマシテ、食糧問題ニ付キマシテハ大イニ眞劍味ヲ以チマシテ、研究ニ携ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ風ナ次第モゴザイマスシ、糧秣當局ニ於キマシテハ唯出來タモノヲ買ヘバ宜シイト云フ風ナコトデナクテ、相當組織のニ研究ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス

○石坂委員 軍用施設ノ敷地買収ノ問題ニ付キマシテ、只今平野君ト石川局長トノ間ノ質疑應答ニ依リマシテ、軍當局ノ御態度ハ能ク諒承致シマシタ、サウシテ買収ノ場合ニソレヲ希望スル場合ト然ラザル場合ハ、事情ヲ異ニスルカラ、斟酌シナケレバナラスト云フ御趣旨ハ御尤デアリマス、然ルニ從來ノ買収ノ狀況ヲ見マス、相當小作人ニシテ殆ド全部ノ小作地ガ買収サレト云フヤウナ運命ニアツタ人モ、可ナリアルヤウデアリマシテ、其ノ場合ニ於テ是ガ普通ノ會社ト云フヤウナモノデアリマシタナラバ、所謂作離料ト云フモノガ可ナリ問題トナツテ參リマス、斯ウ云フ氣ノ毒ナ狀態デアルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ從來ノ御取扱ハ直接地主對軍當局トノ關係デアリマシテ、小作人ハ其ノ關係カラ除外サレ

テ居ルノデハナイカト思ツテ居リマス、勿論軍當局ハ、其ノ土地代金ノ中ニハ作離料モ含メテノ代金ヲ拂ツテ居ルノダ、或ハ斯ウ云フヤウナ御辯解デアルカモ分リマセヌガ、事實ハ左様デナイ場合ガ可ナリアルデハナイカト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ、將來買収サレル關係モ可ナリ多カラウト思ツテ居リマスガ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、直接地主ニ對スル土地代金ト、其ノ外ニ小作人ニ對スル作離料ト云フヤウナ關係ハ、直接地主デナシニ、直接小作人ニ對シテ處置サレト云フコトガ、私ハ適當デナイカト思フノデアリマス、サウ致シマセヌト、小作人對地主トノ間ニ、後日ニ色々ナ紛議ガ殘リヤウデアリマスカラ、其ノ點ニ關スル御意見ノ存スル所ヲ、委員長ノ御注意モアリマシタカラ、簡單ニ結論的ノコトデ宜シウゴザイマスカラ、御答ヲ願ヒタイ

○石川政府委員 土地ヲ買収致シマスル時ニ、其ノ値段ヲ決メル上ニ付キマシテ、買手ノ方ハ大抵ハ餘リ高クナイ正常價格デ買ヒタイ、賣リ手ハ成ベク高ク賣リタイ、殊ニ其ノ間ニ或ル者ガ介在致シマス時ニ、非常ニ買却申出ノ價格ガ増加スルノデアリマス、是ハ立場ガ違ヒマスノデ已ムヲ得マセヌガ、ソコデ妥協ノ付ク所ニ參ツテ行クノ

デアリマスガ、是マデハ仰セノ如ク、小作人ニ對スルモノモ含メマシテ、地主ニ代價ヲ拂ツテ來タヤウナ狀況デアリマス、併シナガラ段々只今仰セニナラレタヤウナコトヲ耳ニスルコトモゴザイマスノデ、將來ハ一ツサウ云フ點モ考慮シテ見タイト思ツテ居リマス

○石坂委員 時間ガアリマセヌカラ多ク中シマセヌガ、是非其ノ點ハ宜シク御研究ト、御善處ヲ願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 此ノ際一寸材料ノ要求ヲ致シマス、會期モアリマセヌノデ速ニ提出ヲ願ヒタイノデアリマスガ、最近新聞デ拜見シマス、朝鮮ニ今回審議シテ居リマス法案ノ中ニアル米穀會社ト同様ナモノヲ、作ラレルコトニナツテ、其ノ追加豫算ヲ五十万圓カ九十万圓カラ、今回要求サレト云フコトデアリマスガ、是ハ本案審議ノ上ニ非常ニ重大ナ關係ガアリマスコトハ、申スマデモナイ、ソコデ之ニ關スル要綱、目論見書ト同時ニ、從來朝鮮ノ各米穀取引所ノ取扱ツテ居リマシタ數字、乃至ハ内地ト朝鮮トノ間ニ於テ取引サレテ居リマシタ實情、是等ニ關スル資料ヲ速ニ御提出アラシコトヲ御願致シマス、是ダケデアリマス

○添田委員長 午後二時十分開議
午後零時二十六分休憩
○添田委員長 午前ニ引續キ會議ヲ開キマス——吉植君
○吉植委員 私ハマダ生産勞働力ノ問題トカ、或ハ農林省ニ米ニ關スル一切ノ調査機關ヲ設置シテ戴ク問題トカアリマスガ、時問ガ掛カリマスカラ、先程申上ゲマシタヤウニ、後デ大臣ニ個人トシテ御會ヒシテ申上ゲルコトニシテ、是ハ省略致シマス、唯一點、先程ノ私ノ質問ニ對シマシテ軍當局ハ誠意ヲ以テ協力スルト仰シヤツテ居リマスカラ、農林大臣ニ於テ季節勞働力缺乏ニ當リマシテハ、然ルベク御決意ニナツテ、協力サレト云フコトヲ軍トモ御交渉下サツテ、田植時或ハ收穫時ニ於テ農村勞働力ニ混亂ヲ來シ、或ハ勞働力ノ偏在ヲ來スト云フヤウナコトノナイヤウ、折角御配慮御願致シタウゴザイマス、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ御願シテ私ノ質問ハ之ヲ以テ打切りマス
○櫻内國務大臣 只今吉植君ノ御希望ノ點ニ付テハ陸軍、文部省等トモ十分ニ話合ヒマシテ、勞働力ノ調整ニ付キマシテハ萬遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス
○添田委員長 小野君

○小野(議)委員 私ハ只今マデ本委員會ニ

於キマシテハ終始同僚諸君ト政府當局トノ
質疑應答ヲ拜聴シタノデアリマスガ、唯本
案ノ本會議上程ノ際ニハ、私請暇歸省中デア
リマシタノデ、其ノ質疑應答ノ詳細ヲ拜聴
シ得ナカツタノデアリマスカラ、此ノ點ハ
速記録デ承知致シタノデアリマス、本法案
ニハ一面多少ノ革新的ナモノガアルカト思
ヒマス、他面ニハ現狀維持のナ色彩ガ多
分ニ濃厚デゴザイマシテ、眞ニ本法ノ一貫
シタル思想的ナ流ヲ認ムルコトハ頗ル困難
デアリマス、本法案ノ本質ハ既ニ然リデア
リマスガ、形式ノ上カラ見マシテモ、第一
條カラ第四條マデハ米穀統制法デアルヤウ
デアリマスガ、第五條以下ハ日本米穀株式
會社法ト見テ宜シカラウト思フノデアリマ
ス、左様ニ本案ハ二ツノモノヲ一ツニシタ
ト云フ感ジヨ——私ハ法律ニ關シマシテハ
素人デアリマスガ、サウ云フ感ジナキニシ
モアラスデアリマス、殊ニ第三條ノ如キハ
罰則規定トシテ、普通ノ法律デアルナラバ
一番後ニ置イテ宜シイノデアリマスガ、本
法ニ於キマシテハ實體の規定ノ中ニ入レテ
居ルノデアリマス、此ノ點カラ見マシテ
モ、世間デ前者ノ米穀統制法ニ屬スル分ハ
櫻内案デアリ、後者ノ日本米穀株式會社法

ニ屬スル分ハ有馬案デアルト言フ所以デア
ラウト私ハ思フノデアリマス、即チ斯様ニ
本法ハ糶ギ剝ギナ存在デアルト申サナケレ
バナリマセヌ、只今マデ拜聴シマシタ質疑
ノ中ニハ、本案ノ如キ不徹底ナル法案ヲ提
出スル位デアルナラバ、寧ロ米穀ニ關スル
現行諸法規ノ運用ニ依ツテ統制ノ強化ヲ期
スル方ガマダシモマシダトサヘ批評サレタ
諸君モアルノデアリマス、ソレ程本案ハ議
論ガ多イノデアリマス、私ハ米穀取扱業者
ノ反對モ聴イタノデアリマスガ、本案ニ依
ツテ吾々ハ多年ノ生業ヲ奪ハレル、當局ハ
業者ノ免許ニ依ツテ業者ヲ安定ヲ圖ルト説
明シテ居ルガ、是ハ安定ニアラスシテ拘束
デアリ、壓迫デアル、然ルニ一方産業組合
ハ政府ノ強力ナル保護助成ノ下ニ自由ニ生
産ヨリ消費ニ至ルマデ進出セントシテ居ル
ノデアアルカラ、吾々ハ結局死滅スル外ハナ
イト云フノデアリマス、然ラバ産業組合ノ
方デハ十分御満足ニナツテ居ルカト思ヒマ
スト、前日北君カラノ御質問ヲ拜聴シタノデ
アリマスガ、産業組合ニモ非常ニ不滿ガア
ルヤウデアリマス、産業組合ニモ不評デア
リ、且ツ米穀取扱業者ヨリハ彼等ノ生業ヲ
奪フ無類ノ惡法デアルト叫ブ程ノ本案デア
リマス、果シテ然ラバ剩ス所ハ世上議論ノア

リマス既設米穀取引所ノ救済ノミト言ハナ
ケレバナリマセヌ、農林大臣ハ先般北君ノ
御質問ニ答ヘマシテ、産業組合ニモ支持者
ガアリ、米穀取扱業者ニモ贊成者ガアルト
仰セラレタノデアリマスガ、多數カ少數カ
ヲ別問題トスルナラバ、如何ナル場合ニモ
支持者ガアルコトハ當然ダト思ハレルノデ
アリマス、又兎角迎合ノ方面ノ意見ノミ
ガ上ニ届クモノデアリマス、併シナガラ
苦勞人デアラレ、下情ニ能ク御通ジニナツ
テ居ル農林大臣デアルカラ、本案ニ對シテ
多數ノ反對意見ノアルコトハヨモヤ御承知
ナイ筈ハナイト思フ、而モ此ノ反對ハ單ナ
ル誤解ト云フ辯明ハ當ラナイ、然ラバ此ノ
反對ハ何處カラ來ルカ、其ノ原因ハ何處ニ
在ルカト申スナラバ、農林大臣ハ各方面ノ
相剋摩擦ヲ緩和スルニ急ナルノ餘リ、平沼
内閣ノ總親和主義ヲ此ノ法案ニモ取入レヨ
ウトシタ爲ニ、却テ極メテ不徹底ナル、一
貫シナイ、主義ノ無い、例ヘテ言フナラバ
木ニ竹ヲ接イダヤウナ本案ヲ提出スルノ已
ムナキニ至ツタノデアアルマイカト思フノデ
アリマス、農林大臣ハ生産者、米穀取扱業
者、消費者ノ三本建デ行クノダト有ユル機
會ニ仰セラレテ居リマス、洵ニ御尤ノヤウ
ニ聞エルノデアリマス、併シ本案提出ノ目

的ヲ達成セシメヨウトスルナラバ、何處カ
ニ犠牲者ガ出ルノデハナイカト私ハ思フ、
農相ノ言ハレルヤウニ三方皆ク行カヌ所ニ
本案ニ對スル不平不滿ガ勃發シテ居ルノデ
ハナイデセウカ、私ハソコニ本案ノ無理ガ
アルノダト思フノデアリマス、眞ニ一部ノ
犠牲ガ已ムヲ得ナイトスルナラバ其ノ點ヲ
ハツキリシタ方ガ宜イノデハナイカト考ヘ
ルノデアリマス、併シ政府ハ一度本法デヤツ
テ見ヨウ、サウシテ實績ヲ見タ上デ來年度
ニ惡イ所ヲ改正スレバ宜イデヤナイカ、斯
ウ云フ思召デアルカモ知レマセヌ、昨年ノ
議會デ協賛ヲ經マシタ諸法案ノ中デ此ノ議
會ニ改正案ノ出テ居ル法律ハ澤山アルノデ
アリマス、サウ云フ拙速ヲ尊シデ先ヅヤツ
テ見テ、ソレカラ改正シテモ宜イデハナイ
カ、斯ウ云フ御考デ本案ヲ出サレタノデア
リマスガ、先ヅ農相ノ御所見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○櫻内國務大臣 小野君ノ御意見ハ第一條
カラ第四條マデガ櫻内案デ以後ガ有馬案
デ、ソレヲ纏メテヤツタモノデハナイカ、
又米穀商ニ許可ヲ與ヘテ居ルケレドモ、許
可ト云フコトデハナクシテ拘束スルモノデ
ハナイカ、又米穀商ノ方ニ於テモ非常ニ多
數ノ反對ガアリ、又産業組合ノ方ニ於テモ

反對ガアル、故ニ是ハ不徹底ナ案デアルガ、
兎ニ角取敢ズ之ヲ實行シテ、他日之ヲ改正
スル意思デモ持ツテ居ルノカ、斯ウ云フヤ
ウナ御質疑ノヤウデアリマスガ、私ハ明ニ
申上ガテ置キマス、本法案ハ公正ナル米價
ヲ取極メマスコトト、ソレカラ圓滑ナル配
給ヲ致シマスコトト、此ノ法案ニ依ツテ國
民ノ生活必需品ガ確保サレ、生産業者モ亦
一定ノ目標ニ依ツテ生産シ得ルト云フコト、
斯ウ云フコトニ目標ヲ置イタノデアリマシ
テ、是ハ度々申上ガタ通りデアリマス、第
五條以下ガ統制法ニアラズシテ會社法デア
ルト云フ風ナ話デアリマスガ、第一條カラ
第四條マデノ、米穀配給統制ノ必要上市場
ヲ設ケマス、其ノ市場ヲ日本米穀株式會社
ニ取扱ハシメル、斯ウ云フ意味デアリマシ
テ、ソレハ私ハ一貫シテ趣旨デアルト思ヒ
マス、眼目ヲ市場法ニ重キヲ置キマシタノ
ハ、從來米穀取引ノ目標トナツテ居ツタ米
穀取引所ハ、投機取引ガ殆ド其ノ主ナルモ
ノヲ占メテ居リマシテ、米穀統制法ニ基ク
最高最低ノ價格ト云フ一ツノ枷ハアリマス
ケレドモ、其ノ間ニ於ケル動搖ハ實需性ニ
基カズシテ、投機性ニ基イテ居ツタ點ガア
ルノデアリマシテ、即チ本法ニ依ツテ實需
ヲ基準トシテ價格ノ公定ヲ期シタイ、此ノ

價格ノ公定ヲ期シテ、而シテ第一條カラ第
四條ノ條項ニ依リマシテ配給ヲ圓滑ニ致サ
ウト云フ意味デアリマス、固ヨリ各方面ニ
於テ賛否色々御議論モアリマセウケレドモ、
吾々ハ全ク公正ナル立場カラ斯ク致スコト
ガ今日最モ喫緊ノコトデアルト信ジテ提案
致シタ譯デアリマシテ、之ヲ明年取換ヘル
トカ、ドウスルトカ云フ考ハ今日持ツテ居
リマセヌ、併シナガラ時代ノ變化、世ノ中
ノ進歩ニ依リマシテ、尙ホヨリ以上ノ方法
ガ見出サレテ參リマシタ場合ニハ、何モ之
ヲ永續的ニ存置シナケレバナラヌト云フ考
ハナイノデアリマシテ、此ノ改正ヲ致スコ
ト云フコトモ亦アリ得ルカモ知レマセヌケレ
ドモ、ソレハ今日豫期セザル所デアリマシ
テ、今日ハ此ノ法案ニ依ツテ配給ガ出來ル
モノト信ジテ、斯様ニ提案致シタ次第デア
リマス

先物取引ニハ最終ノ決濟期日ニ於テノミデ
ハアリマセウガ、實米デナク差金ノ決濟ヲ
許可スルコトニナツテ居リマスガ、斯ノ如
キハ本法ノ特色デアル投機行為ノ抑制ヲ明
ニ破壊スルモノデアツテ、一大矛盾ト申サ
ナケレバナリマセヌ、然ルニ農相ノ御説明
ハ如何ニモ巧妙デアアルガ爲ニ、至極此ノ點
ハアツサリト片付ケテ居ラレルヤウデアリ
マスガ、私ノ尙ホ承服シ得ザル所デアリマ
ス、當局ノ御説明ニナリマシタ米穀取扱業
務收入ノ内譯カラ見マシテモ、又取扱數量
ノ歩合カラ見マシテモ、取引所ノ本質的正
米ノ取引ヨリモ寧ロ此ノ方面ニ興味ト取組
ノ實數ガ集中サレルノデハナイカト云フコ
トハ想像スルニ難クナイノデアリマス、此
ノ投機ノ問題ニ付キマシテハ先般小平君ノ
質問ニ對シテ松村政務次官カラ極メテ正直
ナ御答ガアツタノデアリマス、此ノ松村政
務次官ト從來ノ局長ノ御答辯トノ間ニ吾々
ハハツキリシタ喰違ヒガアルト考ヘタノデ
アリマス、特ニ此ノ點ニ關シテ次官カラ米
穀局長ノ答辯トノ間ニ喰違ヒナシトノ辯明
ヲサレタノデアリマスガ、私共ハ勿論之ニ
承服スル者デハナイノデアリマス、又商工
省商務局長モ、需給ノ圓滑ヲ期スル爲ニハ
投機モ亦已ムヲ得ナイ、多少投機ヲ認メタ

方ガ寧ロ需給ノ圓滑ヲ期スルコトガ出來ル
ノデハナイカト云フ意味ノコトヲ仰シヤツ
テ居ルノデアリマシテ、愈、此ノ拔道ノ正體
ガ明瞭トナテツ居ルノデアリマス、政府ハ
需給ノ圓滑ト云フ極メテ巧イ言葉ヲ使ツテ
居リマスガ、私ハ之ニ依ツテ會社ノ利潤ガ
擧ゲラレ、取引員ノ商賣ガ繁昌スルノダト
思フノデアリマス、需給ノ圓滑ト取組石數
ノ増加トハ同ジ物體ヲ單ニ表裏カラ見タダ
ケノモノデアルト信ズルノデアリマス、政
府ハ自ラ標榜サレタ投機抑制ノ看板ヲ塗替
ヘテモ、尙ホ斯ル拔道ヲ作ラナケレバ市場
又ハ取引員ガ成立タナイト御考デアルカ、
伺ツテ置キタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 投機抑制ヲ主眼トシテ居
ルニモ拘ラズ、本法案ノ中ニ未著物取引ヲ
認め、延取引ヲ認メテ居ルト云フコトハ、
即チ拔道デハナイカト云フ風ナ御尋ノヤウ
デアリマス、私が説明致シマスマデモナク、
未著物取引ハ、最初ニ賣ツタ人ハ必ず品物
ヲ渡サナケレバナラナイノデアリマス、而
シテ最後ニ買ツタ人ハ必ず實物ヲ受取ラナ
ケレバナラナイノデアリマス、故ニ最初賣
買ノ成立チマシタ場合ニ、例ヘバ茨城縣ノ
何等米ヲ何石賣買シタト云フコトニナレバ、
賣ツタ人ハ其ノ茨城縣ノ何等米ヲ必ず渡

サナケレバナラスノデアリマス、隨テ買ヒマシタ人モ其ノ時ニハ必ズ受取ル覺悟ヲ持ツテ、又受取ラナケレバナラス義務ヲ背負ツテ取引致スノデアリマス、故ニ其ノ間ニ於テ投機性ノ意味ハナイノデアリマス、唯其ノ未著物ノ到著スルマデノ間ニ於テ、之ヲ他ノ第三者ニ賣リ、其ノ第三者ガ直接買ツタ人ニ代ツテ受取ル、斯ウ云フコトニナルト云フコトハ、極ク分リ易ク申シマスレバ、茲ニ茨城米ヲ百石買ツタ人ガ、汽車ノ著クマデニ、其ノ米ヲ五十石ダケ自分ノ店ニ引取ルコトニシテ、五十石ハ他ノ人ニ賣ツタ、即チ品物ガ著イテカラ他ニ賣ルヨリハ、品物ノ著カス内ニ賣ツテ置イテ、汽車ノ著イタ時ニ直ニ其ノ汽車カラ其ノ方ヘ渡ス方ガ便利デアアルノデアリマシテ、中間ニ於テ其ノ中五十石ナリ三十石ナリ、場合ニ依ツテハ二十石賣ツテモ、ソレハ差支ナイノデアリマス、實際ニ於テ必ズ米ノ受渡ヲスルト云フ意味ニ於テ取引サレルノデアリマシテ、而モ其ノ期間ハ十五日間デアリマスガ故ニ、此ノ間ニ於テ相場ノ上リ下リヲ見テモ、必ズ其ノ間ニ受取ラナケレバナラス米ヲ投機ノ材料ニハ使ヒ得ナイノデアリマス、故ニ未著物取引ニ於テハ、最初ニ賣ツタ人ハ必ズ現物ヲ出シ、次ノ人モ現物ヲ受

取ル覺悟デアリマス、サウシテ其ノ買ツタ米ヲ汽車ガ著キマスマデノ間ニ於テ他ニ轉賣ヲスル、サウシテ買ツタ人ガ必ズ之ヲ受取ル、斯ウ云フノデアリマスカラ、未著物取引ニ於テ毫末モ投機ハ起ラスノデアリマス、唯御話ノ延取引ノ問題ニナリマスト、期間ガ二箇月デアリマス、故ニ所謂投機ガ行ハレルノデハナイカト仰セラレノデアリマセウガ、是ハ從來ノ清算取引ト云フモノハ御承知ノ通り一本建ノ米穀ノ價格デアツテ、サウシテ賣ツタリ買ツタリ致シマシテ、渡ス時ノ米ハドノ米デモ構ハナイ、日本全國ドノ米デアツテモ構ハナイ、是ハ格差ト云フモノガアツテ、格差ノ勘定ヲスレバ宜イ、サウシテ三箇月ノ長イ期間デアリマスカラ、其ノ間ニ買ツタリ賣ツタリヲシテ、今日買ツタ人ガ明日其ノ米ガ上レバソレヲ賣拂ツテ、明後日ハ其ノ差金ダケハ直グニ金ガ受取レル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、勢ヒ投機ガ多クナル、然ルニ此ノ度ノ延取引ハ銘柄取引デアツテ、即チ何處ソノ米、青森縣ナラ青森縣ノ何等米ト云フモノデ取引ヲ致スノデアリマシテ、ソレモ相對的ニ話合ツテ決メタルデアリマサガ故ニ、之ヲ思惑スルト云フコトハ容易ニ行ハレナイノデアリマス、其ノ間ニ於テ

多少ノ思惑ト云フモノガ假ニアツタト致シマシテモ、ソレハ今東京ニ何處ノ米ガ非常ニ少イ、此ノ米ハ東京デ需要ガ多イケレドモ、東京ノ現在ノ倉庫米ガ少イカラ、是ハナイガ、自分ノ取引縣カラ取寄セラレバ、播州米ナラ播州米、青森ノ方ナラ青森ノ方ノ米ガ必ズ直グ買取レル、故ニ之ヲ賣ル、斯ウ云フ調節ガ取り得ルノデアリマシテ、其ノ調節ノ取レルト云フコトガ、投機ニ當ル、斯ウ仰セラレレバ別デアリマスケレドモ、兎ニ角此ノ延取引ト云フモノガ相當ナ調節機關ヲ爲スト云フコトダケハ明カデアリマス、殊ニ又今言フ通り、轉賣、買戻ト云フモノハテンデ許シテ居ラスノデアリマスガ故ニ、例ヘバ今日百石ヲ買ツタ、又假ニソレガ儲カツテ賣ツタ、斯ウ云フヤウナ場合ガアルト假定致シマシテモ、其ノ賣買ノ差金ト云フモノハ從來ノ如ク差金決済ハ許サナイノデアリマス、要シマスノニ今月ノ月末受渡ノモノナラバ今月ノ月末受渡ノ際ニ於テ雙方ノ限月ノ色々市場員ノ間ノ取引關係ヲ交換シテ、サウシテ決済ヲ致スノデアリマシテ、中間ニ於テ是ガ決済ヲ致サナイノデアリマス、隨テ之ヲ投機ノ具ニ使フト云フコトハ容易デアリマセヌ、況ヤ公定ノ最高最低ノ間ニ於テ取引致スノデアリマシ

テ、其ノ最高最低ノ間ニカツチリ縛ラレルノデアリマスガ故ニ、是亦投機ノ目的トシテハ甚ダ少イノデアリマス、要スルニマダ決定シタモノデハナイノデアリマスガ、延取引ト云フモノヲ認メヨウト云フ考ヲ持ツテ居リマスノハ、少クトモ此ノ米ノ取引ニ對シテハ調節ヲスル機關ガ必要デアルト云フ意味ニ於テ之ヲ認メタノデアリマシテ、投機ヲ認メテヤツタ譯デアリマセヌ、併シ此ノ機關ニ於テ投機ヲ目論ム人ガアルカナイカト云フコトニナリマスレバ、或ハナイトハ私斷言致シマセヌケレドモ、ソレハ中々其ノ投機ノ目的物トシテハ不適當ナモノニナツタト云フコトダケハ言ヒ得ルト考ヘルノデアリマシテ、私ハ今後ハ必ズ此ノ實物ノ動キニ依ツテ相場ト云フモノガ決定サレルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○小野(謙)委員 農林大臣ノ御説明ノ前半ハ首肯サレルノデアリマスガ、唯ト云フ後カラハ私ハマダ承服シ得ナイ點ガアルノデアリマス、米穀局長カラ此ノ間カラ度々承ツタノデアリマスガ、銘柄取引デアアル、又組合セ銘柄取引デアアルカラ投機行爲ハナイノダト云フヤウナ御答辯ヲナサイマシタガ、農林大臣ノ御答辯モ大體ニ於テサウ云フノデアリマセウカ、是ハ農林大臣ノ御言葉ノ

中ニモ、今マデノ限月取引、清算取引ノ一部ヲ取入レタ、斯ウ云フヤウナコトヲ承ツタヤウニモ記憶致シマスシ、商工省ノ局長カラハ、先刻申上ゲタヤウナ需給ノ圓滑ノ爲ニハ投機モ亦已ムヲ得ナイデアラウト云フヤウナ意味ノ御話ヲ伺ツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テ私ハ答辯ノ食違ヒガアル、又ソコニ裏道ガ拵ヘラレテ居ルノダ、斯ウ云フ疑問ヲ起シテ申上ゲタノデアリマス、勿論此ノ取引所ノ實情ハ、私ヨリモ農林大臣ノ方ガ遙ニ詳シイノデアリマス、私ハ素人デアリマスカラ存ジマセヌガ、アスコニ集ル人達ノ心理ハ吾々ノ常識デハ判斷ノ出來ナイ格別ナモノガアリマシテ、現在ノ清算取引デアリマシタナラバ、現ニアスコニ注文ヲ出シテ來ル人ハ、毎日損デモ幾ラカ玉ガ建ツテ居ラスト、其ノ晩眠レスト云フ人ガ澤山アルノダサウデアリマシテ、今度ノ未著物取引ハ投機ノ餘地ガナイト申サレマスガ、十五日デアツテモ、途中ノ轉賣ヲ許サレルト云フコトナラバ、ソコニ乗ズル餘地ガアルノデハナイカ、又限月取引デアリマスレバ、三月ヲ二月ニ致シマシテモ、勿論市場員デナケレバ出來ナイノデアリマスアレドモ、今度ノ市場員ト云フモノハ、アスコノ生活ヲシタ人又資

力アル人デナケレバナラヌノデアリマスカラ、無論從來ノ正米デモ、清算取引ノ方デモ、大手ナルモノガ、アスコデ實際ノ取引員トシテ從事サレルノデアラウト私ハ思フノデアリマシテ、ソコニ差金取引ノ行ハレル餘地ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ心配ヲ持ツテ居リマス、ソコデ政府ハサウデハナイ、實際ハ出來ナイ、併シ尙ホ且ツ之ヲ濫用スル傾向ガアルナラバ、直ニ帳簿ノ検査デモシテ、實際ニ投機取引ガ二度三度繼續シテ行ハレルナラバ、直ニソコニ監督權ノ發動ヲ見マシテ、オ前方ノ心配スル點ハナイ、斯ウ云フヤウナ意味ニ承知シテ宜シイノデアリマセウカ、承ツテ置キマス

○櫻内國務大臣 若シ取引ノ規則ニ違反シタ者ガアルナラバ、ソレハ嚴重ニ罰スルノデアリマス、今御話ノヤウナ事柄ニ付キマシテハ、其ノ實際ニ即シナケレバ斷言ガ出來ナイノデアリマス、眞實五十石買ツテ、其ノ次ノ日ニ或ル商人ニ、米穀ヲ取扱ツテ居ル所ニ、二十石轉賣シタ、ソレガ罪ニナルト云フコトハナイノデアリマシテ、要シマスルノニ、實際ノ空賣買ヤツテ、差金決済ヲヤルト云フヤウニナリマスレバ、ソレハ勿論嚴重ニ取締ル考デアリマス

○小野(謙)委員 重ネテ伺ハナケレバナラ

ヌノデアリマスガ、原則トシテ、投機ノ抑制ダ、斯ウ説明ヲナサツテ居ルノデアリマス、先刻申上ゲタヤウニ、本法案ガ投機ノ根絶ヲ表看板ニシタ所ニ革新的ナモノガアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、然ルニ唯ト云フ御説明ノ後段ニナツテ、ソレハ餘地ガナイカラ、心配ガナイカラト仰シヤイマスアレドモ、其ノ裏ニ未著物取引、限月取引ニ差金取引ヲ許スト云フコトハ拔道ダト先程申上ゲマシタガ、單ニ是ハ主義ノ上カラ見マシテモ、一種ノ矛盾デアル、斯様ニ解釋セザルヲ得ナイノデアリマス、併シナガラ取引所ノ運営ノ上カラ考ヘテ見マシテモ、斯ウ云フコトガ許サレマスナラバ、實米ノ取引ノ本質トハ逆ニ、現物又ハ差金取引ノ方ニ集中サレル弊ガ十分アルデハナイカト心配スルノデアリマス、是ハ人情ノ機微ト申シマセウカ、從來アスコニ生活シタ人ノ心理ト申シマセウカ、當然サウ云フ方向ニ走ル傾向ガ見ラレルノデアリマス、若シ政府ハ之ヲ取締ルカラ心配ガナイト云フノデアアルナラバ政府ハサウ云フモノヲ許シテ置イテ初メカラ陷穽ヲ設ケテ關係者ノ投機心ヲ誘導スルヤウナ處ナシトシナイノデアリマス、更ニ又之ニ依ツテ取引所ノ繁榮ヲ所期スル目的デアルトスルナラバ、政

府自ラ投機行爲ヲ承認スルモノデアツテ、本法案ノ精神ヲ破壊スルモノナリト斷ズルノ外ハナイノデアリマス、前ニ申上ゲマシタヤウニ農林大臣ノ方ハ私ヨリモ遙ニ取引所ノコトニハ御詳シイノデアリマスルガ、人間ノ投機心ト云フモノハ私ノ見解デハ、所有慾ヲ核心トシタ所ノ爭鬭心ノ發露デアツテ、一種ノ本能デアル、私ハ斯様ニ解シテ居リマス、更ニ後天的ノ慣行、習性ガ之ニ加味サレテ居ルノデアリマスカラ、今日行ハレテ居リマス所ノアノ清算市場ニ於ケル俗ニ表ト云フ取引ハ、ドウ云フコトニナツテ居ルカ、アレハ合百トカ申シマスカ、法律デハ明ニ賭博行爲トシテ禁止サレテ居ルノデアリマスガ、決シテ長年ニ亙ツテ絶滅シナイバカリデナシニ、今日市場ノ大勢ヲサヘ支配スル實情ニアルト云フコトヲ聞クノデアリマス、誰ガ胴元デヤツテ居ルノカ分リマセヌガ、又誰ト誰トガ取組ンデ居ルノカ分リマセヌガ、毎日幾萬ト云フ取引ガ暗々裡ニ少シノ間違ヒモナシニ行ハレテ居ルサウデアリマス、全クアノ土地デナケレバ出來ナイコトデアリマシテ、アレコソ全クノ闇取引デアルト私ハ申シタイノデアリマス、サウ云フ雰圍氣ノ中ニ生活シテ居ル者ガ、如何ニ投機抑制ノ表看板ヲ掲

ゲマシテモ、少シデモ餘地ヲ與ヘマシテ拔道ヲ拵ヘテ置キマシタナラバ、ソコニ投機心ノ生ジマスルコトハ私ハ當然ノ歸結デハナイカト思フノデアリマス、私ハ農林大臣ノ御答ヲ伺ヒマシテモ、尙ホ了解セザルモノガアルノハ其ノ點デアルノデアリマス、

先般北委員カラモ此ノ點ニ對シテハ猛烈ナル反對ガアツタヤウデアリマスガ、私ノ一寸算盤ヲ置イテ見マシタ所ニ依リマス、現ニ政府ガ先般御示ニナリマシタ手數料ヲ割ツテ見マシテモ、實物取引高ハ一千四百六十萬石デアリマス、未著物取引ハ一千四百四十萬石デアリマス、延取引ノ方ハ千二百六十萬石トナツテ居リマス、之ヲ未著物ト延取引ト合算シマスレバ二千四百萬石ニナルノデアリマシテ、現物ノ取扱高ニ比較シマシテ約二倍ノ多キニ達スルノデアリマス、而モ未著物ト延取引ハ全國ノ各取引所ニ

――三十箇所カ四十箇所カ存ジマセヌガ、全國ニ出來マス取引所ニ普遍的ニ許サレルモノデハナイト私ハ思ヒマス、恐ラク東京大阪ノヤウナ特定ノ市場ニ限ルモノデアツタトシタナラバ、如何ニ此ノ取引ガアトノ兩者ノ方ニ集中サレルカト云フコトハ、政府自ラ承認スルト私ハ言ハナケレバナラスト思フノデアリマス、政府ノ御示ニナツタ數

字ヲ割ツテ見レバ、直グ出ルノデアリマス、私ノ申上グル所ノ投機抑制ノ看板ヲ政府自ラ破壊スルモノナリト言フノハ、此ノ點ヲ指シテ私ハ申上グルノデアリマス

○櫻内國務大臣 小野サンハ能ク經濟上ノ事情ヲ十分御承知デアラウト思ヒマスガ、米ノ賣買ハ可ナリ品物自身ガ重イモノデアリマシテ、ソレヲ動かカス度ニ非常ナ費用ヲ要シマス、船カラ陸ノ倉ヘ揚ゲルガケデモ一俵二錢ヤ幾ラノ金ハ掛カルノデアリマシテ、ソレガ揚ゲタリ卸シタリスルト云フコトニナルト、中々費用ガ掛リマス、故ニ例ヘバ何處々々ノ米ヲ今日五百石買ツタト云フ人ハ、是ハヤハリ相當ノ大手デアリマス、此ノ人ノ品物ガ例ヘバ東北ノ米ヲ買ツテ秋葉原マデ來テ、秋葉原カラ市場ノ附近ノ倉庫ニ入レテ、其處カラ又アチコチノ買手ノ米屋ノ倉庫ニ送ルト云フヤウナコトヲ致シマシタナラバ、ソレハ費用ガ掛ツテ仕樣ノ

ナイモノデス、即チ是ニ於テ未著物ノマダ著カナイイツ何日神田川デアルトガ、深川デアルトガ若クハ秋葉原デアルトガ飯田橋デアルトカニ著ク米ヲ買ヒマシタ時ニ、其ノ著イタ所カラ直チニ需要家ノ所ヘ五十石ナリ百石ナリ「トラック」ナリ何ナリデ、直グニ運ビ込ムト云フコトガ、ソコニ非常ニ

費用ガ省ケルノデアリマス、商人ハ申スマデモナク一厘一錢ト雖モ細カイ所ニ注意シテ居ルノデアリマスガ故ニ、市場デ賣買致シマシテモ實際ノ品物ハ汽車ナラバ停車場カラ直グニ引取ル、斯ウ云フ關係ニナリマスカラ、大キナ商人ガ茲ニ千石買ツタ、ソレデ十五日ノ内ニ著クト云フ場合ニ、其ノ千石ノ中デ彼處ニ二百石、コツチニ百石賣ツテ、サウシテ停車場ヘ來タラ此ノ米ヲ其ノ方面ニ直グ流シテ行クト云フ事柄ガ便利ナノデアリマス、私ハ未著物ノ取引ト云フモノガ相當行ハレルト云フコトハ當リ前ノコトデアツテ、又サウスルコトガ即チ一般ノ消費

者ニ利益トナリ、生産者ニモ中間ノ費用ヲ少クシテ賣リ得ルコトデアルト斯様ニ思フノデアリマス、延取引ノ關係ハ是モ殆ドソレト類似致シテ居リマスガ、是ハ其ノ間ニ於テ相當ノ期間ガアルノデアリマシテ、或ハ之ニ依ツテ自分ノ取引店カラ米ヲアツチコツチカラ集メテ、サウシテ賣ルトカドウスルトカ云フ關係ガアリマスノデ、此ノ數字ガ多クナルト云フコトハ當リ前デアリマス、ソレデ此ノ延取引ガ投機取引トナルト

斯ウ云フ仰セデアリマスガ、現在清算取引デ今日證據金ヲ納メテ明日直グニ勝負ヲシテ、其ノ差金ヲ明後日受取レル所ノ所謂清

算取引、殆ド其ノ大部分ハ投機取引ト言ツテ宜シイデアリマセウ、數字カラ申セバ一番盛シナ時ニハ年ニ二億萬石カラノ清算取引ガアツタ、現在デモ、十三年度ニ於テ慥カ四千二百萬石ノ取引ガアツタ、然ルニ實際ノ實米ノ取引ト云フモノハ其ノ一%半カ二%位ナモノデアリマス、其ノ多クハ要スルニ

投機取引ニ使ハレタトモ言ヘル、ソレガ全部投機取引ニ使ハレタト云フコトハ言ヘマセヌケレドモ、大部分ガ使ハレテ居ツタト

言ヘル、サウ云フ元二億萬石カラアツタモノガ、今ノ最高最低ガ決メラレテ、今日窮屈ニナリマシタ結果、其ノコトニ依ツテスラ四千二百萬石ニ減ツテ居ル、況ヤ是ガ月ガ二箇月減リ、サウシテ今マデハ一本建ノ唯買ツタ賣ツタト云フコトデ出來タカラ、日本全國何處ノ米デモ持つテ來デヤレタモノガ、今度ハ銘柄デアレバ何縣ノ何米ト云フコトニ限ラレ、組合セ銘柄ナラバ組合セ銘柄ノ米デナケレバ取引ガ出來ナイ、斯ウ云フコトデアリマスガ故ニ、是ハ從來ノモノト較ベテ私ハ天地霄壤ノ違ヒガアルト思ヒマシテ、到底是ハ投機ノ目的トスルニ足ラスト私ハ思フノデアリマス、多少小野サント意見ガ異ナルカ知レマセヌガ、私ハ之ニ依ツテ投機取引ガ出來ヤウトハ考ヘテ居

ラナイノデアリマス

○小野(謙)委員 農林大臣ノ御答ヲ伺ツテ見マス、現在ノ清算取引ト比較致シマシテ、天地霄壤ノ差ガアルト云フコトデアリマスガ、ソレハ私モ承知シテ居ルノデアリマス、併シナガラ政府ハ表看板トシテ投機ノ抑制ヲ提案ノ理由ニハツキリト謳ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレナラバ私ハ餘地ヲ殘シテ置クト云フコトハ却テイカヌノデハナイカ、其ノ投機ノ生ズル餘地ヲナクシテ置イタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フノデアリマシテ、私何モ現在ノ取引制度ニ比較シテノコトデハナイ、今度ノハ無論九牛ノ一毛カ知レマセヌ、ソレハ農林大臣ノ仰シヤル通りダト思ヒマスケレドモ、此ノ全國ノ何十箇所ニ出來マス取引所ガ、全部デ取扱ヒマス所ノ正米ノ取引高ト、東京、大阪ノヤウナ特殊ナ取引所デ取扱ヒマス所ノ此ノ延若クハ未著物ノ石數ノ差ガ餘リニ多イノデアリマス、ソコニ私ハ若干ノ疑問ヲ持チマシテ投機ノ乗ズル餘地ガアルノデヤナイカ、斯様ニ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、若シ私ノ見解ニシテ誤リガナイトスルナラバ、政府ハ未著物ニモ延取引ニモ斷乎差金ノ取引ヲ禁止スルカ、又ハ限月取引ヲ止メテ未著物ノ期間ヲ若干延長シテ是ガ最終受

渡シ期ニ於テモ差金ノ授受ヲ禁止スルノ意思ナキヤ否ヤ承ツテ見タイノデアリマスカ、此ノ點ハ見解ノ相違ノヤウニナツテ居リマスガ、恐ラク農林大臣ト雖モ未著物ハドウカ知リマセヌガ、先物ノ投機ノ餘地ガナイト云フコトハ私ハ斷言ガ出來マイト思フノデアリマス、唯現在ノ制度ト銘柄等級別取引トソレカラ組合セ銘柄等級別ノ取引ト、斯ウ云フ風ニ何處々々ノ米ヲ賣買ヒスルンダカラ餘地ハナイ、斯ウ仰シヤイマスケレドモ、私ハ當局ノ御説明通りニ行クモノカドウカト云フコトニ大變疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ヲ只今申上ゲマシタ差金取引ヲ禁止スルカ、又ハ限月取引ヲ止メ、未著物ノ期間ヲ多少延長セシメ、是ガ最終受渡シ期ニ於テモ差金ノ授受ヲ禁止スルノ意思ナキヤ否ヤ、今ノハ延取引ハ十五日、ソレカラ限月ハ二月ト、斯ウナリマシタケレドモ、形ノ上ニ於テハ三月ニ分レテ居リマシタノヲ、十五日ニ一ツ切ツテ、アト中物、先物ト、斯ウ云フ風ニ見エルノデアリマスカラ、其ノ點ヲハツキリシテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 度々申上ゲマス通り此ノ延取引ノ式ニ依リマス、間ニ於テ轉買買戻シノ出來スト云フコトガ投機ノ出來ナイ主

ナル事柄デス(小野委員)現在ニ比較シテデナシニ御話ヲ願ヒタイ、私ハ銘柄取引ト云フモノガ極ク手短ニ申上ゲルナラバ、假ニ私ガ青森縣出身デアツテ、青森縣ノ米ヲ賣リタイト思ヒマシテ、青森縣ノ何等米ヲ賣リタイガト言ツテ誰方カ他ノ市場員ニ賣ル、サウ致シマスと脇ノ米ヲ以テ代用スルコトガ出來ナイノデアリマスカ故ニ、青森縣ノ米ヲ買フト云フ人デナケレバソレニハ能ウ買ヒ付ケナイノデアリマス、隨ヒマシテ何處ノ米デモ持ツテ行ツテ今マデノヤウニ取引ノ出來ルノト違ヒマシテ、極メテ限定サレテ、實際ソレヲ買フ考デナクチャ一寸買ヘヌ位ナモノダラウト思ヒマス、況ンヤ其ノ間ニ於テ差金ノ決済ヲ許サナクテ、所謂其ノ品物ノ取引サレル最終デナケレバ幾人轉々シテモ其ノ人達カラ總テ其ノ度ニ證據金ヲ取ルノデアリマシテ、今マデノヤウニ今日一石何圓カノ證據金ヲ付ケテ明日ハ其ノ玉ヲ外セバ直グ差金ガ取レルト云フヤウナモノデハナイノデアリマスカラ、私ハ投機取引ガ絶滅スルトハ斷言出來ナイカモ知レマセヌガ、大部分抑制セラレルト云フコトダケハ間違ヒナイト確信シテ居ルノデアリマス

○小野(謙)委員 サウスルト反對ニ伺ツテ見

マスガ、最終ノ差金ノ取引ヲ許シタト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ
○櫻内國務大臣 先刻カラ申ス通り未著物取引ト同ジデス、例ヘバアナタガ大間屋デ米ヲ千石御買ヒニナツタ、サウシテアナタノ手下ニ從來カラ取引シテ居ル中位ナ米穀取扱業者ガアツタ、ソレニアナタガ千石買ツタ米ヲ百石ヅツ分ケテヤツタ、斯ウ云フ時ニドウシテモアナタハ一遍米ヲ自分ノ倉庫ニ受取ツテ、ソレヲ今度ハ其ノ人々ニ別々ニ分ケ與ヘルナント云フコトニナツタナラバ、ソレハ二重ニナツテ、手數ガ掛ツテ、運賃カラ言ツテモ何處カラ言ツテモ引合フモノデハナイ、ダカラ直接ニ停車場カラ渡スト同ジ意味デ——ソレハ未著物デアリマスカ、ソレト同ジ意味ニ於テ今度ハアナタカラ買ツタ人ガ又他ノ人ニ賣ツタ、ソレデ其ノ人ガ又他ノ人ニ賣ツタト假定致シマシテモ、其ノ品物ノ受渡シノ付クマデノ間ニ於テハ所謂差金ノ決済ト云フモノヲ許サナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ其ノ最終ノ期末ニ於テ渡スベキ米ハ渡シ、受取ルベキモノハ受取ル、サウシテソコデ初メテ決済ガ出來ルノデアリマシテ、從來ノ清算市場トハマルデ違ツタ市場ニナルト私ハ斯様ニ考ヘルノデアリマス

○小野(謙)委員 其ノ點ハ議論ニナリマシテ、問答シテモ仕方アリマセスカラ、次ノ點ニ移リマスガ、次ニ私ノ伺ヒタイコトハ、産業組合ガ賣方トシテ市場員ニナリ得ル制度デアリマス、政府ハ本法ヲ投機抑制、投機絶對禁止ノ一本槍デ行クナラバ格別デアリマスガ、サウデナイ限リ産業組合モ亦投機行爲ヲ爲スモノニアラズトハ斷ジ得ナイノデアリマス、之ヲ防止セントスルナラバ、産業組合ヲ市場員ニ加ヘザルカ、市場員トナルナラバ是ガ取締ヲドウスルノカト云フコトヲ伺ツテ見タイノデアリマス、

先般北委員カラ産業組合ハ決シテ投機ハヤラナイ、其ノ理由トシテ産業組合ノ役員ハ且那デハナイ、番頭デアアル、隨テ投機ニ依ツテ、金ヲ儲ケテモ金ノヤリ場ガナイノダ、斯ウ云フ御話ガアツタヤウデアリマスガ、私ハサウハ考ヘラレナイ、ヤハリ途ガ開ケテ居レバ投機ヤラル場合ガアルト想像シタ方ガ妥當デアラウト思フノデアリマシテ、ソレハ單ニ私ノ想像バカリデハナイ、是ハ産業組合ガ滿ヲ拵ヘテ、組合デ絲ヲ取ツテ、絲トシテ産業組合ガ賣ツタ場合、投機ヲヤツテ儲ケタ場合ハ役員ハ何處ニモヤリ場ガナイト仰シヤルガ、役員ガ取ル、損シタ場合ニハ組合員

ニ轉嫁シテ居ル事實ガアリマス、私ハソレヲ心配スルカラ是等ノ投機抑制ノ問題ト關聯シテ産業組合ノ役員モ神様デハナイ、ヤハリ人間トシテ考ヘタ方ガ實際的デヤナイカト考ヘマシテ、一本槍デ行ク制度ノ方ガ宜イ、又監督モ、ソレヲ許サナケレバナラヌ必要ガアルナラバ、ドウ云フ風ニ投機ヲ抑制シテ、ドウ云フ風ニ監督スル御考デアルカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 販賣組合ガ此ノ市場ニ於テ賣リマスノハ、度々申上ゲマス通リ所謂農村ノ人々カラ委託セラレタ米ヲ賣ルノデアリマシテ、ソレガ投機ノ目的ニナルトハ私考ヘマセス、又産業組合、即チ販賣組合ガ投機ヲ致スヤウナ行動ガアリマスレバ、是ハ自ラ取締ル規則ガアルノデアリマシテ、嚴重ニ取締リ得ルノデアリマシテ、其ノ點ハ御心配ハナイト思ヒマス

○小野(謙)委員 サウ云フコトヲ伺ヒマシテ、心配ガナイト仰シヤレバ、産業組合法カ何カデ間違ガアレバ取締ルカラ心配ナイト云フコトデ安心スルノデアリマス、最後ニモウ一點、是ハ若干關聯シテ居リマスカラ伺ヒタイノデアリマスガ、先般ノ決算委員會デモウ一遍農林大臣ガ出テオ出デニナ

ツテ私ノ質問ニ御答スルト云フ御約束ダツタノデアリマスガ、アノ際伺ヒタイト思ツテ居ツタノデスガ、實ハ春肥ノ配給ノコトガ度々此ノ席デ御話ガ出タノデアリマス、春肥ノ配給ノ問題ニ關シマシテ農林大臣ノ御努力ハ私共トシテ感謝致スノデアリマス、其ノ後私ハ郷里ニ歸リマシテ直接農民ニ聞イテ見タノデアリマスガ、農林大臣ガ折角御心配下サイマシタ所ノ春肥ノ配給ハ、農民ノ手ニ配給サレル時期ハ何時ダラウカ、斯ウ云フコトヲ非常ニ懸念シテ居ルノデアリマス、御承知デモアリマセウガ、私ノ郷里デハ降雪期、殊ニ雪ノ固ツテ居リマス時ニ二月頃ニ堆肥ヲ田ニ糶デ配ルノデアリマス、サウシテ雪ガ消エマシテ金肥ヲ入レルコトニナルノデアリマスガ、ソレハ四月ノ末カラ五月初メニ加里ヤ過燐酸ヲ入レタイ、其ノ頃マデニ手ニ入レバ非常ニ都合ガ好イ、殊ニ是ハ農林大臣モ御承知デアリマセウガ、決算委員會デ松山君カラ今年ハ北氷洋ノ氣溫ノ關係カラ、冷害ノ心配ガ非常ニアルノデハナイカト云フ御注意ガアツタノデアリマスガ、ソレデアレバアル程今年ハ吾々方面ノ稻作ニ警戒ヲ要スルモノガアルト思ヒマス、昨年ノ例ヲ申上ゲテ見マスト、昨年ハ青森縣方面デハ春カラ初夏ニ掛

ケマシテ非常ニ天候ガ不順デアツタノデアリマス、殊ニ私共ノ方面デハヤマセト云フモノガ吹イテ居リマシテ、是ガ長引ケバ到底米作ハ出來ナイトマデ心配ヲサレタノデアリマスガ、幸ニ土用ニ入ツテカラ見直シマシテ、非常ナ暑サガ續キマシタ爲ニ、昨年ノ作ハ良カツタノデアリマス、ソレハ早蒔デ本田移植ノ時機ガ早カツタノガ好カツタノト、肥料ヲ多分ニヤツタノガ好カツタノデアリマス、サウ云フ實情デアリマシテ、施肥ノ時機ヲ失シテハ大變ダト云フコトヲ心配シテ居リマス爲ニ、私ハ此ノ機會ニ於テ、農林大臣ニ折角御手配ヲ願ツタ春肥ノ配給ガドノ時機ニ百姓ノ手ニ渡ルカト云フコトヲ御伺致シマス共ニ、配給ノ系統ハ、産業組合ニ入ツテ居ラナイモノガ澤山アルカラ、産業組合ト商業組合ノ二本建デ行クト伺ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ヲハツキリ伺ツテ、私ノ農林大臣ニ對スル質疑ハ終リタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 肥料ノ問題デアリマスガ豫テカラ申上ゲマス通り、七月マデノ無機物肥料ノ手當ハ付イタノデアリマス、今御話ノ如ク東北地方ニ於キマシテハ、速ニ肥料ヲ施サナケレバナラヌト云フコトハ洵ニ御尤デアリマシテ、豫テ承ツテ居ル所デアリ

マス、ソレデ四月以後ノ所謂春肥ノ此ノ度取極メタ肥料以外ノ分モ、實ハ船ノ都合デ四五日到著ノ遅レタ品物モアリマス、最近四五日ノ内ニ到著ヲ致ス筈デアリマス、其ノ到著次第、一番早ク施肥ヲシナケレバナラス方面ニ、直チニ配給ヲ致ス手配ヲ今日カラ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、出來ル限り速ニ配給ヲ終ルヤウニ到著以前カラ準備ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○河野委員 一寸今ノ加里ノ問題ニ關聯シテ御發言ヲ御許願ヒマス

○添田委員長 河野君

○河野委員 先日私ハ加里ノ配給系統ガ非常ニ亂脈デアルト云フコトヲ申上ゲテ、大臣ニ御警告ヲ申上ゲタノデアリマスガ、其ノ後其ノ方ノ御調査ハシテ下サツタノデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウカ、ト同時ニ此ノ機會ニ、現在ノ加里ノ配給機關ハ現状ヲ以テ御満足デアルカドウカ、現在ノヤウナ加里ノ配給系統ヲ通ジテ配給シテ置クコトデ宜シイカドウカニ付テ、御所見ヲ質シテ見タイト思フノデアリマス、今小野サンカラモ御話ノヤウニ、加里ハ非常ニ不足デアル、同時ニ農林省ノ最近ノ御計畫ニ依リマシテモ、例ヘテ申セバ甘藷ノ如キ

ハ、加里ナシニハ、絶對ニ出來ナイノデアリマス、所ガ甘藷ヲ無水「アルコール」其ノ他ノ關係カラ非常ナ増産ヲスルコトヲ要望シテ居ラレル、之ニ付テハ無水「アルコール」ノ原料トシテ甘藷ヲ作ラセル、此ノ増産計畫ト配給ノ關係ハ兩々相俟ツテ行カナケレバナラス、隨テ加里ノ配給ハ國策上色ナ方面カラ是ガ施設ヲ必要トスルモノデアリマス、其ノ點カラ參リマシテモ現在ノ如クニ單ナル數箇店ノ指定商人ニ此ノ配給ヲ任シテ置クコトガ妥當デアルカドウカ、加糖酸、窒素等ニ於ケルヤウナ國策會社ニ依ツテ公平ニ之ヲ配給スル、而モ政府ノ監督下ニ於テ指示通りニ配給スルコトガ必要デアツテ、問題ガ小サイカラ宜シイノダト云フコトニハナルマイト思フ、少ケレバ少イ程之ヲ確實ニ届クヤウニシナケレバナナルマイト思フ、所ガ御承知ノ通りニ加里ハ日本加里會社ト云ヒマスカ、外國ノ「シンデケート」ノ日本ノ代理店ノヤウナモノガ日本ニ來テ居ツテ、其ノ店ガ特約店ニ渡ス、其ノ數箇店ノ特約店ガ、何縣ハ何處ノ特約店ノ配給機關、何縣ハ何處ノ特約店ガ配給スルト云フコトニソレム、分擔シテ居ルト云フコトデアリマスノデ、是ハ實ハ我國ノ物動計畫ノ關係カラ行キマシテモ、一般ノ

物動計畫ヲ非常ニ祕密ニシテ居ラレル反面ニ於テ、加里ノ如クニ絶對ニ外國ニ依存シナケレバナラスヤウナモノヲ、全ク外國人ノ算盤ノ中デ配給サレテ居ルト云フコトニナレバ、總テ加里ニ關スル限り、日本ノ物動計畫ハ全部外國人ニ分ツテシマフト云フコトガ果シテ妥當カドウカ、此ノ點ニモ實ハ私ハ非常ニ疑問ヲ持ツテ居リマス、是等ノ點カラ參リマシテモ、速ニ加里ニ關シマシテ特定ナ配給機關ヲ作ツテ、ソレニ基イテ政府ノ適當ナル指導ノ下ニ、誤リナキ配給ヲスルコトガ必要ダト私ハ思フノデアリマス、是等ニ付テ農林大臣ハドウ云フ風ナ御考デアリマスカ、先日申上ゲタ點ニ對スル調査ト、又之ニ對スル前後處置、共ニ此ノ機會ニ御伺シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 先日河野君カラ抽象的ナ御注意ガアリマシタノデ、其ノ内容ハ此ノ席デ承ラナカツタノデアリマスケレドモ、萬一ニモ左様ナコトガアツテハナラヌト思ヒマシテ、直チニ各方面ニ於テ調査ヲ命ジマシタ、マダ私ソレ等ニ對シテドウ云フ處分ヲスルト云フ點ニハ參ツテ居リマセヌケレドモ、要シマスルノニ配合肥料ト一括シテ、加里ノ販賣ヲ利用シテ穩カナラス取引ヲシテ居ル者ガアルカノヤウナ御意見デアリマシタ、其ノ點ニ付キマシテハ今嚴重ニ取調ベテ居リマス、若シ左様ナ不都合ナコトガ事實デアルト致シマシタナラバ、之ニ對スル適當ナ措置ヲ致サナケレバナラヌト思ツテ居リマス、早急ニヤルベキコトデアリマスケレドモ、ココ數日ノコトデアリマシテ、未ダ其ノ調査ガ完了致シテ居ラヌノデアリマシテ、此ノ際ドウ云フ始末ヲスルカト云フコトハ申上ゲ兼マスケレドモ、適當ナル處置ヲ執リタイト思ヒマス、加里ノ問題ニ付キマシテハ御話ノ如ク、今外國人ノ會社ニ於テヤツテ居ルノデアリマシテ、之ヲ此ノ儘ニシテ置クガ宜シイカ、又他ニ適當ナ配給機構ヲ設クルガ宜シイカト云フコトニ付キマシテ、私河野君ノ御意見ノアル所ニ對シテ、決シテ異議ヲ持ツ者デハアリマセヌ、併シナガラ今日加里會社ハ政府ノ指示ニ從ツテ、配給ノ任ニ當ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ現状ニ於テ不都合ナコトガ起ルトハ考ヘテ居リマセヌノデ、十分之ニ對シテハ注意ヲ拂ツテ、萬間違ヒナイコトヲ期シマスルト同時ニ、更ニ進ンデ今ノ御話ノ點ニ付キマシテモ、至急ニ考究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○河野委員 面倒デスカラ私カラ實情ヲ申上ゲマセウ、サウシテ速ニ處分シテ戴キタ

イ……

○添田委員長 農林大臣ハ只今豫算ノ方ヘ

追加豫算ノ説明ニ行カナケレバナラヌサウ
デスカラ、歸ツテカラニシテハ如何デスカ

○河野委員 大臣ノ居ラレル所デ申上ゲナ
ケレバ工合ガ惡イカラ、サウ致シマセウ

○添田委員長 デハ小野君

○小野(謙)委員 ソレデハ事務當局ニ伺ヒ

マス點ヲ二三伺ツテ見タイト思ヒマス、是
ハ本會議ニ於ケル眞鍋君ノ質疑中ニアツタ

コトデアリマスルガ、新會社竝ニ市場員ノ
手數料ト現在ノ配給機構改革ニ依ル手數料

トノ比較ヲ伺ヒタイノデアリマス、眞鍋君
ハ本會議ノ質疑ニ於テ「本會社ニ依リテ中間

手數料ノ支拂ハルルモノハ、概算シテ石ニ
付キ一圓五十錢ト思ヒマス、今マデノ機構

ヲ改革シテ統一シテヤルトスレバ、凡ソ七
十錢デ済シテ居リマス」トアルノデアリマ

スガ、之ニ對シマシテ、農林大臣其ノ他ノ
政府委員カラハツキリトシタ御答ガナカツ

タ、此ノ數字ヲ肯定モシナケレバ否定モシ
ナカツタヤウニ、私ノ調べタ所ニ依ルト思

ハレルノデアリマス、尤モ局長其ノ他カラ
市場手數料ト云フヤウナモノノ數字ハ私共

同ツテ承知シテ居ルノデアリマスケレド
モ、此ノ眞鍋君ノ計算ハ會社ノ配當ヲ裏ノ

方カラ推算シテ、斯ウ云フ數字ガ出タノダ

ト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、此ノ
數字ニ對シテハ當局ハドウ云フ御考ヲ持ツ

テ居ラレマセウカ、御否定ニナリマセウカ
○周東政府委員 今度ノ會社ノ市場ニ於キ

マシテハ其ノ市場ニ齎サレマスル米ニ付
キ、其ノ之ヲ齎シマスル機構ニ付キマシテ

ハ特ニ整理スルト云フヤウナコトニナツテ
居リマセヌ、隨ヒマシテ其ノ關係ニ於キマ

シテハ從來ノ取引通りデアリマス、唯此ノ
會社ニ關スル限リニ於キマシテハ、先日モ

申上ゲマシタヤウニ、市場ニ於ケル手數料
ト云フモノハ實物市場ニ於キマシテ四厘、

ソレカラ延取引モ各、安イ手數料ヲ決メテ居
リマス、隨ヒマシテ其ノ外ノ問題ト致シマ

シテハ其ノ市場員ニ委託シテ貰フ手數料ノ
問題ガ如何ニナルカト云フ問題デアリマス、

ソレニ付キマシテハ今御話ノ様ニ一圓五十
錢モ掛ルトハ私共考ヘテ居リマセヌ、是ハ

非常ニ安イ手數料ニナルト思フ、殊ニ實物
市場ニ於キマシテハ御説明ヲ申上ゲマシタ

ヤウニ、生産者等ガ或ハ直接ニ市場員ニ向
ツテ賣ルコトガ出來マスルシ、又小賣商ハ

直接市場員カラ買ヒ得ルノデアリマス、其
ノ間ニ於テ特ニ委託ヲシナケレバ買ヘナイ

モノデモナク、委託ヲシナケレバ賣レナイモ

ノデモナイノデアリマスルカラ、實物市場

ニ於ケル委託手數料ト云フモノハ今度ノ市
場ニ於テハ出テ來ナイノデハナイカト思フ

ノデアリマス、延取引、未著物取引ノ市場等
ニ於キマシテハ勿論市場員以外ノ者ガ直接

市場ニ出テ參リマセヌノデ、委託ノ場合ガ
起ルカトモ思ヒマスケレドモ、之ニ付キマ

シテモ、只今御話ノヤウナ一圓五十錢ト云
フヤウナコトハ絕對ニ考ヘテ居リマセヌ、

ドウ云フ計算ニナツテ居リマスカ私共モ承
知シテ居リマセヌ、是等ニ付キマシテモ現

在ノ市場等ニヤツテ居リマス實例、或ハ實
際ニ各生産團體等ニ委託シテヤツテ居リマ

ス手數料ト云フモノヲ參照致シマシテ、出
來ルダケ本會社ノ目的ニ副フヤウニ低率ナ

委託手數料ヲ決メル積リデゴザイマス
○小野(謙)委員 諒承シタノデアリマスガ、

此ノ計算ハ私ノ計算デハナイノデスカ、眞
鍋君ニドウ云フ計算ダラウカト聞イテ見タ

所ガ、六分乃至八分ノ配當ヲ會社ガスル、
其ノ會社ノ利潤ヲ裏ノ方カラ計算スルト是

ダケノ手數料ニナルノデアル、隨テ是レノ
ダケノ手數料ハ消費者ニ轉嫁サレルノダト

云フコトデアツタ、之ヲ御認メニナルカ、
ナラヌカ、是ハ非常ニ重大ナ問題デアリマ

シテ、一寸見ルト小問題ノヤウデアリマス

ガ、本案ニ對スル贊否ヲ決スル上ニ於テ殆

ド根本ニナルノデヤナイカト云フ考ヲ持ツ
テ居リマスノデ、ハツキリ否定スルナラバ

否定スル、ドンナニ會社ガ儲ケテモコンナ
數字ハ出テ來ナイト云フコトサヘ承レバ宜

イノデアリマス、只今マデノ政府ノ御説明
ニ依リマス、此ノ米穀年度ニ於ケル殘存

米ハ九百二十萬石トノ御説明デゴザイマ
シタガ、此ノ政府ノ計算シテ居ル殘存米ノ

中ニハ、地方ニ於ケル郷倉ノ在米ヲモ含シ
テ居ルノデアリマセウカ、如何デアリマス

○周東政府委員 御話ノ通りデアリマス
○小野(謙)委員 ソレカラ次ニ本法案ノ出

方ガ非常ニ遅カツタト思フノデアリマスガ、
本委員會ニ於テモ極メテ慎重ニ審議シテ居

ルガ亦急イデ居ルヤウデアリマスガ、假ニ
本法案ガ貴衆兩院ヲ通過スレバ結構デアリ

マスケレドモ、餘リ會期モアリマセヌノデ、
或ハ貴族院ニ參リマシテ萬一是ガ審議未了

ニナツタ場合ヲ想像シテ見マス、其ノ際
ニ於ケル臺灣米ノ販賣價格ノコトハ政府ハ

ドウ云フ風ニ考ヘテ居リマセウカ、別ニ是
ハ法律ニ依ラナイデ單純ナル手續デ別ナ機

關ガ出來ル、斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シウ
ゴザイマセウカ

○周東政府委員 非常ニ會期ガ切迫シテ居

リマスルノデ、只今ノヤウナ御心配ヲ戴イ
タ譯デアリマスガ、私共ハ出來ルダケ御協
賛ヲ戴キマシテ成立スルコトヲ祈ツテ居リ
マス、併シ萬が一御話ノヤウナ場合ガ出來
タ時ニ於キマシテハ、是ハ臺灣總督府及ビ
拓務省ト能ク合議ノ上、別箇ニ此ノ取扱ヲ
致ス機關ヲ作ルコトニナツテ居リマス

○小野(謙)委員 ソレカラ是ハ御尋スルマ
デモナイコトカモ存ジマセスガ、私ハ素人
ダカラ伺フノデアリマスケレドモ、此ノ延
取引ノ方法ヲドウナサルノデアリマセウカ、
先物ハ一月限、二月限ト云フ風ニ、月末取
引ニナサルノデアリマスガ、ソレトモ賣買
契約ヲシタ時カラ三十日トカ、六十日ト云
フ風ニ受渡ヲヤラセルノデアリマスガ、其
ノ點ヲ伺ツテ置キマス

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ色
色御話ノヤウナ心配ノ點モアリマスルノデ、
能ク研究ヲ致シテ決メタイトハ思ツテ居リ
マスガ、只今ノ所限月ヲ立テナイ方ガ宜イ
デヤナイカ、斯様ニ考ヘマス
○小野(謙)委員 ソレデハマダ其ノ方法ガ
ハツキリシテ居ナイト承知シテ宜シイノデ
アリマスガ

○周東政府委員 大體限月ヲ立テナイデ行
クト云フヤウナ方針ニ決メテ居リマスガ、

尙ホ實施ノ時マデニ色々經驗ノアル方等ヲ
入レマシテ、實際ニ副フヤウニシテ行キタ
イト思ヒマス

○小野(謙)委員 ソレカラ是ハ今大臣ガ豫
算總會ニ參リマシテ御説明ニナル點ダト思
フノデアリマスガ、慥カ今日ノ新聞デ見タ
ノデスガ、農林省所管ノ追加豫算ハ産業獎
勵費二百九十三萬三千圓、臨時農村對策施
設費一千四百八十二萬一千圓、災害其ノ他
ノ施設費一千四百四十一萬一千圓トナツテ居リ
マスガ、此ノ内容ノ御説明ヲ此處デ伺ヒタ
イト思ヒマス

○添田委員長 ソレハ豫算總會ノ方デドウ
デスカ

○小野(謙)委員 此處デ聽イテモ無駄ハナ
イデセウ

○松村政府委員 ソレデハ極メテ簡單ニ要
領ダケ御答申上ゲテ置キマス、今度ノ追加
豫算ノ總計ハ只今御示シニナツテ居リマス
通りニ大體二千九百萬圓デアリマス、其ノ
中災害其ノ他施設費ノ増加ト云フノガ約一
千百萬圓アル譯デアリマス、隨ヒマシテ其
ノ他ノ生産擴充等ニ廻リマス金ハ約千八百
萬圓弱デアリマス、其ノ内譯ヲ申上ゲマス
ト、農林水產物増產確保ノ施設ニ關スル經
費ガ一千五百五十萬圓、農業勞働力補給調

整施設ニ關スル經費ガ八十三萬八千圓、肥

料ノ資源開發獎勵ニ關スル經費ガ六十三萬
六千圓、飼料ノ自給促進獎勵費ノ増加ガ六
十六萬圓、大キナノハ大體サウ云フヤウナ
所ノモノデアリマス、之ヲ他ノ方ハ略シマ
スガ、農林水產物増產確保ニ關スル經費ノ
内譯ヲ申上ゲマス、主要食糧農產物増產
確保ニ要スル資金ガ六百七十萬圓、繭ノ増
產確保ニ要スル經費ガ四百八十萬圓、アル
コールノ原料ニ要スル經費ガ四百六十六萬
圓、木炭ノ増產ニ關スル經費ガ百七十八萬
圓、沿岸漁獲物増產施設ニ要スル經費ガ五

十五萬七千圓、北洋ノ鯨及ビ支那海ノ漁場
開發ニ關スル經費ガ五十三萬圓、大體斯ウ
云フヤウナ所デアリマス、ソコデ此ノ豫算
ノ仕組ハ出來得ル限り、議會ノ御趣旨モア
リマシタカラ、農村ノ最前線ノ實行組合ヘ
金ガ廻ルヤウナ仕組ヲ致シマシテ、其ノ上
ノ經費ハ出來ルダケ節約シテ、大キナ部分
ヲソレニ廻シタイ、斯ウ云フ仕組ヲ致シテ
居リマス、隨ヒマシテ詳シイ計算ハ致シテ
居リマセスケレドモ、農村ノ方面ヘ互リマ
スル金ハ此ノ豫算ダケデモ最前線ヘ一千万
圓以上參ルコトト思ヒマス、更ニ既ニ成立シ
タ豫算等ヲ加ヘマスト、其ノ方面ヘ廻ル金ハ
更ニ増加致スコトト思ヒマス、ソレダケ申

上ゲテ置キマス

○小野(謙)委員 先刻一寸局長ニ伺ツタ取
引ノ方法ニ付テモウ一點伺ツテ見タイト思
ヒマスガ、今度ノ正米ノ取引ハ現在ノ正米
取引ノヤウナ風ニ相場ガ決ルノデアリマセ
ウカ、ソレカラ延取引ハ相對賣買ダカラ、
銘柄等級等ノ如何ニ依ツテ賣買ノ相場ガ幾
ツモ立ツ、斯ウ云フヤウナ風ニ承知シテ宜
シイノデゴザイマスガ、モウ決ツテ居ルナ
ラバ其ノ方法ヲ御説明ヲ願ツテ置キタイト
思ヒマス

○周東政府委員 大體實米ノ取引市場ニ於
キマシテハ、市場ノ大小ニ依リマシテ多少
違ヒマスガ、取引ノ範圍等ハ二十五俵單位
ト云フヤウナ程度ニ決メマス、ソレカラ相
對賣買ノ方法、銘柄等級別、ソレカラ大體
其ノ市場ニ於キマシテ賣方若クハ買方ニナ
ル者ハ必ズシモ市場員デナクテモ宜シイ、
ソレカラ受渡場所ニ付キマシテハ大體今ノ
正米ト同ジヤウニ會社ノ指定シマスル地域
ニ於ケル受渡場所デ受渡サレル、決濟ハ約定
ノ期限ニ於テ現品ト代金ノ授受ヲ爲スモノ
トシ、差金決濟ハ之ヲ認メスコトニ實物市
場デハ考ヘテ居リマス、ソレカラ延ノ方ニ
於キマシテハ賣方、買方共ニ市場員ニ限ル、
ソレカラ賣買單位ニ付キマシテハ是ハ自ラ

現物市場トハ違ヒマシテ、相當ノ大キイ額ガ單位ニナルコトニナツテ居リマス、ソレカラ御話ノヤウニ銘柄等級別又ハ組合セ銘柄ト云フ關係ニナリマスノデ、御話ノヤウニ相場ハ各銘柄別ニ出來上ルト思ヒマス、受渡場所ハヤハリ現物ト同様ニ會社ノ指定セル地域ニ於ケル受渡場所デ致シマス、大體サウ云フ風ナコトデアリマス

○小野(議)委員 サウスルト市場ニ於ケル正米ノ値段ハ日ニ一遍立チマスカ、又銘柄等級ニ依ツテ違フ部分ハ無論アリマセウガ、日ニ一回ハ御發表ニナル譯デスカ

○周東政府委員 御話ノヤウニ銘柄別ニ毎日出テ參ラウト思ヒマス

○小野(議)委員 午前、午後、デナシニ、日ニ一回ダケデスカ

○周東政府委員 大體一回デアリマス

○小野(議)委員 ソレカラ私ハ法律ハ素人デアリマスガ、條文ニ付テ若干伺ツテ見タイト思ヒマス、先程繼ギハギノ法律ダト私ハ申上ダタノデアリマスガ、此ノ十七條ニ「賠償ノ責ニ任ズルコトヲ得」トアリマスガ、ドウ云フ場合ニハ賠償スルシ、ドウ云フ場合ニハ賠償シナクトモ宜イト云フノデアリマスカ

○周東政府委員 是ハ指導上監督上ハ賠償

ノ責ニ任ゼサセルヤウニ定款ヲ書カセル積リデアリマス

○小野(議)委員 私ハ此ノ二十九條ハ二十一條ノ次ノ二十二條ニナルベキガ當然デハナイカト思フ、又二十一條ノ中ニ包含シテシマツテモ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、斯ウ別ニ離シテ置イタ所ニ、立法技術ト申シマスカ、何カ特別ノ事情ガアツタノデアリマス

○周東政府委員 ソレハ二十一條ハ會社ノ目的ヲ書キマシタ、二十九條ハ其ノ範圍ニ於キマシテ事業ト云フモノヲ限定シテ書イタノデアリマス

○小野(議)委員 次ニ今度ノ米ノ免許制度ニ付キマシテ——現在ノ配給機構内ニ於ケル從業員ハ、免許制度ノ下ニ於キマシテハ、ヤハリ賃銀労働者ニ轉落シテシマフ、現在ノ制度デ參リマスナラバ、將來暖簾ヲ分ケテ貰ツテ獨立スル希望ガアリマスガ、今度ノ免許制度ニナリマシタナラバ、サウ云フコトモ出來ナイト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマスガ、政府ハ是レ位ノ犧牲ハ此ノ新シイ配給機構ヲ作ル上ニ於テ已ムヲ得ナイト云フ風ニ御考デアリマスカ、之ニ多少何カシテヤルト云フ御考ハアルノデアリマスカ

○周東政府委員 其ノ點ハ第一條ノ許可制ヲ設ケタ趣旨カラ致シマシテ、何處マデモ考ヘテ行キタイト思ヒマス、隨ヒマシテ新ニ免許致ス場合ニ其ノ地方ニ於ケル配給事情、米ノ數米ノ流レト云フモノヲ斟酌致シマシテ、是レ以上殖ヤスコトノ不適當ナ場

合ハ或ハ御話ノヤウニ許可シナイ場合モアリマセウ、併シナガラサウ云フ風ナ事情ガナケレバ、之ヲ許可致シテ參ル譯デアリマス、サウ云フ風ナ場合ニ今ノ從業員ト云フヤウナ經驗ノアル者ハ、ソレガーツノ有利ナ事情トシテ、考慮ノ中ニ入ラレルト思ヒマス

○小野(議)委員 此ノ間戴イタ目論見書ヲ拜見シマス、アノ中ニハ買收費、修繕費竝ニ諸施設費ト云フモノガ八百五十萬圓カ載ツテ居リマスガ、其ノ内譯ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、頂戴シタ資料ニ依リマス、現在米ノ賣買ニ直接使用スル取引所ノ現在ノ土地建物其ノ他ノ財産ハ、四百三十六萬一千圓ト計算シテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ殘餘ノ修繕費トカ諸施設費等ノ分ガ餘リニ大キイヤウニ考ヘラレルノデ、其ノ内容ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 其ノ點ハ差上ゲマシタ資料ノ中ニモアルト思ヒマスガ、其ノ中ニハ

ツキリ區別ノ出來ルモノト、出來ナイモノトアリマス、例ヘバ新潟トカ京都ノヤウナ所ハ、ハツキリ區別ガ出來ナイ爲ニ、ソレダケ別ニナツテ居ルノデ計算ニ乗ラナイ、サウ云フ風ナモノヲ考ヘ合セマス、必ズシモ帳簿價額ノ四百三十六萬圓ダケハ實際問題トシテハムヅカシイ場合ガ出テ來ルノ

デハナイカト思ツテ居リマス、併シナガラ八百五十萬圓アルノデアリマスカラ、之ヲ以テ全部買取りマシテ、或ハ修繕ヲ要スルモノモアリマセウシ、又更ニ施設ヲシナケレバナラスモノモアリマスノデ、サウ云フ費用モ全部含メテ居ル譯デアリマス、具體的ニ買取りマス額ハマダハツキリ分リマセヌ

○小野(議)委員 此ノ質問ハ是デ終リマス

○添田委員長 河野君、此ノ際先程保留サレタ點ノ御質問ヲ願ヒマス

○河野委員 先程申上ゲマシタヤウニ是ハ緊急ヲ要スル問題デアリマスガ、當局ノ御調査ガマダ出來ナイヤウデアリマスカラ、斯ウ云フ席デ具體的ニ私カラ名前ヲ言ハヌ方ガ宜カラウト考ヘマシテ、實ハ差控ヘテ居タノデアリマス、併シ是モ全國農民ノ爲トアレバ已ムヲ得マセヌノデ、此ノ機會ニ惡イモノハ惡イト云フコトヲ全部明ニシテ真相ヲ申上ゲマス、先日私が申上ゲマシタノ

ハ深川ノ鈴鹿商店デアリマス、是ハ大臣御承知ノ通り我國ノ肥料界ヲ代表シテ政府ノ肥料政策ニ參與シテ居ル有力ナ人デス、此ノ鈴鹿君ガ他ノ二店ト共ニ、三店デ關東ニ於ケル加里ノ配給ヲヤツテ居リマス、而モ其ノ配給先ハ千葉縣、茨城縣ト云フヤウナ相當廣範圍ニ互ツテノ配給權ヲ持ツテ居リマス、加里會社モ此ノ鈴鹿商店ヲ通ジテ其ノ品物ヲ各縣ノ問屋ニ廻ハシテ居ルノデアリマス、然ルニ鈴鹿商店ハ農林省デ指定セラレテ居ル所ノ加里ノ公定價格ヲ上廻ツテ、茨城縣ノ問屋ニ卸シタ、ソコデ茨城縣ノ問屋モ其ノ公定價格ヨリ上廻ツタ價格デ、之ヲ直ニ下賣店ニ廻シタ、サウシテソレガ農家ノ手ニ廻ツタ、所ガ先日申上デマシタ通りニ、公定價格ノ決マツテ居ルモノヲ元賣捌アル所ノ中央ノ指定店ガ、ソレヲ上廻ツタ價格デ茨城縣ニ賣ツタノデアリマスカラ、茨城縣デハ非常ニ不審ニ思ツタ、ソコデソレハドウ云フ譯ダラウカト云フノデ、段々喧シクナツテ、此處ニ政府當局モオ居デデアリマスガ、其ノ間ノコトハ政府委員モ御承知ノ筈デアリマスガ、茨城縣カラモ政府ノ方ヘ御相談ニ見エタ筈デス、ソコデソレハ怪カラスト云フ譯デ、政府ノ方カラ喧シク叱言ヲ喰ツテ、鈴鹿商店ハ茨

城縣ノ卸問屋ニ對シテ公定價格ヲ上廻ツタダケノ差額ヲ戻シタ、所ガ茨城縣ノ卸問屋モ公定價格ヲ上廻ツタ値デ既ニ下賣店ニ賣ツテシマツテ居ツタカラ、ソレヲ貰ツテ刑務所ニ入レラレルノデハ大變ダト云フノデ、其ノ差額ヲ貰フノヲ斷ツタ、ソコデ先日私ガ申上デタ通りノ事實ガアルノデス、モウ一ツ更ニ別ノ事實ガアルガ、是亦同様ニ鈴鹿商店ノ例デアリマス、是ハサウ云フ風ナ被害ヲ受ケタ千葉縣ノ肥料店カラ、農林省ニ陳情書ヲ出シテ吳レト云フコトデ、私ノ手許ニ來テ居リマス、是ハマダ先日申上デタヤウニ鈴鹿商店ガ配合肥料取扱ヲシナイ爲ニ加里ヲ廻シテ吳レナイ、其ノ爲ニ自分ハ統制ニナル前ニハ是々ノ加里ヲ扱ツテ居ツタケレドモ、昨年二月以降幾ラ頼ンデモ鈴鹿カラハ加里ヲ全然廻シテ吳レナイ、ドウ云フ譯デサウナノカト云フコトノ喧シイ苦情ガ來テ居リマス、斯ウ云フヤウナコトハ極ク少量ノ加里ノ配給デモ、最モ圓滑ニヤラナケレバナラス際ニ、好キ好ミヲシテ此ノ商店ニハ廻スガ此ノ商店ニハ賣ラナイ、此ノ縣ニハ廻スガ公定價格ヲ上廻ツタ價格デ配給スル、尤モ政府デハ是ト是ト是ニヤラセルト云フコトデ關東デハ此ノ三店ニ決メテアル、此ノ中ノ一店ガサウ云フ風ナ不

正ナコトヲシテ居ツテ、ドウシテ一體公正ナル肥料ノ配給ガ出來マセウカ、事ハ簡單ナヤウデアリマスケレドモ、非常ニ重大デアリマス、斯ウ云フモノヲ見逃シテ居ル、其ノ事實ハ儼然トシテハツキリシテ居ルニ拘ラズ、當局ガ尙且ツサウ云フ店ニ配給ノ元賣捌ヲヤラシテ置クト云フコトハ、吾々ハ甚ダ怪訝ニ堪ヘヌデアリマス、他ニ適當ナ店ガナイナライザ知ラズ、又ナケレバ全部産業組合ニ廻スガ宜シイ、又肥料商ニ附シマシテモ、中央ノ他ノ肥料商カラ行クナラバ、何モ此ノ店ヲ通ジナクテモヤレル途ハ澤山アル筈デアリマス、更ニ又申上デマスナラバ、此處ニ商工省ノ當局モオ居デニナリマスケレドモ、鈴鹿君ガ別ニヤツテ居リマス全國肥料商聯合會——全肥商聯ヲ通ジテ配給スルコトモ出來ル、他ノ過燐酸デアリマストカ、硫酸ノ如キハ全肥商聯デ配給シロ、配給シロト云フコトヲ商工省當局ハ喧シク言ウテ居ラレル、商務局長モソレハ御存ジノ筈デアリマシテ、過燐酸ヤ硫酸ハ、全肥商聯ヲ通ジテ配給セヨト云フコトヲ要求シテ置キナガラ、加里ハ斯ノ如キ不正ナコトヲスル男ニ配給サセテ置クノハ何故カ、吾々ハ甚ダ怪訝ニ堪ヘナイ、斯ウ云フ事實ガアツテモ、亦一方ノ硫酸ヤ過燐

酸ハ全肥商聯ニヤレ——ト言ツテ主張サレナガラ、加里ハ斯ウ云フ不正ノ事實ノアル者カラ取上ゲナイデ、斯様ニ依然トシテヤラシテ置クトハ、何カ裏ニハ裏ガアルノデハナイカト思ハレテモ仕方ガナカラウト思フ、辯明ノ餘地ハナカラウト思フ、此ノ事實ハ昨日ヤ今日アツタ事實デハナイ、一箇月二箇月前ニアツタ事實デハナイ、其ノ後モ引續イデ色々ノ方面カラ色々ノ「デマ」ガ飛ンデ居ル、今日非常ニ貴重ナル肥料、其ノ肥料ノ配給ニ當ツテ斯ノ如キ不正不徳漢ノ居リマスルコトハ、甚ダ吾々ハ遺憾ニ堪ヘヌデアリマス、斯ノ如キ者ガ居リマスルカラ肥料商ハ不正ダ、肥料商ハ惡イト云フコトデ、全國ノ肥料商ガ迷惑スルコトハ洵ニ甚大デアリマス、如何ニ商工省ト雖モ惡イ者ハドン——處分サレルガ宜シイ、唯味喰モ糞モ一緒ニシテ商人保護ヲスルダケガ商工省ノ建前ダト云フヤウナコトヲ考ヘラレルコトハ、眞面目ナ肥料商ガ甚ダ迷惑ニ思フノデアリマス、此ノ事實ヲ私ガ此ノ場ニ於テ指摘致シマシタ以上ハ、速ニ之ニ對スル適當ナル善後處置ヲ講ゼラレンコトヲ私ハ要望スル者デアリマス、大臣ノ御所見ヲ御伺致シマス、

○小濱政府委員 過去ノ經過ヲ申上ゲマス、

御承知ノ通り加里ハ歐洲ノ「シンデケート」ガ一手ニ日本ニ入レテ居リマス、其ノ入レル取扱店トシテ日本加里株式會社ガ出來テ居リマス、其ノ日本加里株式會社ハ歐洲ノ「シンデケート」ノ販賣店ノヤウナ形ニナツテ居リマスガソレガ日本ニ加里ヲ一手ニ供給致シテ居リマス、ソレデ從來ハ加里ヲ賣リ擴ゲヤウト云フ關係ニ立ツテ居ツタト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ代金ノ取立ニ責任ヲ負ハセルト云フヤウナ意味モアツタト考ヘマスガ、數箇ノ特約店ヲ決メマシテ、其ノ特約店ハ更ニ各業府縣ニ第二次ノ特約店ト云フモノヲ置イテアリマス、ソレデ加里ノ價格ハ幾ラ入レルカト云フコトハ加里會社ガ内地ニ持ツテ參リマス時ニ報告ヲ取ツテ居リマス、ソコデ加里會社ノ決メテ販賣價格ニハ、第一次及ビ第二次ノ特約店ニ於ケル手數料ヲ含メテ價格ヲ決メテ居リマス、隨ヒマシテ加里會社ノ定メテ價格ト云フモノハ第二次ノ特約店ニ於テ賣ル最後ノ價格ヲ指シテ居ル譯デアリマス、ソレデ只今御指摘ニナリマシタ鈴鹿商店ナルモノガ、茨城縣下ニ第二次ノ特約店ニ賣ルニ當リマシテ、其ノ價格ヨリモ高ク賣ツテ居ルト云フコトノ事實ガアツタ譯デアリマス、其ノ事ヲ聞キマシテ、加里會社ノ方ニ、ソレハ能

タ監督ヲシナケレバイカヌデヤナイカト云フコトヲ申シテ置キマシタ、ソレデ加里會社ノ方ハ鈴鹿商店ニ向ヒマシテ、自分ノ方ノ決メテ價格ト云フモノハ第二次特約店ノ手數料ヲ含シテ居ル筈ダ、然ルニアナタノ店賣ツタモノハソレヨリモ高クナツテ居ル、其ノ高クナツテ居ルモノダケハ返シテ貰ヒタイト云フコトヲ交渉ヲ致シタヤウデアリマス、ソレデ鈴鹿商店デハ第二次ノ特約店ノ手ニマダ荷ガアリマシテ、農家ニ配給シテ居ラヌ部分ニ付キマシテハ、幾分返シタヤウデアリマス、既ニ第二次特約店カラ農家ニ配給濟ノモノニ付キマシテハ、個々ノ農家ヲ訪ネテ差金ヲ返シテ廻ルト云フ譯ニハ參ラヌモノガアルト云フノデ、是ダケノモノハ返ス譯ニハ行キマセヌデシタ、ソレハ日本加里會社デ然ルベク處分願ヒタイ云フノデ、加里會社ノ方ニ其ノ差額ノモノヲ持ツテ參ツタノデアリマス、ソレデ加里會社ハ肥料課ノ方ニ參リマシテ、斯ウ云フコトデアリマスガ、是ハ一體ドウシマセウカ、ト云フ相談ヲ受ケタノデアリマス、ソレデ個個ニ賣リマシタ農家ニ一々返ス譯ニハ行カヌト云フ點ニ付テハ、是ハ仕様ガナイ部分ガアル、就テハ是ハ茨城縣當局ト相談シヤウト云フノデ、茨城縣當局ト相談ヲ致シマ

シタ、是ハ茨城縣ニ於キマシテ農家ノ利益ニナルヤウニソレヲ使ツテ貰ヒタイ、斯ウ言ツテ茨城縣ノ當局ト話ヲ致シマシタ、縣當局デハ、ソレデハ其ノ通り使フヤウニ致シマセウト云フノデ、加里會社ガ茨城縣ニソレヲ寄附ヲ致シマシタ、サウシテ茨城縣デ農家ノ利益ニナルヤウニ之ヲ使フ、其ノ價格ハ千何百圓デアツタト思ツテ居リマス、サウ云フコトニ致シタノガ過去ノ一ツノ事實デゴザイマス、サウシテ加里會社ハ從來内地ニ加里ヲ賣リマス一手賣店トシテノ作用ヲ致シテ居リマシタガ物資ガ段々窮屈ニナリマシテ、國內ニ於ケル加里ノ配給ノ統制ヲヤラナケレバイカヌト云フコトニナリマス、此ノ加里會社ヲ通ジマシテ國內ニ於ケル加里ノ配給ノ統制ヲ執ツテ行クト云フコトニ相成ル譯デゴザイマス、加里ヲ輸入致シマス場合ニハ許可ヲ受ケサセルコトニシ、且ツ輸入致シマシタモノハ、何處々々ニドウ云フ風ニ是ハ配給スル積リダト云フコトニ付テ政府ノ許可ヲ受ケサセルコトニ致シテ居リマス、隨ヒマシテ加里ガ入ツタモノニ付テハコチラノ方デ、何縣ニ幾ラ、何縣ニ幾ラト云フ風ニ配給ヲシテ貰ヒタイト云フヤウナ御話合ヲ致ス譯デアリマス、左様ニシテ其

ノ縣デ消費セラレルベク仕向ケテ、特約店ニ賣ラセル譯デアリマス其ノ特約店ガ甲ノ縣ニ向ケラレテ居ルモノヲ乙ノ縣ニ向ケテ見タリ致シマスノデハ、配給ノ實ヲ舉ゲル譯ニハ參リマセヌカラ、加里會社ヲ喚ビマシテ、加里會社ガ政府ノ加里ノ配給統制ニ完全ニ協力シテ貰ヒタイ、アナタノ方デ政府ノ意ヲ體シテ配給ノ統制ガ出來ナイト云フコトデアアルナラバ、別途ニ加里ノ配給ニ關スル機關ヲ茲ニ作ラナクテハナラヌト云フコトニナルカモ知レヌ、併シ加里會社ガ政府ノ趣旨ヲ體シテ、地方ニ偏在スルコトノナイヤウニ、配給ガ出來ルト云フコトニナルナラバ、暫ラク中樞機關トシテアナタノ方ニ御任せ致シテモ宜シイト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ點ハドウデスカト云フコトヲ念ヲ押シマシタラ、政府ノ趣旨ヲ體シテ御命令ニ從ツテ配給ヲ致シマス、斯ウ云フコトデアツタノデアリマス、ソレデ其ノ點ヲ能ク話ヲシマシテ、從來加里會社カラ特約店ニ頒チ、特約店カラ更ニ第二次特約店ニ頒ツ場合ニ於キマシテ、各々ノ縣ニ幾ラト云フ風ニ、計畫ヲサレテ居ル通りニ配給ヲシナイト云フヤウナコトガアレバ、是ハ別箇ノ方法ヲ考ヘナケレバイカヌ、ソレカラ又從來決メラレテ居ル價格、即チ配

給手数料ヲ含シタル價格以上ニ賣ルト云フコトニナルト、是モ一ツ別箇ニ配給機關ヲ考ヘナクテハナラヌヤウナコトニナルカモ知レナイ、其ノ點ニ付テハ十分ニ一ツ監督ヲシテ貫ヒタイト云フノデ、加里會社ニ對シマシテ特約店ニ對スル加里鹽ノ配給ニ當ツテ地方ニ於ケル所定ノ取引價格履行其ノ他ニ關シ、重ネテ嚴重警告セラレルコトハ勿論、特定道府縣ニ仕向ケラレル商品ハ、當該道府縣以外ノ地方ニ販賣セラレルコトノナイヤウニ、適當ノ條件ヲ付スル等ノ方法ヲ講ジテ、場合ニ依ツタナラバ、違反シタ者ニ付テハ將來ハ取引ヲシナイト云フヤウナ條件ヲモ附ケテ、嚴重ニ監督ヲシテ貫ヒタイ、斯ウ云フコトヲ加里會社ニ重ネテ警告ヲ致シマシタ、斯ウ云フ風ニ加里會社ニ警告ヲシテ、加里會社モサウスルト言ツテ居ルカラ、各地方長官ニ於カレマシテモ加里ノ配給ニ付テハ其ノ旨ヲ能ク御諒承願ツテ、管下ニ於ケル加里配給ニ付テ間違ツタコトノナイヤウニ監督ヲシテ貫ヒタイ、斯ウ云フコトヲ各地方長官ニモ通牒ヲ致シテ居ル次第ゴザイマス

○河野委員 御答辯ヲ伺ヒマス、中々旨ク仰シヤイマスケレドモ、サウ云フ馬鹿々々シイ答辯ト云フモノハ私ハアルモノデハナイト思フ、指摘スレバ簡單デス、一體此ノ鈴鹿ハ茨城縣ニ賣ツタ値段ト他ノ配給區域ニ賣ツタ値段ト同値段デ賣ツタカドウカ、善意ノ間違ヒデ茨城縣ニ高ク賣ツタ、第三次配給手数料ノ入ツテ居ルコトヲ知ラナイデ賣ツタカノ如キ御答辯デアル、善意ノ間違ヒナラバ私ハ敢テ咎メルノデハナイ、今農務局長ノ御答辯ニ依リマス、ソレハ善意ノ間違ヒダ、第二次配給手数料ノ入ツテ居ルコトヲ知ラナイデ茨城縣ニ賣ツタノダ、所ガソレハ偶、日本加里ノ方デ第二次配給手数料ヲ入レテ居ルノダカラ、ソレダケ高過ギタ、間違ヒダト云フコトデソレヲ返シニ行ツタト云フノナラバ、私ハ此處デ農林大臣マデ煩ハシテ大キナ聲ヲ出シテ言フ筈ハナイ、何モ惡イ事ヲシナイ者ヤ善意デ間違ヘタ人ヲ惡口雜言スルヤウナコトハ私ハシナイ、今アナタノ御答辯ヲ聽ケバ、鈴鹿ニ關スル限り、鈴鹿ハ茨城縣ダケガ配給地域デハナイノダカラ、外ヘモ皆サウ云フ間違ヲシテ居ルノナラ、成程是ハ間違ヒダト云フ風ニ善意ニ取ル、茨城縣ダケサウ云フ間違ヲシテ居ルノガイケナイト思フ、左様ニ隙ガアレバインチキヤ胡麻化シヤアルト云フ事實ハ歷々トシテ居ル、マサカ農林當局デモソレ程人ガ好イ譯デハナカラウト思フ、

又國策ニ順應シテ政府ガ最小限度ノ肥料ヲ輸入シテ配給ヲスルト云フ以上ハ、今御示ノヤウナ條件ハ最初カラ附ケラレナゲレバナラヌ筈デス、特定ノ商人ニ配給ヲサセル以上ハ、是レハ非常ニ必要ナル資源デアル、シテ見レバ其ノ配給ニ付テ萬々過チガアツテハ相成ラスト云フ譯デ、民間ノ會社ニ任ス以上ハ、其ノ配給ノ監督ニ付テ最初カラ今御示ノヤウナコトヲヤラナケレバナラヌ筈ダ、ソレガナカツタスレバ怠慢モ甚ダシイモノデアル、又同時ニサウ云フ當局ノ監督ガナク、御示ガナクデモ、自分ガ國策ニ順應シテ其ノ重要ナ業務ヲ果ス以上ハ、斯様ナ間違ガアツテハナラスト考ヘル筈デアル、加之、間違ガアツテカラ後ニモ、ウロ／＼ト農林省ニドウシヨウカト相談ニ行ツタ所ガ何トカ彼トカ相談ヲ受ケタ農林省モ、ドウシタラ宜イカ非常ニ困ツテ、成ベク此地方ヘ寄ツテ呉レルナト云ウテ、茨城縣ノ縣廳ニ持ツテ行ツタト云フコトデアル、餘リ話ガ馬鹿々々シ過ギル、ソレヲ此ノ場ニ至ツテマダ辯護サレルト云フコトハ、私ハ斷ジテ許セスト思フ、アナタ方自身御考ヘニナツテ、サウ云フ辯護ガマシイコトハ仰シヤラヌ方ガ宜カラウ、素人ガ聞イテ居ツテモ分ルコトデス、私ハ

餘リ言フト深刻ニナリ過ギルカラ、此ノ程度ニシテ置キマスケレドモ、サウ云フヤウナ答辯ハナナラヌ方ガ宜カラウト思フ、ソレデハ茨城縣ノ方ニ賣ツタ賣ラナイト云フ話ハドウ言ツテ御答辯ニナル、是ハ儼然タル事實ガアル、而モ尙且ツ加里ノ配給ハ不正不公平ガナイト言フナラバ、全國カラ材料ヲ集メテ此處ヘ持出シテモ宜イ、ソレデモ尙ホ當局ニ於テハ加里ノ配給ハ適當ニセラレテ居ルト言ハレル確信ガ有リニナリマスカ

○小濱政府委員 別ニ辯解ヲ申ス譯デハアリマセヌガ、唯一言、私ハ善意デ誤ツテヤツタト云フ風ニ御答申シタ積リハゴザイマセヌ、鈴鹿商店ガ茨城縣下ニ高ク賣リマシタノハ販賣手数料ガ入ツテ居ルコトヲ知ラナイデヤツタト云フ風ニ申上ダタ積リハゴザイマセヌ、是ハ明ニ知ツテヤツタモノト思ヒマス、ソレデ加里會社ノ方カラ鈴鹿商店ノ方ニ掛合ヒマシテ、鈴鹿商店ハ怪シカラヌデハナイカ、其ノ差額ノモノハ決濟ヲシロ、斯ウ云フコトヲ加里會社ノ方カラ申渡シマシテ、第二次特約店ニ對シテ返セルモノハ返シ、返セナイモノニ付テハ、是ダケノ返セマセヌ分ハ加里會社ニ提供致シマスと言ツテ提供致シタノデゴザイマシテ、私ハ手

數料が入ッテ居ルト云フコトヲ知ラナイデヤツタト云フ意味デ申シテ居ルノデハナイノデアリマス、鈴鹿商店ノ此ノ違反ニ付テハ決シテ善意デアルトハ思ツテ居リマセヌ

○河野委員 善意デナイナラバ、一體サウ云フ闇取引ノヤウナコトヲヤルヤウナ男ヲドウシテ其ノ後モ引續イテ特約店ニシテオ置キニナルカ、サウ云フコトヲヤツテモ、ソレデモ尙且ツサウ云フヤウナ者ヲ斯ウ云フ統制ノ時代ニ中心ノ配給系統ニ入レテ置イテ、一遍ハ間違ツタケレドモ、是カラハ間違ハヌカラ宜イ、是カラハ間違ハヌ、是カラハ間違ハヌト云フヤウナコトデ何デモヤルナラバ、何處ニモ犯罪ト云フモノハナイ筈ダ、斯ウ云フコトヲ私が先程申上ゲタヤウナ間違ノアツタ者ニヤラレテ置カヌデモ宜シイデハナイカ、一遍デモ間違ツタ男ハ止メサセタラドウダ、斯ウ云フ統制ノ時代デ、誰デモ品物ガナクテ困ツテ居ル時代ダカラ、サウ云フ困ツテ居ルノニ乗ジテ金儲ケヲスルヤウナ不徳義ナ男、背徳ノ男ニ、ソレデモ政府ガ配給ヲヤラシテ置クコトハ宜シクナカラウ、斯ウ云フコトヲ私ハ申上ゲテ居ル、是レ以上申上ゲヌデモ、大臣ハ此ノ問答ヲ御聽キニナツテオ居デニナレバ、アトハ爲スベキコトハ當然決ツテ居ルト思

フ、大臣ニ速ニ善處セラレンコトヲ御願致シマシテ、私ハ餘リ諄クナリマスカラ此ノ邊デ止メテ置キマス

○添田委員長 大石君

○大石委員 私ハ農林大臣ニ御尋ラシタイノデゴザイマスガ、本米穀配給統制法案ヲ拜見シ、又大臣ノ本會議ニ於ケル説明、且ツ質問ニ對スル御答辯ヲ拜聽シ、又數日間ニ互ル各委員諸君ノ熱心ナル質問ニ對シテ、是亦丁寧懇切ナル御説明ヲナサツテ居ラレハルノデアリマスガ、私ハ不幸ニシテ毎此ノ委員會ニ出席スルコトガ出來ナカツタノデアリマシテ、直接伺ツタ所モアリ、又速記録ニ依ツテ拜見致シタ所モアルノデアリマス、ソコデ或ハ私ノ思ヒ違ヒモナイデハナイト思ヒマスケレドモ、サウ云フ質問應答、或ハ御説明ヲズツト綜合シテ見マシテ、本案提出ノ必須條件、寧ロ何故ニ斯様ナ時代ニ斯様ナ案ヲ出サネバナラナカツタカト云フ根本的ノ理由ヲ、私ハ認メ兼ねテ居ルコトヲ遺憾ト致ス者デアリマス、本案提出ノ理由トセラレマシテハ「平時戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミ米穀ノ圓滑ナル配給ト適正ナル價格ノ構成ヲ圖ル爲」斯ウ言ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ法案ニ依ツテ此ノ目的ヲ完全ニ達成ヲセラルルカ否カニ非

常ナ疑問ガ起ルバカリデハゴザイマセヌ、我國殆ド千數百年ニ互ル長イ經驗ト、其ノ他色々ナ關係ヲ持ツテ今日ニ至リマシタル所ノ配給機關、其ノ配給機關ヲ現在施行シテ居ル所ノ米穀ニ關スル諸法律、或ハ規則、或ハ勅令、命令、斯様ナモノヲ十分ニ發動致シマシタナラバ、態、本法案ヲ成立セシメテ配給ヲ圓滑ニシ、價格ノ適正ヲ圖ルルマデモナク、完全ニ配給ノ圓滑ヲ圖リ適正ナ價格ノ構成ヲ爲シ得ルト信ズルノデアリマス、平沼内閣ガ組閣ノ當初ニ一番強ク國民ニ呼掛ケラレタモノハ、申スマデモナク國民ノ總親和デアリマス、即チ國內ニ於ケル所ノ一切ノ相剋摩擦ヲ解消シテ、全クノ國民ノ物心兩面總動員、總力ヲ一致發動シテ東亞ノ再建設ニ當ラルルト云フコトヲ言ツテ居ラレルノデアリマス、隨テ政治上ニ現ハレル所、政府ノ施設ニ關スル所、何レモ此ノ大方針ニ基イテ施設セラレネバナラスモノデアルト信ズルノデアリマス、然ルニ米穀ノ取扱ニ關シマシテハ、數年來或ハ政府ト商人ノ間ニ兎角摩擦相剋ヲ避クルコトガ出來ナイ歴史ヲ持ツテ今日ニ至ツタ譯デアリマス、先年米穀自治管理法案ガ議會ニ現ハレマシタ最初ノ時ニハ、全國米穀業者ヲ初メ、非常ナ多數ノ反對ガアリ、

議會ニ反映ヲ致シマシテ

(委員長退席、田中委員長代理著席)

遂ニ審議未了ニ終リ、後改メテ調和ヲ圖ラレ、再提出ヲセラレテ、辛ウジテ通過ヲ致シタ、今同モ此ノ法案ヲ提出スル以前ニ當リマシテ、國內ニ相當ノ強キ反對ノ意見ガアリ、政府當局、聰明ナル農林大臣モ其ノ事ハ能ク知ツテ居ラレタ筈デアリマス、曩ニ前内閣ニ於テ案ヲ作ラレルニ當リマシテハ、現在議會ニ提出セラレタモノトハ餘程趣ヲ異ニシテ居ツタト思ヒマス、名前ハ圓滑ナル配給ヲシ、適正ナル價格ノ構成ニアルトハ申シナガラ、實質ハ此ノ米穀統制法デアルトカ、或ハ米穀自治管理法デアルトカ、種々ナル所ノモノガ近年矢繼早ニ提出セラレマシタルコトニ依リマシテ、或ハ米穀業者、或ハ米穀取引所、或ハ其ノ取引ニ從事致シテ居リマスル所ノ取引員、ソレ等ノ打撃、ソレ等ノ窮境ニ陥リツツデアリマスルコトハ認メラレルノデアリマス、是等ノ者ヲ救済セネバナラヌト云フ事實モ其ノ間ニ存在シテ居ル、隨テ廢止セラルベキ取引所ニ對シテ、相當ノ賠償ヲ行ハネバナラヌト云フコトガ認メラレル、其ノ建前ニ依ツテ、日本米穀株式會社法案トシテ提案セラ

ニ於ケル反對、相剋摩擦、ソレヲ幾ラカデモ調和セラレントシテ、ソレ等ノ賠償ニ關スル總テヲ除キ、サウシテ名前ハ米穀配給統制法トシテ御出シナラレタノデアル、而モ此ノ法律ノ施行運用ニ當ツテモ、效果効力ヲ豫想致シテ見マスルト、何等ノ權威何等ノ效果ガ舉ラナイデナイカ、唯徒ニ相剋摩擦ヲ醸成スルニ終リハシナイカト云フ感ヲ懷クノデアリマス、寧ロ此ノ際農林大臣ハ審議未了等ニ終ルコトモゴザイマスマイ、ソレノ御確信モアルコトトハ存ジマスガ、更ニ再檢討ナサル御意見ヲ御持チニナラスカ、之ヲ御同致シタイ

○櫻内國務大臣 只今大石サンカラ總親和ノ時代ニ於テ物議ノアル本案ヲ提出シテ、而モ本案ガ十分徹底シタル案デナイカラ、更ニ再檢討スル意思ガアルカナイカト云フ風ナ御尋デアリマスガ、私ハ入閣ノ初メニ當リマシテ、前大臣カラ日本米穀株式會社法案ノ原案ト云フモノニ付キマシテ、話ヲ承ツタノデアリマス、併シナガラ當時既ニ世ノ中ニ問題トナツテ居リマシテ、相當問題ガアルヤウデアリマシタ、故ニ私自身ト致シマシテハ、若シ本案ヲ出サズシテ適當ナル對策ガアリマセウナラバ、本案ノ提出ハモウ一年研究シテ見タイ、只今大石サン

ノ御話ノ如キ考ヲ持ツタノデアリマス、而シテ靜ニ研究ヲ致シテ見マシタ結果、若シ本案ヲ提出致サナイ場合ニ於テ、果シテ日本ノ米穀政策遂行ニ於テ遺憾ナキヲ得ルヤ否ヤ、斯ノ如キコトヲ豫想シテハ相成リマセスケレドモ、一朝本年ノ米作ノ不作ガ豫想セラルルヤウナ狀態ガ起ツテ、米價ノ激變ガ起ルト云フ風ナ狀態ガ起ツタナラバ、如何様ニナルデアラウカ、又此ノ儘ニ放置シテ置イテ、果シテ米穀ノ圓滑ガ期シ得ルデアラウカドウデアラウカ、可ナリ私ハ冷靜ニ研究ヲ致シタノデアリマス、其ノ結果、ドウシテモ一面ニ於テ米穀ノ生産増加ヲ確保致スコトガ必要デアルト云フコトヲ確信致シマス同時ニ、米穀ノ配給ヲ圓滑ナラシムルコトハ、絶對的必要デアルト云フ信急ヲ得タノデアリマス、故ニ本案ニ對シマシテハ、米穀業者ノ一部ニ於テモ有力ナル反對ガアリマシタ、又私ガ非賠償主義ニ依ツテ取引所ヲ措置致スト云フコトノ意見ガ世間ニ漏レマスヤ、取引所側カラモ猛烈トシテ反對ガ起リマシタ、併シナガラ私自身ノ見地カラ言フト、國家ニハ代ヘラレナイ、日本全國民ノ生活ヲ安固ニスル、此ノ見地カラ致シテ、ドウシテモ米穀ノ圓滑ナル配給ヲ期サナケレバナラナイ、豫テカラ申上ゲマ

ス通り、本年ノ米穀ノ現在ノ需給關係ハ、一月ニナツテノ報告ニ依リマス、豫想致シマシタヨリハ百七十餘万石増加ヲ致シマシテ、今日ハ九百二十二万石端境期ニ於テ繰越シ得ルト云フ實情ニナツテ居リマスケレドモ、併シ是ガ万一部ニ偏在スル、是ガ普遍的ニ配給ヲ圓滑ニサレテ居ルナラバ何等消費上差支アリマセスケレドモ、一部ニ偏在致シタトキニ、現在ノ法律機構ニ於テハ何トモ出來ナイノデアリマス、勿論左様ナ場合ニ於テ、總動員ノ發動モ豫想サレノデアリマセウ、併シナガラ非常多數ノ人ガ今日米穀ヲ取扱ツテ居ル、所有シテ居ル此ノ場合ニ於テ、全國一齊ニ徵兵命令ト云フガ如キモノガ出ルト云フコトニナリマシタ、是ハ容易ナラヌ騷動デアリマス、ソレヨリハ總テノ人ガ米價ニ對スル所ノ目標ガキチント定ツテ居ツテ、サウシテ日本國現在ノ米穀ノ在、米穀ノ需給關係ガ明瞭ニナツテ居リマシテ、少シモ不安ガナイト云フコトニナツテ居リマスナラバ、茲ニ圓滑ナル所ノ配給ガ出來ル、斯ウ考ヘタノデアリマス、即チ現在ノ米穀取引ノ中樞機關ト申スノハ如何カト存ジマスガ、世間デ以テ目標ト致シテ居ル所ノ米穀取引所ノ今日ノ取引狀態ヲ見マス、私カラ言フト甚ダ失

禮デアリマスケレドモ、投機取引ガ主眼トナツテ居リマス、若シ從來ノ日本ノ米穀政策ノ上カラ申シマスナラバ、大石サンモ御承知ノ如ク、最高最低ガ決マツテ居ツテ、最高ニナツタ場合ニ於テハ政府ハ自分ノ持米ヲ賣出ス、先ヅ第一是ダケデ押ヘ得ルデアリマセウ、若シソレガ尙ホ不足ノ場合ニ於テハ、外國米ヲ買ツテ補給ヲ致スト云フコトモ補出來得ルノデアリマス、故ニ假ニ一部ニ偏在シテ居リマシテモ、政府トシテ此ノ米穀ノ配給ヲドウナリ斯ウナリ補ツテ行ク、消費者ニ迷惑ヲ掛ケズニ行クト云フコトノ方法ハ執リ得ルノデアリマス、併シナガラ現在ノ狀態ニ於キマシテ、若シ政府ノ米ヲ賣出シテモ最高ノ價格ト云フモノガ押ヘラレナカツタ、斯ウ云フ場合ニ於テドウナルカ、此ノ場合ヲ考ヘマシタ時ニ、深ク注意ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、而モ尙ホ眞ニ日本國內ニ於ケル米ガ足ラズシテ、更ニ突破シテ行クト云フコトデアアルナラバ、是ハ政府ハ如何ナル方法ヲ講ジマシテモ外國カラ購入シテ之ヲ補給シナケレバナリマセヌ、今日ト致シマシテハ國際貸借ノ關係上外國カラ米穀ヲ入レテ補充スルト云フコトハ、可ナリ國トシテハ困ルコトデアリマスケレドモ、生活必需品デアリマ

ス故ニ、例ヘバ代用品ヲ用ヒテ之ヲ補フ、或ハ補ヒ得ザル部分ニ付テハドウシテモ買ツテ入レナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ國內ノ需給關係ハ、米ハアル、

〔田中委員長代理退席、委員長著席〕

アルノデアリマスカラ其ノ配給ガ圓滑ニ行キサヘスレバ宜シイノデアル、茲ニ於テ米穀ノ配給ヲ圓滑ニシテ米ノ偏在ヲ防グト云フコトガ一ツト、ソレカラ所謂投機取引ニ依ル所ノ目標ノ價格デナクシテ、實需ニ基ク所ノ價格、之ヲ拵ヘルト云フ事柄ガ、此ノ米穀問題解決ノ上ニ於テ最モ必要デアツテ、是ハ生産者トシテモ、亦消費者トシテモ、此ノ實需ニ基ク所ノ公正ナル價格ト云フモノヲ拵ヘルト云フコトガ最モ必要デアル、斯様ニ考ヘマシテ即チ第五條以下、市場ヲ設ケテ、サウシテ實需ニ基ク取引ニ依ツテ公正ナル價格ヲ拵ヘルト云フコトヲ主眼ト致シマシテ拵ヘマシタ、同時ニ全般ノ米穀業者ヲシテ安ンジテ其ノ業ニ從事セシムルト共ニ、又國家ノ統制ノ下ニ置イテ、常ニ其ノ指導ノ下ニ置イテ、一朝非常ノ場合ニ於テ配給ヲ爲シ得ルダケノ順序ヲ取ツテ置ク必要ガアツタノデアリマシテ、第一條カラ第四條ニ至ルマデノ條項ヲ加ヘタノデアリマス、唯本法案ニ依ツテ市場ガ設ケラレ

タ、其ノ市場ガ日本米穀統制株式會社ノ管理ニ屬シマシテ、其ノ結果トシテ取引所ガ廢止セラレルト云フコトニナリマス故ニ、取引所ノ廢止ニ對シテ適當ナル措置ヲ執ルノ必要ガアツテ、本法案ニ書イタヤウナ措置ヲ執ツタノデアリマス、此ノ法案ニ付テハドウカ私ノ微意ノアル所ヲ御諒承下サツテ御審議ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス

○大石委員 農林大臣ノ誠意ノアル御答辯ニ對シテ敢テ私ハ彼此レ申シタクナイノデアリマス、折角ノ御説明デアリマスケレドモ、私ハ本案ヲ以テ大臣ノ理想トセラル、所ノ、一朝豫想シテモナラヌト云フヤウナ場合ガアツテ、米ガ國內ニ在リナガラ一方ニ偏在シテ、需給ノ關係ガ圓滿ヲ缺イタト云フ時ノ爲ニ本法案ヲ提案セラレタト云フ御意見デアリマスガ、然ラバ何故ニ一歩進ンデ米ノ專賣、政府管理ヲオヤリニナラナイカ、唯國策會社ヲ設ケテソレ等ニ御任セニナルヤウナ御方針ヲ採ラレタカ、又今日マデ米穀取引所ノヤツテ來タ取引ハ、總デ米ノ取引ヲ擔當シテ居ツタモノデハナクシテ、其ノ一部分ヲ擔當シテ居ツタニ過ギナイ、唯一ツノ公定相場ト云フヤウナ價格ヲ造ルガ主デアリマシタ、近來ノ取引所ノ機能ト云フモノハ米穀統制法ガ實施セラレ、

自治管理法ガ實施セラレテ以來、其ノ圓滑ナル發揮ガ出來得ナイデ、年々萎靡不振ノ狀態ニ陥ツテ參ツタコトハ言フマデモナイコトデアリマス、而モ全國ノ米ノ大部分ヲ扱ツテ居リマスノハ、所謂全國ニ散在致シマス所ノ米穀業者、或ハ卸賣業、或ハ小賣商人デアル、ソレ等ノ者ガ大部分ノモノヲ扱ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ唯取引所ヲ對象トシテ總テノ日本ニ於ケル所ノ配給機關ガ代表セラレタ如キノ御考ハ、少々私ノ考ト違フ點デアルト思フノデアリマス、左様ナ非常ノ場合ニ際會スル御考ヲ以テ之ヲ御造リニナルナラバ、寧ロ此ノ際政府專賣ニセラレテ宜イ筈デアル、米ノ專賣ハ長年唱ヘラレテ居ル所デアリ、朝野ニ於テ研究ヲセラレテ居ル所デアリマス、此ノ會社ノ機能ハ市場ヲ中心トシテ、實米取引ヲ原則トシテ、ソレニ未著物ノ十五日間ノ延ヲ認メ、又一部ノ延取引ヲ認メテ居ル、斯ウ云フノデアリマシテ、法ノ建前ハ實米ノ取引ヲ原則トシテ居ルコトハ勿論デアリマス、然ルニ市場外ニ於テ自由ニ賣買ガ出來ル、又其ノ市場ニ於テ全國ノ米ノ配給ガ圓滑ニヤレルト云フ程ノ機能ヲ持ツモノデハナイ、唯法律ノ中ニ命令ヲ以テ、或ハ勅令ヲ以テ、此ノ偏在ヲ防ギ得ル機能ノ出來マスコト

ハ、法律ノ力ニ依ルモノデアラウトハ思フノデアリマスケレドモ、併シナガラ左様ノ非常ノ場合ニ於キマシテ極端ナ賣惜ミヲシタリ、極端ナ密藏同様ノ隱シダテマスルト云フヤウナ國民ハ、我國ニハ餘リ居ナイデハナカラウカ、殊ニ統制法、自治管理法ガ實施セラレマシテ以來、米ノ價格ノ移動ガ幅ガ少クナツテ居リマス、此ノ法律ガナカツタ時代ニ於ケル取引ト云フモノハ、確ニ一時間二時間ノ爭ニ依ツテ非常ナ價格ノ變動ヲ來シ、投機ノ關係ヲ生ジテ居ツタノデアリマス、ケレドモ近年取引所ニ於キマシテモ、亦全國ノ米穀ノ取扱業者間ニ於キマシテモ、値幅ト云フモノハ非常ニ接近ヲシマシテ、殆ド投機ノ取引ト云フモノノ跡ヲ絶ツタト申シテモ差支ナイ今日デアリマス、サウ云フヤウナ値幅ノナイ時ニ於キマシテハ、假令多少ノ凶作ガアリマシテモ、左様ナ一方ニ偏在シテ、需給ヲ圓滑ヲ阻碍スルト云フ程度ニハ至ラナイダラウト思フ、サウ云フ場合ニ於キマシテコソ、此ノ米穀ニ關スル法律バカリデナク、色々ナ法律ガ出來テ居ルノデアリマスルカラ、是等ヲ發動致シマシテモ、決シテ徵發等ノ非常手段ニ依ラナクテモ、出來得ルコトト思フノデアリマス、然ルニ只今此ノ法律案ヲ御出シニナ

リマシタノデ、全國ノ米穀業者ハ、或ハ東京ニ、或ハ地方ニ大會ヲ開イテ反對ヲ致シテ居ル、取引所關係ノ者モ亦非賠償方針ニ非常ナ反對ヲ致シテ居ル、此ノ業者ト雖モヤハリ日本國民デアリ、又我國ニ於ケル所ノ配給機關トシテ、賣買機關トシテ相當ニ國家ニ貢獻ヲシ、殊ニ近年値幅ガ少クナリマシテ以來、其ノ利潤、其ノ手数料ト云フヤウナモノモ、極メテ少額ニナツテ參ツテ居ルノデアリマス、是等ヲ犠牲ニシテモ國家ニハ換ヘラレナイト云フ程度ノモノニハナツテ居ラスデハナイカト思フノデアリマス、併シ非賠償主義ガ取引所ノ非常ナ猛然タル反對ヲ起シタガ、近來ハ治マツテ居ル、ソレハ名目ニ於キマシテ非賠償デアリマシテモ、實質ニ於テハ一種ノ賠償ヲ或ハ何處カニ潜メテ居ルノデハナイカト、彼等ガ安心シテ居ル爲デアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテ大臣ハ寧ロ此ノ議會ニ於ケル言論、或ハ院内ニ於ケル空氣等ヲ御察シナサイマシテ、此ノ際寧ロ潔ヨク再檢討ニ出ラレタラ如何デアラウト、重ネテ御尋ヲ致シタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 大石サンノ御意見デアリマスケレドモ、私ハ少シク見方ガ異ツテ居ルノデアリマス、不圓滑ニナツタ時ニドノ

法律ヲ適用シテ宜シイノカ、自分ニ今日デハ見出シ得ナイノデアリマス、ソレカラ取引所ノ方ガ治マツタヤウナ傾キガアルノハ、何等カ賠償ヲ云々ト云フ御話デアリマシテ、是ハ要スルニ取引所ノ財産ヲ此處デ買フ、是ガ此ノ市場ニ於テ利用サレルト云フノデアツテ、而モ其ノ價格ハ正當ナル官民デ拵ヘタ委員會ニ於テ審議サレルノデアリマシテ、唯此ノ會社ノ株券ヲ優先シテ、任意ニ持テ得ルト云フコトガ特權デアアルノデアリマス、ソレハ此ノ市場ノ出來マス結果ナクナルノデアリマスルガ故ニ、其ノ株式ヲ優先的ニ持ツコトヲ認メルト云フヤウナ事柄ハ、適當ナル措置デアアラウト思ツテ居リマス、其ノ以外ニ從業員ノ始末ノ問題ガアリマスケレドモ、是ハ私ハ或ル程度社會的ニ見ナケレバナラヌ事柄デアルト思ヒマス、ソレカラ御承知ノ如ク値幅ガ狭クナツタ結果、現在取引所ノ取引ノ減ツタト云フコトハ事實デアリマス、併シナガラ兎ニ角依然トシテ一年間ニ、昨年ハ非常ニ減ツテ居リマス、四千何百万石カデアツタト思ヒマスガ、其ノ前年ハ八千四百万石、其ノ以前ニハ約一億万石位ナ取引ヲ致シテ居ツタノデアリマシテ、ソレガ要スルニ清算市場ノ取引ガ大部分ヲ含マレテ居ルノデアリマス、是ガ今日所謂

標準ノ相場、即チ米價ヲ決メル目標ニナツテ居リマスガ、ドウモ是ダケノ取引ガ出來マシテモ、實際ニ實米ノ受渡シノ出來マスコトハ、市場ニ於テハ僅ニ其ノ二%ニハ滿タナイ、斯ウ云フ風ナ空賣買ヲ基礎トシテ米價ノ目標ヲ定メルト云フコトハ、何トシテモ私ハ適當デナイト思フノデアリマス、ソレカラ今度ノ此ノ市場ニ入レマス所ノモノハ、取引所ノ市場バカリデナク、正米市場ヲ總テ入レルノデアリマシテ、此ノ正米市場ハ確ニ實際ノ現物ヲ授受致シテ居ルノデアリマス、現在ニ於テモ七八百万俵ハ取扱ツテ居ル實狀デアリマス、是等ヲ綜合シテ一ツノ市場ニ入レテ、サウシテ統制アル組織ノ下ニ取引ヲ爲サシメテ、實物ヲ基準トシタル、適當、適正ナル價格ヲ決メルト云フ事柄ハ、私ハ最モ必要ノ事柄ダト思フノデアリマス、ソレニ加ヘテ先刻來申シマス通り、全國ノ米ヲ取扱ツテ居ル人ニ對シテ、之ニ許可ヲ致シ、之ヲ統制シテ行ク、指導シテ行ク、斯ウ云フ事柄ハ配給統制ノ上ニ於テ非常ニ利便ガアル、斯様ニ固ク信ズルノデアリマス、今大石サンノ言ハレル、若シサウ云フ事ヲスルナラバ事實ニシタラドウカ、是ハ御意見ノ一ツトシテ、私モ相當其ノ御意見ニ對シテハ尊敬致スノデアリマス、私

自身モ可ナリ從來カラ其ノ問題ニ對シマシテ研究ヲ致シタコトモアリマスガ、中々是ハ大事業デアリマシテ、可ナリ尙ホ研究ノ殘サレテ居ル點ガアルノデアリマシテ、私今日ソレガ今直チニ行ハナケレバナラス適當ナ方策デアルト云フマデノ、斷案ヲ持ツニ至ツテ居ラスノデアリマシテ、取敢ヘズハ此ノ本案ニ依ツテ、私ハ米穀ノ圓滑ナル配給ガ期シ得ル、又公正ナル價格ガ之ニ依ツテ作り得ル、斯様ニ信ジテ出シタヤウナ譯デアリマシテ、ドウカ其ノ點御諒承下サツテ、具サニ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大石委員 段々ノ御話デアリマスガ、取引所ノ取引シテ居リマスル石數ハ固ヨリ是ハ空米取引ガ主デアリマシテ、實際ノ實物取引ハ其ノ二%トカ或ハ一〇%位ノモノニナツテ居ルデアリマセウ、併シ今ノ御話デ承リマスルト、全國ノ米穀業者ニ對シテモ、安心シテ業務ニ従事スル方途ヲ援ケルト云フ御話ガ繰返サレテ居ルノデアリマス、然ルニ本案ガ一度社會ニ發表セラレマスと、全國ノ米穀業者ガ東京ニ二回大會ヲ開キ、又其ノ後各地方三十數府縣ニ亙ツテ大會ヲ開イテ、本案ニ對シテ絶對反對ヲ標榜致シテ居ルノデアリマス、大臣ノ御説ノ如ク、米穀業者ガ安ンジテ己ノ業務ニ従事シテ居ラレ

ルヤウニ此ノ法案ヲ御提案下サレタトスル
ナラバ、何故ニ左様ナ猛烈ナ反對ガアツタ
ノデアリマス、其ノ御觀測ニ付テ御傾致
シタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 私ハ其ノ反對者ノ方々ニ
モ實ハ數回御目ニ掛ツタノデアリマス、其ノ
方々ノ御意見ヲモ具サニ拜聴致シマシタ、
小賣業者ノ諸君ハ其ノ中ニハ居リマセス、
其ノ主タル反對ヲサレテ居ル方ハ問屋業ヲ
營マレテ居ル方ガ多イヤウデアリマス、又
卸賣ニ關係サレテ居ル方モアリマス、而シ
テ其ノ人々ノ言ハレル所ハ澤山ノ論點ハア
リマセス、唯產業組合ガ市場ニ入ツテ來レ
バ、產業組合ノ方ハドン／＼發達シテ、自
分達ノ取引ノ領域ヲ奪ハレテ、自分等ノ取
引ガ少クナル、斯ウ云フヤウナ御意見デア
リマス、其ノ以外ニハ殆ト是ト云フ理由ハ
ナカツタノデアリマス、ソレガ一番主ナル
反對ノ理由デアリマス、併シナガラ假リニ
之ニ販賣組合ト云フモノヲ加入セシメナイ
ト假定致シマスレバ、モウ何モ米穀商人ノ
方ニハ全然反對サレル點ハ殘ラナイノデア
リマス、併シ靜ニ考ヘテ見マスト、產業組
合ノ方々ガ、即チ販賣組合ガ農村ノ人カラ
米ヲ賣ルコトヲ委託サレテ、其ノ委託サレ
タ人ガ東京ナリ其ノ他ノ市場ヘ來テ、其ノ

委託サレタ米ヲ賣ル、此ノ場合ニ現在ノ機
構カラ申シマス、米穀商ニ賣ラウガ又小
賣ヲシヨウガ又取引ノ市場員ニ賣ラウガ、
賣ルコトニ付テハ隨意デアル、隨テ若シ假
リニ此ノ販賣組合ノ人ヲ此ノ市場ニ入レヌ
ト致シマシテモ、其ノ市場員ノ一人ト取引
ヲ致スコトニ依ツテ、サウシテ其ノ市場員
ノ手ヲ經テ賣レバ自由ニ賣レルノデアリマ
ス、唯間ニ一人ノ手ヲ經ルカ、自分ガ入ツ
テデカニ賣ルカト云フコトダケノ違ヒニ過
ギナイノデアリマス、而シテ理論ノ上カラ
申シマシテモ、農村ノ人々ガ所謂聯合シテ
自分ノ持米ヲ賣ルノニ、東京ナリ大阪ヘ出
テ來テ、或ル特殊ナ方面ヨリホカ賣レヌト
云フ理論ハ成立タヌノデアリマス、茲ニ所
謂全國的ニ統制ヲシタル市場ガ出來タナラ
バ、其ノ市場デ賣得ルト云フコトガ原則デナ
ケレバナラスト私ハ思フノデアリマス、故
ニ此ノ販賣組合ハ賣リ一方デ、賣買ト云フ
コトハ出來ナイノデアリマス、委託サレタ
所ノ米ヲ其ノ市場デ賣ルト云フコトダケヲ
認メタノデアリマス、同時ニ市内ノ消費者
ノ團體ガ出來マシテモ、ソレガ入レバ買フ
一方、然ラバ賣ル一方ト買フ一方トノ二ツノ
モノガアリサヘスレバ、米穀商人ハ其ノ商
賣ヲ全部奪ハレテシマフデハナイカ、是ハ

普通ノ見方デアリマス、實際カラ申スト——
手近イコトデ申セバ、ドンナ仕事デモ仲介
ノ人ガ入ツテ、雙方ノ間ヲ取持ツテ、サウ
シテ其ノ調節ヲ取ルト云フコトガ從來ノア
リ來リデアリマス、是ガ商人ノ仕事デアリ
マス、即チ生産者ハ如何ナル場合ニ於テモ
商人ノ手ヲ經ナケレバ賣レナイ、消費者ハ
如何ナル場合ニ於テモ商人ノ手ヲ經ナケレ
バ買ヘナイ、斯ウ云フ事柄ハ今日規定サレ
ナイノデアリマシテ、消費者ガ直接生産者カ
ラモ買ヒ得ルノデアリマス、併シナガラ生
産者ヨリ直接ニ買フヨリモ、中間ニ立ツテ
居ル人ガ之ヲ取纏メ、又調節シテ賣買ヲス
ルト云フ事柄ガ一番重寶デアツテ、又是ガ
社會上ノ通念ト申シマス、經濟上ノ自然
ノ流れデアリマス、故ニ賣ト買ト而シテ賣買
自由ニ出來ル、而モ米穀取扱業者ハ、現在
ニ於テハ全國ニ對シテ七割以上ノ集荷機構
ヲ持ツテ居リ、強大ナル力ヲ持ツテ居ル人々
デアリマス、此ノ強大ナル力ヲ持ツテ居リ、
集荷機構ヲ持ツテ居ル米穀商人ガ、其ノ間
ニ立ツテ賣買ノ斡旋世話ヲ焼クト云フコト
デ、此ノ仕事ガ成立タヌトハ私ハ思ヒマセ
ヌ、必ズ成立ツト思ヒマス、殊ニ正米市場
カラ申シマス、從來ノ米穀取引ノ市場ト
云フモノガナクナルノデアリマス、成程一

億万石ト云フヤウナ清算取引ハ消エマスケ
レドモ、——小賣ニハ關係アリマセヌガ、
兎モ角モ二百万石、三百万石ト云フヤウナ
實際ノ實米ノ取引ヲシテ居ツタ取引所ト云
フモノノ、從來ノ清算取引ガナクナツテ、
正米市場ニ合同サレルノデアリマスカラ、
ソレダケノ取扱數量ガ殖エルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ、調節シテ行クコトニ依ツ
テ私ハ何等ノ摩擦ガナクシテ行クト思ヒマ
ス、併シナガラ米穀取扱業者ノ方ガ、ドウ
シテモ從來ノ所謂永イ間ノ慣習ニ囚ハレ
テ、サウシテ澤山ノ段階ヲ經テ、其ノ間ニ
於テ所謂中間ノ費用ガ多ク掛ルヤウナコト
ガアリマスルナラバ、是ハ競争上負ケル
カモ知レナイガ、今日ノ實體ニ於テ、
今日ノ實情ニ毫末ノ變化ガナイノデアリマ
シテ、唯販賣組合ガ市場員ニナツタ、即チ
從來間接ニ市場員ヲ經タノガ、直接ニナツ
タト云フダケノ違ヒデアツテ、外ニ差異ガ
ナイノデアリマス、ノミナラズ此ノ會社ト
致シマシテハ、從來サウ云フ取扱業者ガ可
ナリ困難ヲサレタ點ニ付テ、相當便宜ヲ與
ヘル方法モアルノデアリマシテ、私ハ少シ
モ其ノ點ニ對シテ大ナル影響ガナイ、斯様
ニ確信シテ居ル次第デアリマス

○大石委員 私ハ米穀業者ガ全國的ニ猛烈

ナル反對ヲ致シテ居ル點ハ、御話ノ産業組合ノ進出、是モ一ツノ反對ノ大キナ理由デアルト考ヘテ居リマス、併シ私ハ産業組合、所謂販賣組合ガ市場員トナツテ惡イト云フ考ハ持つテ居ラスノデアリマス、只今大臣ノ御話ノ如ク、生産者ノ委託ヲ受ケテ生産者ニ代ツテ賣方ニ廻ツテ行ク、是ハ我國ノ産業組合ノ實情、生産者農村ノ實體カラ考ヘマシテ、是ハ餘リ反對スベキ大ナル理由ニハナラス、唯米穀業者ガ産業組合ノ進出ヲ何故左様ニ反對シ阻止スルカ、露骨ニ申セバ、産業組合ガ近來餘リ出過ぎテ居ルト云フ點ニアリハシナイカ、私ハ常ニ申シテ居ル、産業組合ハ生産者、農村ノ多數ノ國民ヲ保護シ、利益ヲシテ居ルモノデアリマスルカラ、其ノ發達ヲ助長セシムルコトガ國家トシテモ吾々トシテモ爲サネバナラス筋合ノモノデアルト思ヒマス、併シナガラ一方産業組合ニ偏シテ、商賣人ヲ兎角無視シ、或ハ虐待スルト云フ傾向ガ聊カデモアリマサルナラバ、ソレハ宜シクナイ、斯様ナ觀察ヲ持つテ居ルノデアリマス、殊ニ日本ノ産業組合ノ起源ヲ考ヘテ見マシテモ、外國ニ於ケル此ノ種ノ組合ハ、歴史のニ又ソレノ其ノ社會組織ノ上カラ、或ハ國民ノ間ニ於テ其ノ必要ニ迫ラレテ自然ニ發達シテ、今

日ノ完成ヲ見テ居ル、隨テ國民及ビ社會人が直接之ヲ利用シ、之ヲ指導シ、其ノ中心ヲ成シテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス、續テ我國ニ於ケル産業組合ハドウシテ出来タカト云フト、左様ニ自治的ニ發達シテ今日ニ至ツタモノデハナイ、天降リ式ニ、上方カラ指導ヲシテ漸ク今日ニ辿リ著イタノデアル、然レドモ全國悉ク完全ナル組合ニナツテ居ルカ、可ナリ經營難澁ノモノモアリ、嘗テハ是ガ爲ニ地方民ガ非常ニ迷惑ヲシタ實績モアル、寧ロ東北地方ニ於キマシテハ、産業組合組織ノ當時、數年間ト申スカ十數年間ト申スカ、非常ナ多數ノ人が迷惑シテ、産業組合ガ經營困難ニ陥ツタコトガ屢アル、何故サウナルカ、組織其ノモノハ宜シイノデアリマスルケレドモ、日本ノ上下カラ段々養成セラレテ、サウシテ自治的ニ發達シテ來タモノデハナイ、上方カラ天降リ式ニ指導的ニ出テ來タモノデアリマスルカラ、下ノ受ケル方ニ準備ガナイ、準備ノナイ所ヘ持つテ來テ、唯指導ダケシテヤラレマスルカラ、其ノ經營ヲ誤ツタリ、或ハ組合員ハ金ヲ借りル爲ニ組合員ニナツタリ、貸倒レニナツタリ、非常ナ經營難ニ陥ツテ、地方ノ疲弊ノ一因ヲ成シタ實例ガ決シテ珍シクナイ、斯様ナ關係ニ依

ツテ日本ノ産業組合ト云フモノハ、兎モ角今日ハ缺クベカラザル重要ナルモノトシテ存在ヲシテ居ルノデアリマスルケレドモ、尙ホ外國ノソレノ如ク、下ノ方カラ完全ニ組上ゲラレテ出來上ツタモノデハアリマセヌカラ、常ニ指導ノ位置ニアル人ハ此ノ點ヲ能ク辨ヘテ、歴史ノ古イ、所謂各種ノ業者ト相剋摩擦ノナイヤウニ、調節ヲ圖ツテ行カネバナラスモノデアルト思フノデアリマス、然ルニ近年産業組合ハ色々方面ニ進出ヲシマシテ、嘗テハ政治的ニマデ進出ヲ致サント致シテ居ル、或ル中央ノ有力ナル指導者ハ選舉ノ時分ニ祕密命令ヲ全國ニ發シテ、サウシテ反産運動ノ者ヲ當選サセテハナラスト云フヤウナコトデモヤツタカノ噂ヲ聞イタノデアリマス、事實ハ兎モ角ト致シマシテ、其ノ空氣ハ確ニアツタ、サウ云フ工合デ獨リ米バカリデハアリマセヌ、或ハ製藥モシテ居ル、何モシテ居ル、何デモカデモ皆此ノ産業組合ヲ中心トシテ總テノモノヲヤラウト云フヤウナ傾向ガ尙ホ今日殘ツテ居ル、一方業者ハ店舗ヲ持チ、相當ノ者ヲ雇入レテ營業ヲシテ、一切ノ國稅地方稅ヲ負擔シテヤツテ居ル、一方産業組合ハ税金ヲ免除セラレテ、更ニ國家ノ助成ヲ受ケ、或ハソレノ地方ノ補助ヲ受ケテ居ル、人

件費デアルトカ、或ハ直接間接ノ色々ナ便宜ヲ與ヘラレテ居ルノデアリマス、一方無稅ニシテ國家ノ助成保護ヲ受ケ、地方ノ助成保護ヲ受ケテ居ル所ノモノト、店舗ヲ持チ營業稅其ノ他有ル税金ヲ負擔シテ行クモノト同ジ立場ニ立タセテ、競争ヲ爲サシメマシタナラバ、必スヤ一方ガ不振ニ陥リ、一方ノ榮エルト云フコトハ當然デアル、此ノ出過ぎルコトハ互ニ戒メネバナラス、吾々ハ産業組合ノ發達完成ヲ熱望シテ居リマスルト同時ニ、他面ニ於キマシテ業者ヲシテヤハリ安ンジテ其ノ業ニアルヤウニ、國家的ノ保護ヲ加ヘネバナラスモノト思ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ觀點カラ見マシテ、此ノ度ノ産業組合ニ市場員ノ資格ヲ與ヘラレテ取引ニ參加セシメルコトハ、大臣ノ理想トセラレル程度ニ止マリ、其ノ分限ヲ守リ、其ノ分ニ安ンジテ行カレルナラバ、是ハ非常ナ弊害モナク、又業者ガ左程血眼ニナツテ、マルデ犬猿モ言ナラザルヤウナ態度ヲ執ルニモ及バナイデハナイカト思フ、其ノ分ヲ越エル處ガ多分ニアルカラ、其ノ點ニ付テ業者ハ非常ニ憂慮ヲ致シテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、是等ノ反對ニ對シテ大臣ハ如何ナル方法ヲ以テ是等業者ト産業組合法

トノ調節融和ヲ御圖リニナル御方針デアリ
マスカ、單リ此ノ米穀業者バカリデハナイ、
是ハ各種ノ方面ニサウ云フコトヲ見出スノデ
アリマスカラ、實ニ國家ノ爲ニ斯様ナコト
ハ宜シクナイト思フノデアリマス、セメテ
此ノ法案ニ付キマシテノ大臣ノ御方針ヲ伺
ツテ置キマス

○櫻内國務大臣 産業組合ノ進出ト云フ問
題ハ、相當古クカラ起ツテ居ル問題デアリ
マシテ、世ノ中ニ反産運動ト云フ聲ヲタビ
タビ聞クノデアリマス、私共産業組合ヲ監
督シテ居ル立場ノ者ト致シマシテハ、此ノ
聲ニ相當耳ヲ藉シテ、此ノ問題ニ付テハ常
ニ注意ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、私共ハ
産業組合本來ノ目的ニ付テ、圓滿ナル發達
ヲ冀望致シテ居ル者デアリマス、併シナガラ
産業組合ノヤリ方ガ、若シ萬ガ一ニモ規則ニ
外レル、即チ其ノ精神ニ外レタ行動ガアル
ト云フ場合ニ於テハ、是ハ勿論取締ル考デ
アリマス、今大石君ノ言ハレタ如ク、産業
組合ハ今日非常ナ力ヲ持ツテ居リマスノデ、
農村ニ於ケル所ノ一大團體ガ此ノ目的以外
ニ於テ政治運動ニ關與シテ、之ヲ基調トシ
テ政治運動ニ乗出スト云フガ如キコトハ、
斷ジテ許スベカラザル所デアリマス、勿論
産業組合ノ實際ノ實務ニ當ツテ居ラレル方

方ハ有力ナル方モ多數居ラレルノデアリマ
シテ、ソレ等ノ人々ガ或ハ政友會、或ハ民政
黨、或ハ社會大衆黨トカ、其ノ他ノ黨派ニ
御關係ニナツテ居ル方ハ多數アルト思ヒマ
ス、併シナガラソレハ何等責メル所デハア
リマセヌケレドモ、産業組合ノ名ニ於テ、
又産業組合ノ團體トシテ政治運動ニ参加ス
ルト云フコトハ默過スルコトノ出來ナイ所
デアリマス、此ノ點ニ付キマシテ若シ左様
ナコトガアリト致シマスナラバ、私ハ嚴ニ
之ニ對シテ取締ヲ致ス考デアリマス、而シ
テ販賣組合ガ市場ニ入ツテ之ヲドウ云フ風
ニ取締ルカト云フ話デアリマスガ、此ノ點
ニ付キマシテハ本來ノ目的ニ依ツテ、即チ
是モ政府委員カラ度々申上ガマシタ通り、
月別ニ順序宜ク之ヲ販賣シテ行クコトニ付
キマシテハ、是ハ勿論ノコトデアリマスガ、
是ガ其ノ力ニ依ツテ一遍ニ多量ノ賣出ヲ致
ストカ或ハドウスルトカ云フヤウナ事柄ニ
付キマシテハ、十分ニ注意ヲ致ス考デアリ
マス、固ヨリ賣買ハ許サナイノデアリマス
カラ、之ヲ大ニ買ツタリ賣ツタリスルト
云フガ如キ行動ガアリマシタナラバ、是ハ
直チニ止メルコトハ當然デアルト思フノデ
アリマス

○大石委員 産業組合ノコトニ關シマシテ
ハ、大體公正ナル態度ヲ以テ常ニ其ノ調
和取締ヲ御圖リ下サルナラバ、ソレハサ
ウ大シタコトハナイト私ハ思フノデアリマ
スガ、唯賣方ノ一方ト云フ場合デモ、色
色ナ不法行爲モアリマスマイケレドモ、餘
リ進出モ分ガ過ギタリ、互ニ分ヲ侵シタリ
越エタリスルヤウナコトノナイヤウニシテ
戴キタイコトヲ希望シテ居ルノデアリマ
ス、米穀業者ノ反對致スノハ獨リ産業組合
ノ進出ニ對スルバカリデナク、其ノ他ニモ
色々ノ理由ヲ持ツテ居ルノデハナイカト思
フ、第一ハ此ノ度ノ配給統制ノ方針ハ市場主
義ニ據ツテ居ル、市場ニ依ツテ總テヲ解決
シテ行クト云フ方針ニアラレルヤウデアリ
マスガ、此ノ市場中心主義ト云フヤウナコ
トモ業者ノ反對ヲ致シテ居ル一ツデアラウ
ト思フノデアリマス、我國ニ於キマシテハ
自然取引ノ必要ニ迫ラレテ市場ト云フモノ
ガ各地ニ開設ヲセラレ、此ノ米穀統制法、自
治管理法等ノアリマセヌ時代ニ於キマシテ
ハ、可ナリ全國ニ正米取引市場ト云フモノガ
設ケラレテ、ソレノ機能ヲ發揮シテ居ツタ
ノデアリマス、山形縣ノ酒田ノ市場ノ如キ
モ全國ノ模範トセラレタル時代モアル程デ
アリマス、然ルニ近年市場ハ段々ト衰微致
シマシテ、正米取引ト云フモノハ影響ヲ薄

ク致シマシテ、今日殘ツテ居リマスルモノ
ハ僅ニ東京ノ深川、神田川ノ二市場ト、鹿
兒島縣ノ一市場ダケヲ殘スノミデアツテ、
殆ド此ノ市場取引ト云フモノガ時代カラ葬
ラレントシテ居ル形ヲ持ツテ居ル、此ノ時
ニ當ツテ政府ガ市場ヲ中心トシテ總テノ配
給價格ノ圓滑適正ヲ圖ラントスルコトハ、
少々時代遅レデアリ、其ノ目的ヲ達成スル
ニ甚ダ不完全ナモノデアリハシナイカト云
フ考ヲ持ツ者デアリマス、此ノ點ニ付キマ
スル大臣ノ御考ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 大石サンノ御話ノ、成程
酒田ナドハ從來盛ニヤツテ居リマシテ、ツ
イ最近五箇年程ニ見マシテモ、昭和九年ニ
ハ六十萬石ノ賣買ヲ致シテ居ツタノデアリ
マス、ソレデ昨年度ニ於キマシテハ三十三
萬七千石ニ減ツテ居リマス、併シナガラ今
同ノ市場ハ單ニ從來ノ清算取引バカリヲ主
眼ト致シタノデハナクシテ、正米市場モ清
算取引モ、有ユル市場ヲ全部綜合統一一致シ
テ行クノデアリマシテ、私ハ現在目標トサ
レテ居ル總テノ市場ガ茲ニ統一サレル結果
トナリマスノデアリマスガ故ニ、即チ正當
ナル價格ヲ定メルベキ所ノ標準ハ之ニ依ツ
テ決マルト斯様ニ考ヘテ居リマス

○大石委員 市場ノ取引ニ依ツテ此ノ目的

ガ達セラレルコトト然ラザルコトトハ、私共意見ガ違フノデアリマス、唯意見ノ相違デ議論ニナツテハ仕方ガアリマセヌカラ其ノ點ハ深ク論ジマセヌ、唯正米市場ヲ中心トシテ配給ノ圓滑ヲ圖ル、或ハ價格ノ適正ヲ期スルト云フコトハ、私共ノ見ル所ニ依ツテハサウハ行クマイト思フ、大臣ハ此ノ度ノ米穀會社ノ市場ニ於テ公正價格ヲ決メルト仰セラレテ居リマスガ、其ノ價格ハ此ノ配給統制法案ニ依リマスルト、最低價格ト最高價格ノ範圍内ニ於テノミ定メラレルノデアリマス、此ノ最高價格モ最低價格モ政府ノ力ニ依ツテ、所謂生産費其ノ他ノ資料ニ依ツテ生レテ來ル公定ノ價格、其ノ範圍内ニ於テノミ利用ガ出來マシテ、範圍外ニ出ルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ法律ニ強制力ヲ持タセル、此ノ強制力ニ依ツテ或ル價格ハ生レテ行キマセウケレドモ、ソレハ本當ノ自然ノ價格ニ一致シタ公正ナル價格デアルカ、法律力ノ要ル公正價格デアルカト云フコトニ一ツノ疑ヲ持ツノデアリマス、他ノ委員諸君カラ最高價格ノ生レタ場合ニ於テモ、取引ノ取計ヒニ付テ屢、御尋ガアツタヤウデアリマスカラ、繰返ス必要モナイノデアリマスガ、是ハ本當ニ生産者、消費者、其ノ間ノ利害得失カラ考ヘマシタナラバ、

必ズシモ此ノ最高價格、最低價格ヲ以テ、強制力ヲ以テ抑ヘテ置クト云フコトガ利益デアルカ、幸福デアルカ、私ハ一利一害デアラウト思フ、生産者ハ成ベク價格ノ高イクコトヲ欲スルノデアリマス、消費者ハ成ベク價格ノ安キコトヲ欲スルノデアリマス、然レドモ米ノ需給關係ハ左様ナ生産者ト消費者ノ理想通りニハ參ラナイ、非常ナ差額ヲ生ジ、變動ヲ來シテ、遂ニ政府ハ米穀統制法デアルトカ、自治管理法デアルトカ云フモノヲ作ラネバナラス情勢ニナツテ、長年米穀ノ調整ヲ圖ツテ居リマシテ、非常ナ國格ヲ費シ、非常ニ骨ヲ折リマシタガ、其ノ效果ハ至ツテ薄カツタ、此ノ二ツノ法律ガ實施セラレマシテ以來、價格ノ變動ハ兎ニ角少クナツタノデアリマスケレドモ、併シナガラ生産者ノ欲スル價格、消費者ノ欲スル價格ト云フモノハ、政府ノ定メラレタル價格ニ依ツテ満足ガ出來ルカ出來ナイカ、一旦豐作デ非常ニ米ガ上リマスト最低値段割ルノデアリマス、又凶作、冷害等ノ不作ガ參リマシテ米ガ不足ニナリマスト、最高値段ヲ上廻ルト云フヤウナコトガ屢、アルノデアリマス、併シ其ノ價格ヲ統制ニ依ツテ抑ヘラレレバ、消費者ハ安イ米ヲ食フコトガ出來ナイ、米ガ足ラナクナツテ生産者

ハ收入ヲ多ク欲スル時、其ノ價格ヨリハ高ク賣ルコトガ出來ナイ、固ヨリ國民ノ一番必要ナル食糧品デアリマスカラ、其ノ價格ノ變動ハ決シテ好マシイモノデアリマセヌ、成ベクソレハ安定ヲシテ、生産者ニハ生産費ヲ補ウテ餘リアリ、消費者ニハ生活上ノ不安ヲ除イテ適正ナル米ヲ食ハシテ貰フ、サウ云フ點ガ必要デスケレドモ、今日マデ政府ノ執リ來ツタ所ノ米ニ對スル態度ヲ見マスト、甚ダ遺憾ナガラ一貫シタル大方針、根據ト云フモノヲ見出スコトガ出來ナイ、昭和七年ニ米ハ非常ナ豐作デアリマシタ、内地デ六千六百萬石米ガ穫レタ、蓬萊米、朝鮮米モ相當ノモノガ穫レタ、其ノ時ニ農林省內ニ於テハドウ云フ意見ガアツタカ、減反案サヘモ唱ヘラレタノデアリマス、米ヲ持テ餘シテ減反ヲ唱導セラレタガ、輿論ニ笑ハレテ遂ニソレヲ止メタ、然ルニ外地ニ於ケル取扱ハドウナツタカ、朝鮮ニ於テハ從來水田ノ開拓ニ國費ヲ投ジテ獎勵シタ、所ガ其ノ助成ヲ俄ニ中止シタ、棉花ヲ植エルトカ、或ハ他ノ作物ヲ作ラセル、臺灣ニ於テモ同様耕作制限ヲ加ヘマシテ、或ハ甘蔗トカ、サウ云フモノノ栽培ヲ爲サシメルト云フ工合ニ、有ユル方面ニ努メテ米ノ減收ヲ圖ラレタ、所ガ其ノ翌年ノ昭和

八年ニハ、東北、北海道ニハ大冷害ガアリ、或ハ全國的ニ旱害、水害等デ米ノ減收ガアリマシテ、俄ニ又驟ギ出シタ、近年ニ至リマシテハ支那事變ノ勃發ニ伴ツテ米ノ消費ガ自然増加ヲシテ來テ居ル、ソコデ又一面ニ於テハ收穫ノ増産ヲ圖ラネバナラスト云フコトニナリマシテ、全ク猫ノ眼ノ變ルヤウナ方針ガ農林省ニ於テ繰返サレテ居ルノデアリマス、昭和八年ノ議會ニ於キマシテハ、四十有餘年間繼續シ來ツタ所ノ開墾助成ト云フモノヲ一遍デ打切ツテ、一文モ助成金ヲ置カナイト云フヤウナ方針ヲ執リ、其ノ後昨年マデ殆ド開墾助成ト云フモノニ對シテハ無視セラレテ居ツタ、唯、耕地課ノ役人方ハ、全ク仕事ガナクナリマスカラ、ヤレ用排水改良デアルトカ、ヤレ小開墾助成デアルトカ、或ハ國營開墾デアルトカ云フヤウナ色々ナル仕事ヲ工夫セラレ、新機軸ヲ出シテ連續シテ來タノデアリマス、ケレドモ昨年私ハ農林省ニ向ツテ過去十箇年ノ潰地並ニ開墾地ノ統計ヲ求メタノデアリマスガ、其ノ統計ガ昨年遂ニ不完全ナモノヲ提出セラレタ、十箇年間ノ統計ハナカツタ、先般資料ヲ請求シテ、農林統計、或ハ其ノ潰地、開墾地等ニ於ケル過去十箇年間ノモノヲ求メマシタガ、遂ニ農林統計ガナ

イト云フ御斷リデ、マダサウ云フ材料ニ接シテ居ラナイ、ケレドモ昨年頂戴シタ不完全ナル調ニ依リマスルト、年々ノ潰地ニ對シテ開墾セラレテ居ル所ノ耕地ト云フモノハ八分ノ一、時トシテハ十分ノ一ニ過ギナイ年ガアル、近年殊ニ色々ナル軍需工業、軍事施設、其ノ他色々ナモノガ最近ニ於テ各地ニ興サレマシテ、更ニ耕地ト云フモノハ最近著シク減ツテ居ルト思フノデアリマス、而モ農林省ハ之ニ對シテノ開墾計畫ト云フモノハ餘リ立テテ居ラス、昨年私ハ豫算委員會ニ於キマシテ、潰地ト此ノ開墾トノ面積比較ヲ以テ、何ガ故ニ斯様ナ緩漫ナコトヲシテ居ルカト云フコトヲ責メマシタ所ガ、其ノ委員會ノ質問ガ效イタ譯デアルカドウカ分リマセヌガ、議會ノ最早終ラントスル時ニ、突如トシテ五千町歩ノ開墾助成、ココ數年來少シモナカツタ開墾助成ノ追加豫算ヲ出サレタ、今マデハ、非常ニ制限セラレタル面積、小開墾ト云フヤウナ極ク制限セラレタルモノノミニハ助成ヲ與ヘテ居リマシタケレドモ、一般ノ開墾地、大面積ノモニ對シマシテハ、全然昭和八年以來ナカツタノデアリマス、ソレガ昨年ニナツテ初メテ五千町歩ノ助成ガ出來タ、本年亦助成ガ漸ク計上セラレタ、斯様ナ狀態

デアリマシテ、農林省ノ此ノ食糧ニ對スル、殊ニ米ニ對スル所ノ觀念ハ、農務局ト米穀局全ク相反スルヤウナ時ガアリ、全ク他人ノヤウナ立場ニ立ツテ居ル所ガアリマシテ、少シモ農林省トシテノ米ニ對スル根本方針ト云フモノハ、一貫シテ居ラスト云フコトヲ感ズル、斯様ナ建前デ、其ノ時々ノ必要デアアルカラスウ云フ法律ヲ作り、其ノ時々ノ必要デアアルカラスウ云フコトヲシテヤルト云フ風デアアル、四百万石ノ増產ヲ今頃目覺メテヤツテ居ル、何ト情ケナイコトデヤナイカト思フ、私共昭和八年ノ議會ニ於キマシテ之ヲ強調致シタ、所ガ今ニナツテ騒ギ出シテ居ル、米ガ少シ餘ルト持テ餘シ、少シ少イト騒ギ出ス、是ダケノ最高最低ノ價格ニ對シテ米ハ段々ト高クナリ、供給ガ不圓滑ニナラントスル虞ガアル、最高値段ハ少シモ動カサナイ、最低値段ヲ二割増加シテ居ル、斯様ナ有様デアリマシテハ、假令斯様ナ法律案ガ成立ヲシテ運用セラレマシテモ、何時マデ是ガ續クカ、ドノ程度マデ效果ヲ收メルカ、全ク迷ハザルヲ得ナイ、總テ數年ナラズシテ今度ハ事實ニナラナケレバナラスト云フコトガ、目ノアタリ見エルヤウナ氣ガ致スノデアリマス、此ノ半端ナ法案ヲ固執セラレルヨリ、一步

進ンデ根本的ノ所謂根本塞源の方針ニ出ラレンコトヲ希望スルノデアリマス
○櫻内國務大臣 大石サンノ一番最初ニ御述べニナツタ價格ノ公正ヲ期スルト云フ點ニ付キマシテハ、固ヨリ第七條ノ最高最低ノ範圍内ニ於テノコトデアリマス、最高最低ノ値段ヲ決メルコトハ米穀統制法ニ依ツテ御承知ノ通り、種々ナル權威者ノ下ニ於テ一定ノ基準ノ下ニ決メラレル次第デアリマシテ、私ハ之ニ依ツテ大體ノ間違ヒナイ最高最低ヲ定メラレルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、米穀政策ガ始終變ハル、故ニ根本塞源ノ專賣法ヲ出スガ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御議論ニ對シマシテハ、先刻來申ス通り此ノ問題ニ對シテハ決シテ之ヲ疎カニ考ヘルモノデハアリマセヌ、十分敬意ヲ表シテ研究ヲ致シタイト思ヒマスケレドモ、マダ今日マデ結論ニ至ツテ居ナイト云フコトヲ申上ゲルノ外ハナイノデアリマス、御承知ノ通り米ノ問題ハ實ニ昔カラノ問題デアリマシテ、議會ノ問題トシテ現ハレマシテカラ今日マデ三十年間、殆ド毎會議會ノ問題ニナツテ居ルノデアリマス、大正十年デアリマシタカ、米ノ問題ガ山本農務大臣ノ時ニ初メテ米穀法ト云フモノガ出來テ、即チ量ノ統

制ト云フコトヲ致シマシタ、引續イテ今日ノ米穀統制法ガ出來テ價格ト量ノ兩方ヲ統制スル法律ガ出來マシタ、引續イテ自治管理法ト云フモノガ出來上ツタノデアリマス、而モソレデ満足デアリマセヌノデ、茲ニ此ノ度ノヤウナ案ヲ提案ヲ致スコトニナリマシタガ、併シナガラ本案ハ米穀統制法ニ代ヘルト云フ意味デハナイノデアリマシテ、單ニ米穀ノ配給統制ヲ之ニ依ツテヤツテ、公正適正ナル價格ヲ產ミ出サウ、斯ウ云フ意味ニ外ナラスノデアリマスカラ、是ハ御諒承ヲ願ヒタイト思フ、潰地開墾云々ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ大體ノ數字ガ分ツテ居リマスノデ、若シ御必要デアリマスレバ政府委員カラ御答辯ヲ致シマス
○大石委員 此ノ度ノ法案ノ建前ヲ拜見致シマス、所謂配給ノ圓滑、價格ノ適正ナル構成ニアルノデアリマスガ、御説明ヲ伺ヒ、又其ノ法ノ建前ヲ見マス、米ガ剩ツタ時ハドウスルカト云フ問題ハ稍、閑却セラレ、米ガ不足シタラドウスルカト云フ所ニ非常ニ重キヲ置イテ居ルヤウニ思ヒマス、殊ニ四年或ハ五年目ニ來ル所ノ凶作不作ト云フヤウナモノヲ考ヘネバナラス、其ノ凶作不作ノヤウナ場合ニ於テ米ガ一方ニ偏在シテ、配給ノ圓滑ヲ缺クヤウナコトガアツ

テハ相成ラスト云フ所ニ、重點ガアルヤウニ思フノデアリマス、左様ナ建前デハナイノデアリマセウカ、法ハサウ見エルノデアリマスガ……

○櫻内國務大臣 要シマスルニ米ノ偏在ガアリマス、茲ニ配給ノ不圓滑ヲ來シ、非常ニ困ツタ問題ガ起リマスノデ米ノ偏在ト云フモノヲ防グト云フコトハ、此ノ法案ノ重大ナル理由ノ一ツデゴザイマス

○大石委員 是ハ御承知カモ知レマセヌガ、近キ過去ニ於キマシテハ米ガ餘ツテ、非常ニ生産者ガ困ル、國家モ困ルト云フコトデ持テ餘サレタコトモアルノデアリマシガ、サウ云フヤウナ過剩米ノ生ジマシタ場合ニ於ケル此ノ會社ノ運用ハ、ドノ程度ノ效果ガアルト御認メニナルノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 是ハ申スマデモナク最低價格ニ依ツテ制限セラレルノデアリマシテ、最低價格ヲ切ルヤウナ場合ガアリマシタナラバ、政府ガ無制限ニ買上ゲルト云フコトニナルノデアリマス

○大石委員 此ノ法案ノ效果ハ獨リ内地ダケノ統制ヲ爲スバカリデハ、其ノ效果ハ甚ダ薄イト思フ、所謂外地トノ關係ガ最モ緊密ナル連鎖關係ヲ持ツテ居ラネバナラスト

思フ、先般灣米問題ニ付キマシテハ相當論議セラレテ衆議院ヲ通過シテ居リマスガ、此ノ建前ハ灣米ト密接ナ關係ガアルト思フノデアリマスガ、其ノ扱ビニ依リマスル會社ノ收益デアルトカ、或ハ手數料トデモ申シマセウカ、サウ云フヤウナ關係ハドウナツテ居リマセウカ、又朝鮮トノ關係ハドウナツテ居リマセウカ

○櫻内國務大臣 固ヨリ米穀政策ハ内地外地ヲ一貫シテ立テテ居リマス、即チ少クトモ内地外地ヲ通ジテ現在ノ需要ニ應ズルダケノ生産ヲ致サナケレバナラスト云フ建前ニ於テ、計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、是ハ度々此ノ席デ申上ゲマシタカラ省略ヲ致シマスガ、臺灣米ノ取扱ニ關シマシテハ、若シ臺灣ニ於ケル移出米ガ、今日法案ニ出テ居ルヤウナ特別會計ガ出來マシテ、臺灣總督府ニ於テ之ヲ一手ニ取扱フコトニナリマシテ、内地ニ移入スル米ガアリマシタ場合ハ、是ハ此ノ會社ニ取扱ハセル積リデアリマス、現在ノ内地ニ向ツテ移入スル數量ハ凡ソ五百万石見當デアリマスガ、若シ必要デアリマスレバ政府委員カラソレニ對シテ御答致サセマス、臺灣米ノ生産高ハ約一千万石見當デアリマスガ、其ノ中デ約半分ガ向フデ消費サレマシテ、半分ガ——四

百七十何万石デ少シ差ハアリマスガ、約半分ガ此方ニ移入サレルノデアリマス、朝鮮ノ方ハ二千四五百万石ノ生産ヲ致ス譯デアリマシテ、内地ニ入レルノハ約一千万石ト云フ見當デアリマス、是ハヤハリ年々ニ依ツテ違ヒマスノデ、自ラ相違ガ起ツテ參リマス、此ノ方ニ付キマシテハマダ向フニ於テ、之ヲ總督府ニ於テ一手ニ取扱フトカナントカト云フ方法ハ立ツテ居ナイノデアリマス、最近ニ至リマシテ本法案ト同一趣旨ノ目的ニ於テ、米穀會社ガ出來ルヤニ承ツテ居リマスガ、マダ決定ハ致シテ居ラスノデアリマス

○大石委員 外地ハ只今ノ御話ノ通りデアリマス、更ニ滿洲支那ノ關係ハドウナツテ居ルカ、所謂此ノ案ノ統制力ト云フカ、效果ト申スモノハ、ドウシテモ日滿支一體ノ緊密ナル連絡協調ヲ保ツ所ニ、初メテ其ノ效果ガアルト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 固ヨリ將來ノ日本ノ米穀需給政策ニ付キマシテハ、日滿支ヲ見合ツテ計畫ヲ立テナケレバナラスト思ヒマス、現在ニ於キマシテハ滿洲ニ於テハマダ滿洲ノ自分ノ使用スル量ヲ生産致シテ居リマセヌ、併ナガラ是ハ許可制度ニナツテ居リマ

シテ、是ハ指導ノ如何ニ依リマシテハ相當數ノ生産ヲ致シ得ルト考ヘマス、支那ニ於ケル所ノ生産ニ付テハ、未ダ十分ナル計畫ガ立ツテ居リマセヌガ、是ハ興亞院及ビ企畫院ニ於キマシテ、一定ノ計畫ヲ立テマシテ、ヤハリ内地ノ農林省ト協調ヲ保ツテ將來ノ計畫ヲ立テルコトトナツテ居ルノデアリマス、又朝鮮臺灣ニ於キマシテモ、今後年々増加シテ、移入シテ貰フト云フ案モ、申スマデモナク之ヲ立テテ居ルノデアリマス、先刻朝鮮カラ一千万石移入スルト申シマシタガ、現在八百四十五万石位ヲ見込シテ居リマスカラ、一寸訂正シテ置キマス

○大石委員 サウ致シマスルト、朝鮮臺灣ハ此ノ間ノ問題デ略、明瞭ニナツタヤウニ思ヒマスガ、朝鮮滿洲、ソレカラ支那ト云フコトニ對シテハ具體的ノ關係ハ明瞭ニナツテ居ラスノデアリマシテ、マダ興亞院ト企畫院トニ於テ計畫中ノモノト承知シテ宜シイノデゴザイマス

○櫻内國務大臣 滿洲ソレカラ支那ニ於キマシテハ御話ノ通りデアリマス、朝鮮ニ於キマシテハ大體ノ計畫ハ立ツテ居リマス、居リマスガ只今申シマシタ通り、多少ノ相違ハ起ツテ來ルデセウ、本年度ノ如キモ約七十万石ノ増產ヲ朝鮮カラ仰グ考デ居リマ

シタケレドモ、私考ヘル所ガアリマシテ、更ニ五十万石ノ増産ヲ希望シテ本年百二十万石ヲ増産シテ、朝鮮カラ入レルト云フ計畫ヲ立テテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ年ニ依リマシテ多少ノ相違ハアリマスケレドモ、大體綜合的ニ計畫ヲ立テテ居リマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマス、朝鮮デモ臺灣デモ方法ニ依ツテハ、マダ非常ニ生産増加ノ方法ハアルト思ヒマス、思ヒマスケレドモ、先刻大石君ガ御述ノ如ク、既ニ米ノ大洪水ガ來ツテ非常ニ困ツタ時代モアリマスシ、殊ニ出征將士ガ農村ニ歸ツテ來タ時ニ、此ノ人等ハ又生産ニ從事シテ戴クノデアリマスガ、其ノ人達ノ生産シタ米ガ非常ニ暴落スルト云フヤウナコトガアツテハ相成ラスノデ、有ユル方面ヲ見合ヒマシテ、サウシテ今計畫ヲ立テテ居ル譯デアリマス

○大石委員 此ノ度御立テニナリマシタ四百万石ノ増收ニ對シテノ計畫ト、ソレカラ滿洲ノコトハ今ノ御話ノ通りマダ決定シテ居ラスノデスガ、朝鮮ニ於テモ先年水田米作ノ獎勵ヲ朝鮮總督府ガ中止致シタノデアリマス、然ルニ此ノ度ハ七十万石ノ増産ヲ計畫セラレタ、是ハ朝鮮總督府ノ方ニ伺ヘバ宜シイノデアリマスガ、多分農林省トシ

テモ連絡ガアラレルノデアリマスカラ、朝鮮ノ大體ノ方針ハ御分リニナルト思フノデアリマス、此ノ七十万石ト云フノハ、在來ノ水田ノ増收ヲ以テ充テルノデアリマスカ、新ニ水田ヲ擴張スルノデアリマスカ、他ノ獎勵方法デモ講ゼラレルノデアリマスカ、又内地ノ四百万石増産ニ關スル内容ヲ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 内地ニ於ケル増産ニ對スル方策ハ、是ハ度々申上ゲテ居リマス所ノ各種各様ノ施設ヲ致シタ上ニ、農村ノ總力ノ總發動ヲ求メル爲ニ、各部落團體トモ活動促進ヲ希望致シマシテ、之ニ對シテ獎勵金ヲ出ス、其ノ他ノ手段ニ依ツテ凡ソ案ガ立ツテ居リマス、是モ度々説明致シマシタカラ、ソレハ省略致シマス、後ハ政府委員カラ申上ゲマス

○周東政府委員 朝鮮ニ於キマシテモ七十万石増産計畫ニ付キマシテハ、大體反當リノ收量ノ増加ト云フコトヲ目的トシテノ計畫デゴザイマス、大體内地ノ計畫ト同様ナ計畫デ以テ進ムト云フコトニナツテ居リマス

○大石委員 是ハ私ハ速記録ニ依ツテ御説明ヲモウ少シ知リタイト思ツタノデアリマスガ、全部讀ムコトガ出來ナカツタノデ、

度々御説明ガアツタサウデアリマスカラ、重複シタコトヲ御尋スルカモ知レマセヌガ、内地ニ於ケル増産計畫ハ色々ノ方法手段ガアルト申サレマシタガ、之ニ付テ政府委員ヨリモウ少シ詳細ナ御説明ヲ承リタイ

○周東政府委員 内地ノ増産計畫ハ今申シマシタヤウニ、大體反當リ收量ノ増加ヲ差當ツテ急ニヤルト云フノガ計畫ノ内容デアリマシテ、其ノ主ナモノハ地域別ニ耕種改善基準ノ設定ヲ致シマシテ、其ノ實施ノ促進ヲナサシムル爲ニ必要ナ助成金ヲ交付致シマス、即チ各地方ニ部ヲ設ケマシテ、其ノ地方ノ氣候、土質、稻作慣行ト云フヤウナモノニ依リマシテ、適當ナ耕種改善ノ基準ヲ設定致サセマシテ、ソレヲ指導シテ參ルト云フノガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ寒冷地帯、主トシテ東北、北海道ノ方デ施設致スノデアリマスガ、水稻ノ育苗施設ノ獎勵ヲ致ス譯デアリマス、溫床苗代ノ設置ヲ致シマシテ、早く苗ヲ育テテ、冷害ニ罹ラヌヤウニ早く植付ヲ致スト云フコトデアリマス、ソレカラ第三番目ハ病蟲害ノ防除獎勵デアリマシテ、稻熱病デアルトカ、螟蟲トカ、泥負蟲ト云フヤウナモノニ依リマシテ、從來得ラルベクシテ失ハレマシタ米穀

ノ減損ヲ防止致シマス爲ニ、藥劑、油類、強力ナ噴霧器等ノ購入費ニ對シマシテ、助成ヲ致スト云フ計畫デゴザイマス、ソレカラ第四番ニハ是等ヲ一括致シマシテ増産ニ關スル一齊運動、實地指導講習講話ト云フヤウナコトヲ行ヒマスコトニ依ツテ、所期ノ目的ヲ達成シタイト云フノデゴザイマス

○大石委員 只今ノ計畫ハ此ノ頂戴シテ居ル資料ニアルヤウナ御説明ノヤウデアリマス、此ノ資料ヲ見テモ餘リニ姑息ナモノト思ツテ居リマスガ、其ノ方法手段モ一ツノ增收手段ニ相違ナイノデアリマス、例ヘバ指導獎勵シヨウトシテモ、今ハ人的缺乏ヲシテ居ル、尙ホ或ハ増産計畫ヲ圖リマシテモ肥料ノ供給圓滑ヲ缺イテ居ル、或ハ農具ノ供給等ガ不圓滑デアル、畜力ノ不足ヲ來シテ居ル、石油其ノ他燃料等ノ不足ヲ來シテ居ル、色々ナル増産ヲ妨グルヤウナモノガ澤山存在シテ居ルノデアリマス、我國ノ農家一戸當リノ耕地面積ト云フモノハ、非常ニ少量デアリマシテ、農村ノ經營上困ル、勿論事變ノ爲ニ勞力不足ヲ致シテ居ル時デアリマスルカラ、無暗ニ農地ヲ擴張致シマシテモ其ノ勞力ハドウスルカト云フヤウナコトモアリマセウガ、耕地サヘアレバ勞力ト云フモノハ自ラ増スノデアリマス、

耕地が狭イト云フコトハ日本ノ農村ニ於ケル非常ナ不幸デアリマス、寧ロ此ノ際新規耕地、所謂開墾ト云フヤウナモノヲ獎勵シテ、作付反別ヲ多クシテ行クト云フヤウナ根本的ノ御精神ヲ御執リニナル御考ガアリマセヌカ

○小濱政府委員 耕地ノ擴張ニ依リマスル増産ノ計畫デアリマスルガ、是ハ一ツノ方法デゴザイマス、農産物ノ増産ヲ考ヘマスルニ當リマシテ、耕地ノ擴張ニ依ルコトノ必要ナルコトハ勿論デアルト思ヒマス、唯本年度直グニ四百万石ノ增收ヲ期セント致シマスルニ當リマシテハ、耕地擴張ノ手段ニ依リマスルコトハ、本年度ノ間ニ合ハナイノデゴザイマス、本年度ニ於キマシテハ反當リ收量ノ増加ニ依ツテ四百万石ノ增收ヲ期シタイ、而シテソレノ方法トシマシテハ地域別ニ耕種ノ方法ヲ定メマシテ、ソレヲ指導徹底スルコトニ依ツテ反當リノ收量ヲ増加シタイト云フ所ニ重點ヲ置ク、病害蟲ノ防除、苗ノ育テヲ丈夫ニスルト云フヤウナ事柄等ヲ加味致シマシテ、差當ツテ本年度ハ四百万石ノ增收ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○大石委員 不足ヲ補フ點ニ付キマシテノ御説明ハ、只今マデ色々伺ツタノデアリマ

スガ、過剰米ノ生ジタ場合ニ對シテノ大臣ノ御答辯ハ、ドウモ徹底致サスノデアリマス、過剰米ノ出マシタ場合、所謂増産計畫ガ非常ニ當ツタ、臺灣ガ增收ヲ來ス、朝鮮ニ於テモ亦豐作ニ依ツテ增收ヲ來シ、内地移出ノ石數ガ殖エル、内地ニ於キマシテモ不作ダト豫想セラレタル年ガ豐作ニナツタ、一面ニ於キマシテハ或ル關係ニ依ツテ需要量ガ減ツテ來ルト云フヤウナ時ガ、餘リ速カラザル將來ニアルガラウト考ヘルノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、俄ニ米價ガ下落致シテ所謂最低價格ヲ割ル、自治管理法ノ發動ニ依ツテソレ等ノ救済ヲナサル、或ハ政府ノ買上ニ依ツテ調節ヲスルト云フヤウナ方法モゴザイマセウケレドモ、サウ云フ場合ニ於ケル米價ノ下落ト云フモノハ、非常ニ農民ニ打撃ヲ與ヘル虞ガアルノデアリマス、ソレニ對スル對策ハ御立デニナツテ居ルノデアリマセウカ

○周東政府委員 是ハ御話ノヤウニ、先ヅ第一ニ左様ナ場合ニ於キマシテハ自治管理法ノ發動ニ依リマシテ、過剰米穀ノ自治的管理ヲ致サセマシテ、之ニ對シテ、金利、保管料、或ハ古米格ニ依ル損失ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、補助致シマス、斯ノ如キ方法ニ依リマシテモ更ニ非常ニ澤山出

來テ下落スルト云フヤウナ狀態デゴザイマスレバ、御承知ノヤウニ最高價格デ幾ラデモ無制限ニ政府ハ買フ義務ヲ持ツテ居リマスカラ、之ニ依ツテ對策ガ立テラレテ行クモノト考ヘテ居リマス

○大石委員 今マデハ大體ノ方針ニ付テ伺ヒマシタガ、案ノ關係ニ付テ二三伺ツテ置キタイト思ヒマス、本法ノ第八條並ニ十五條ニ、市場員ハ其ノ市場ニ限り賣買取引ヲ限定スルト云フノデアリマスガ、此ノ命令ノ方ノ事項ニモ見エマセヌガ、他ノ市場員ト他ノ市場員トノ取引ニ關シテハ、ドウ云フ扱ニナルノデゴザイマセウカ

○周東政府委員 御話ノ他ノ市場ノ市場員トノ取引ノ點デゴザイマス、他ノ市場ノ市場員トノ取引ニ付キマシテハ、是ハ制限ガナイノデアリマス、市場ニ依ラズシテ取扱ヒ得ル場合トシテ、此ノ但書ノ方デソレハ認メル積リデ居リマス

○大石委員 次ハ從來慣習ト申シマスカ、永イ間ノ利害ノ關係カラ、大部分ノ實米ノ取引ハ「レール」渡ト云フコトニナツテ扱ハレテ居リマス、「レール」渡ト云フノハ賣ル者モ買フ者モ大變便宜デ又經費ノ上ニ於テモ手數ノ上ニ於テモ餘程利益デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ度ノ市場法ニ依ツテ

實米ノ取引ヲスルコトニナリマス、所謂「レール」渡ト云フヤウナモノガ自然ナクナルト思フノデアリマス、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○周東政府委員 此ノ點ハ從來ト同ジデゴザイマス、受渡ノ方法ニ付キマシテハ、特ニ制限ハ致サヌ積リデゴザイマス

○大石委員 併シ米穀株式會社ガ出來マスルト、其ノ取引セラレル米ハ一旦倉庫ニ入レラレルコトニナルデアリマセウ、倉庫内ニ入レラレルコトニナリマスルナラバ、隨テ運輸力ノ無駄デアルトカ、手數ノ煩雜ヲ來シ、隨テ費用ノ累加ヲ來スデハナイカト思フノデアリマス、ドノ程度ノ倉庫入等ヲヤルノデアリマスカ

○周東政府委員 市場ニ關聯致シマシテ、受渡ダケハ定メタイト思ツテ居リマスガ、必ズシモ市場ノ倉庫ヘ持ツテ來テ一旦保管シタモノデナケレバ、取引出來ナイト云フヤウナ方法ハ採ラナイノデアリマス、受渡ハ決メマシタ受渡トシテ、任意ニ受渡ガ出來ルノデアリマス

○大石委員 此ノ法案ニハ白米ノ小賣業ハ含シテ居ラナイ、殊ニ産業組合其ノ他ニ於キマシテモ小賣商ハ含シテ居ラナイ、主トシテ仲介問屋、卸商ト云フヤウナコトニナ

ツテ居リマスガ、白米ヲ以テ取引スル場合、今マデノ質問應答中ニ於テモ、米穀ノ加工販賣ハ之ヲ成ベク制限ヲシテ監督ヲ致サレルト云フヤウナ御話ガアツタヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ小賣ト卸賣トノ區別ハ、直接需要家ニ賣捌クモノハ小賣、又商人ニ賣ルノハ卸賣ト云フヤウナ普通ノ解釋ヲ持ツテ居ルデゴザイマセウガ、併シ大量需要者ガアリマスルト、或ハ何十石、或ハ何百石ト云フヤウナモノモ賣買ガ出來ルノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ加工米ノ販賣ヲドウ云フ風ニ取扱ハシメル御見込デアリマスカ

○周東政府委員 此ノ第一條ノ關係ニ於キマシテ販賣組合等ノ行ヒマスル個々ノ家庭ヘノ直接ノ白米ノ賣買ニ付キマシテハ、是ハ第一條ニ依リマシテ許可ヲ將來受ケサセテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ相當ニ多額ノ白米ヲ小賣トカ或ハ卸賣商ノ委託ニ依リマシテ、精白致シマシテ賣却スル場合ハ、是ハ第一條ノ許可ノ對象カラハ別ニナルノデアリマス、問題ハ何處マデモ販賣組合ガ個々ノ家庭ヘ直接白米ヲ賣リマス場合ニ於キマシテハ、其ノ地方ニ於ケル白米商等ノ關係等ヲ考ヘマシテ、許可ノ關係ヲ考ヘテ行ク、斯ウ云フコトニ致シ

テ居ル譯デアリマス

○大石委員 併シナガラ所謂闇取引ト申シマスカ、脱法行爲ト申シマスカ、取締ノ眼ヲ盜ンデサウ云フヤウナ色々ノ取引ガ行ハレナイトモ限ラヌノデアリマス、例ヘバ販賣組合ハ個々ノ家庭ダケヘノ供給ヲスル、所ガ或ハ團體トカ或ハ會社トカ云フヤウナ集團ノ需要ニ應ズルト云フヤウナ場合ニハ車積、或ハ何百石、何十石ト云フヤウナモノヲ需メラレル場合ガアルト思ヒマス、サウ云フヤウナモノハ販賣組合デモ何デモ構ハヌ取扱ハシメルコトニナルノデアリマスカ

○周東政府委員 御話ノ通りデアリマス
○大石委員 尙ホ最後ニ御伺シタイコトハ納税ニ關スルコトデアリマスガ、産業組合ガ商行爲ヲスルコトハ禁ジテ居ル、サウ云フコトハサセナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ度ノ法案ニ依ツテ市場員ノ資格ヲ與ヘラレマスナラバ、ヤハリ一種ノ商行爲ト同ジヤウナコトニナルノデアリマス、唯委託ヲ受ケタモノヲ賣ルト云フダケニ止マレバ宜シイノデアリマスガ、色ソレ以上ノコトヲヤル場合ガナイトモ限ラヌト思ヒマス、其ノ他業者或ハ取引員ト云フヤウナ者ノ間ニ於キマシテモ、多少斯

ウ云フヤウナコトガ行ハレル虞ガナシトハ限ラヌノデアリマス、一方業者ニハ納税ノ義務ガアリマスシ、一方同ジヤウナ商賣ヲシテモ産業組合ニハ納税ノ義務ガナイノデアリマスカラ、是等ニ對シテモ特別ノ御考ハアリマセヌデスカ

○周東政府委員 是ハ産業組合ノ根本ノ問題デアリマスルガ、只今ノ所産業組合ガ共同販賣ヲスル、サウ云フモノニ付テノ免税ノ關係ニ付キマシテ、直チニ之ヲ廢止スルト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ
○大石委員 大體私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○添田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會ヲ致シマス、明日午前十時開會ヲ致シマス
午後五時四十六分散會

衆議院米穀配給統制法案委員會
議錄第五回中正誤

頁 段 行 誤 正
三一 四 五 松山委員 杉山委員

昭和十四年三月十六日印刷

昭和十四年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局